滿洲日報
九月十七日發行

露領に滿洲國領事館正式開設に決定
謝外交總長宣言發表

滿洲國成立以來ソウエート聯邦は極東平和保持のため滿洲國獨立の必然的なることを認め常に好意を示して來たが日本の承認後滿洲國は直に露領ブラゴエチエンスクに正式に領事を置くことになり、既にソウエート側の諒解を得たので新任貫領事以下四名の領事館員はいよ〳〵十八日新京を出發することになつた、これに先立ち謝外交總長は十七日別項の如き領事館成立宣言を發表し滿洲國の正當なることを主張し、舊軍閥時代に於ける外交が如何に不信不義極まりなきものであつたか又今後の滿洲國は如何なる希望を有してゐるかを述べた、ブラゴエチエンスク領事館長一行は十八日新京を出發し、ハルビン、滿洲里、ハバロフスクを經て二十六日ブラゴエチエンスクに到着の豫定である同領事館員左の如し【新京電話】

領事 貫鴻墀 貫領事は浙江省の人、本年四十六歲、民國八年ハバロフスク領事に任命され後中國交涉事宜公署準備委員東鐵理事會主席理事等に歷任す
副領事 吉津清 福岡縣人、日露協會學校出身、本年三十五歲
書記官 鄭毓琪 二十七歲
雇員 野並健二(廿五歲)
同 劉進善(廿七歲)

遠からず各地に開設
謝外交總長の宣言

わが滿洲國地方三千萬民衆は舊軍閥の慘虐を受ける事二十年の久しきに垂んとしその間受けたる苛斂誅求のため財產は剝脫せられ流離其住居を失ひ困苦萬狀にしてその苦痛は筆紙の到底これを名狀し能はざるところなり、しかのみならず國際關係においては何等これに仁義を講ずることなく又役章を顧みざりしため遂に往年の中露衝突及び昨秋九月十八日の事變を釀成せしめたるがこれ等は皆舊軍閥が素りに自ら尊大視し親仁善隣を知らざるにより結果せるものなり現在幸にして隣邦の協助を得て舊軍閥の壓迫より脫離し滿洲新國家を建設せり、新國家は王道を以て政綱となし雜覇欺僞の實をさることなく大道を以て主義とし又種族優劣の心なく政治を革新し實業を振興し利源を開拓し財政を整理し極力國富民安を圖りその土地に居住する者をして等しくその居に安んじその行に樂しませんとす

◇

本年三月執政就任し政府成立して以來既に半歲餘を經たり、この半歲中は諸般草創の秋に當り萬事再興を要し間斷なく建設繁重せる諸政百般の事業日と共に進行し漸くにして政務また軌道に入れり、斯くて基礎を加へ今後わが三千萬民衆は過去舊軍閥の一切秕政より脫離し幸福を享受し得るは斷言し得るところなり、また隣民につき速にこれが保護の方法必要を顧念しこれがためソ聯政府と交涉を進め我在留同胞の保障の爲領事派遣につき許諾せるが今般交涉成立し先づブラゴエチエンスクに領事館を開設することゝなり、その他滿洲里、ハバロフスク、チタ等各地にも遠からず領事館設置することゝなれり、茲にわが境民に對し宣示せんとす、要識二つあり、官吏の惡習革除及び領事の職責遂行これにして隨つて總て境民の事業は必ずや充分の保護を與へられ境民の請願もまた必ずや隨時措置せられる一方國交の敦厚友情の融和を圖り極力海外在留同胞をして國內住民と同樣安住樂業の幸福を享受せしめること、なるべくこれわが新國家が德を以て民を愛し遠方に在留せる者にも及ぼさんとする眞意に外ならず、茲に領事館開設の初當に當り宣言を發表しこれを以てわが境民は幸にこれを諒せよ

謝總長の謝電

滿洲國承認に際し當日大連小川市長より謝滿洲國外交總長あて祝電を發した處十六日謝電があつた

執政主催の午餐會
十五日執政府會議室にて向つて右より小磯參謀長、溥儀執政、武藤全權、鄭總理

南京政府我國に抗議
聯盟の權威呼ばはり强調

【南京十六日發】日本の滿洲國承認に關する國民政府の抗議は本日の行政院會議で決定し同午後六時發表されたがその內容は大體左の如くである

昨年九月十八日日本が豫定の行動により兵を支那領土に進めてから東三省の事態は日に險惡化し支那の主權は蹂躪されて世界の平和は非常な打擊を受けた

と冒頭し昨年九月三十日、十二月十日の聯盟決議を引用して

日本は完全に聯盟の決議を無視したさいひ自己一切の不當行爲は皆滿洲國の名義でなし聯盟を瞞着した

と非難し更に本年四月のスチムソン長官の聲明、四月十六日の聯盟理事會決議、三月十一日の總會決議を引用し

日本は友邦の忠言、聯盟の決議を顧ず滿洲國を保護國の地位に置いた聯盟がリツトン卿の報告を審議せぬ前に承認せるは益々日本の罪害を深からしむると共に聯盟の權威に對して侮辱的挑戰をなすものである

と述べ最後に個條書きとして

日本は國際公法の原則及び人道觀念、聯盟規約、不戰條約に違反し且つ日本が曩に東三省に領土的野心なしと述べた聲明に違反するものだ

と言ひ

滿洲承認により發生せるあらゆる結果につきその責を負ふべきだ

と結んで居る

國際聯盟にも通告
顏惠慶代表に訓電

【南京十六日發】國民政府は本日在ジユネーヴの顏惠慶に對し支那政府の名を以て國際聯盟に左の通告をなすべしと訓電した

昨年九月十八日來日本が滿洲に於てとつた政策は慘殺、暴行である、日本の連續的行爲の主なる目的は領土擴大に在り、滿洲國承認は日本が聯盟規約第十條に依つて保障されたる支那領土保全に違反することを立證するものである、所謂滿洲國は日本の軍國主義の產物で日本に依つて建設、維持且つ支配されるもので今次日滿間に調印された議定書は全部日本が命令したもので事實上日本の保護國を作るものである、支那の主權、領土保全……僞であり、日本の承認に依つて起されたる事態に對し聯盟が即時最も有効なる方法を採用せんことを要求する

九ケ國條約の加入國に通牒

【南京十六日發】國府は十六日夜九ケ國條約調印國と加入國たる英、米、佛、伊外十二ケ國に對し

日本の滿洲國承認は九ケ國條約に抵觸し居るは疑ひない、依つて過去一年間の日本の滿洲に於ける行動に依り發生せる事態に對し正當且つ有効な處置を執ることを希望

との長文の通牒を發送せりと夜十一時發表した

議定書の發表と歐米各紙の論評
大體我行動を是認

【東京十七日發】日滿議定書兩政府聲明等檢討されるに及んで歐米各紙は續々本問題に關する所論を掲載し始めた然し世界の有力紙の論調は大體に於いて日本の行動を認容せんとしつゝあるは注目すべきである即ち各紙の所論は大體別電の如きものである

米紙の論評

【ワシントン十六日發】日本政府の滿洲國承認に對しスチムソン長官及び國務省は依然沈默してゐるが慎重に經過を注視してゐる、ヘラルドトリビユーン紙は

米國官邊の一般的意向は今回の日本政府の承認に依り九ケ國條約が明らかに侵害されたといふにあるが聯盟が何等かの行動に出づる迄は米政府は單に滿洲國に對し外交的ボイコツトに出づることで滿足し飽く迄聯盟と協力せんとしてゐる、國務省は滿洲國の問題は所謂フーヴアー原則の適用を受くべきだとの南京政府主張に同情して居るが何れにせよリツトン報告書が日支兩國間に於ける局面打開交涉の基礎となるを希望す

英紙の所說

【ロンドン十六日發】滿洲國の承認に關し保守黨の機關紙イヴニングニユース紙は日本の行動を支持と述べてゐる

タイムス紙

【ロンドン十六日發】世界言論界の指導母紙タイムス曰く

日本の一切の權益は今回の日滿議定書で確保された、尤も日本がこの結果を得る爲め大戰前の外交に訴へたのは遺憾である、然し乍らリツトン報告で一切の事實が明かにされるまで日本を難詰するは誤である、日本が上海でしたことは英國輿論の支持せざるところだつたが日本の滿洲に於ける地位はこれと著しく違つてゐる、日本の滿洲に於ける經濟的利害關係は日本國民の繁榮に死活的關係を有する、日本は滿洲をロシアの手より救出し支那の他の地方に於ける如き無政府狀態に陷ることを阻止した、日本は滿洲で合法的に經濟的權利を得たのに支那官憲は非合法にもこれを阻害した、然も

東京都制案

【東京十七日發】大東京實現を機として內務省では東京都制案を脫稿して十月早々內務省議に附議して來るべき通常議會に提案することに決定した

パリの各紙

日本は數年間これを實現せんとして目的を達し得なかつた

【パリ十六日發】

ジユルナールデバ紙 最後的理論は排擊すべし、滿洲の現實を直視すべし、滿洲國人民が新國家の成立を喜んでゐることは見逃せない、東洋と西洋を區別せず劃一的に論ずるは失當である、各國政治家は本問題の處理に當り實情と外交上の慣行を考慮するを要す

ルンプル紙 日本の滿洲國承認は米國と勞農政府に對する直接の脅威である、重大結果を誘致する惧がある

ルポプレル紙 日滿議定書は軍事的併合行爲である

ドイツの各紙

【ベルリン十六日發】民主系有力紙ブルゼンクリーア曰く

日本の政綱は他の帝國主義諸國が支配的勢力ある支那の立場より平和且進步的な發展を日本は滿洲で實現出來ると云ふことにある、日本の滿洲に於ける地位を動搖させることの出來るのは日本より優勢な實力の外なく全世界は滿洲國の建國を既定事實として承認せざるを得ない

またフオツシユタイツング紙曰く

滿洲の獨立は日本の援助で建國された時から現存してゐる、支那の一地方としては更生團體に過ぎないが國際的見地からすれば滿洲國は文明國に屬する一切の權利を要求し得る、日支紛爭は何時か清算される時が來やうがその時は滿洲國と銘を打たれ而も滿洲國は不戰條約に參加して居ない聯盟や米國は殘念がるだらう

支那紙政府攻擊
「最高責任者南京に在らず」完膚なき迄に痛論

【北平十七日發】本日の支那各紙は社說に於て昨日同樣議定書問題を論じ且つ南京政府の對日抗議並に各國通牒の內容に論及して居るが、何れも今更九ケ國條約の引用を嘲笑し國際會議の效力無きを指摘すると共に世界日報、京報の如きは對滿武力討伐の必要を强調し又北平新報に至つては法律上の政府所在地たる洛陽には留守番一人居るのみ國策議決の最高機關たる中央政治會議の常務委員は三人とも南京に居らず(蔣介石、汪兆銘、胡漢民を指す)行政委員長は何時もながら上海租界に逃げて居る(汪を指す)と中央を完膚無き迄に痛擊して居る

重大任務を果して武藤全權けふ離京
旗の波、萬歲のどよめきに送られ新京發一路奉天へ

滿洲國獨立承認の重大使命を帶びて來京した武藤全權一行の滯京四日間は全權始め小磯參謀長以下幕僚、隨行員一同も席の溫まる間もない多忙そのものであつたが、重大任務を無事終つた武藤全權一行は十七日午前九時から十一時までの二時間に亘り

軍部 領事館、警察署等在京各機關の巡視狀況報告を聽取した後、十一時過ぎよりホテルにおける日系滿洲國官吏との懇談を最後として零時十分ホテルを出發、驛に向つた ホテル御用門より日本橋通りを經て驛に到る沿道には全滿洲國京

當時同樣、二千餘の各學校生徒滿洲國側軍樂隊が整列し、又驛前廣場には在鄉軍人、海友會始め一般の見送り人が整列し、その間には憲警が嚴重な警戒に就いてゐた、驛構內第一ホームには軍部、領事館、關東廳、滿鐵

並びに 滿洲國側よりは鄭國務總理以下各部總長、各要人、駒井長官、大橋、阪谷各次長等何れも滿面喜びと感激の晴れやかな面持ちで一ぱいであつた

これより先全權列車の先驅をなす裝甲列車は武裝嚴しく正午出發嚴重警戒の任に就いた、零時十分ホテルを出た武藤全權、小磯參謀長以下隨員は群衆の萬歲のどよめきの中を答禮しつゝ驛に到着、中川驛長、小山憲兵隊長の案內で六輛連結の臨時列車に日滿見送り人の挨拶を受けながら乘車、先驅車より遲れること二十分、即ち午後零時二十分

列車 は音も無くすべり出した、埋まるばかりの見送り人からの萬歲の叫びは驛構內もゆるがんばかりであつたが、最後の展望車に颯爽たる姿を現はした武藤全權、小磯參謀長は無言の內に意味深き擧手の禮を以て見送り人に答へ、獨立承認の喜びに湧きかへる首都新京を離れて奉天に向つた【新京電話】

滿洲國承認祝賀會開催

【東京十七日發】滿洲國承認祝賀會が十六日午後五時から東京會館に於て東洋協會、東亞經濟調查局、中央滿蒙協會主催で開かれ水野錬太郎氏開會の挨拶の後齋藤首相、內田外相の祝辭(代讀)荒木陸相……

山東に兵亂起る
韓復榘系軍と劉珍年軍濰縣北方で遂に衝突

【靑島特電十七日發】膠濟線、濰縣高密の北方約十里一帶において韓復榘と劉珍年軍衝突、目下激戰中、韓軍は衛隊を濰縣方面に集中しつゝあり韓氏は本日濰縣に到着し濟南の衛隊に對し出動命令を發した、平度方面には邦人約二十名ありこれが生命財產保護交涉のため坊子日本領事分館員一名濰縣に急行した、原因は不明なるも最近劉珍年軍の勢力擴大と兩軍の警備地盤爭ひからと見られて居る一說には劉珍年に對し中央より韓軍討伐の密令があつたものとも傳へらる

【靑島十七日發至急報】某所着電に依れば膠濟線沿線高密、濰縣の北方平度、昌邑の各地に駐屯の韓復榘系の民國軍と同方面一帶に駐屯する劉珍年軍とが十六日夕刻突然火蓋を切つたが砲聲殷々として濰縣郊外に轟き戰局は重大化せんとする形勢にある、原因は平素から警備區域問題に依る反目からと云はれ劉良の系を引く劉軍が駐屯するは韓にとつて厄介であつた爲めで韓の密令で民國軍が火蓋を切つたと云はる

邦人外出遠慮 北平支那側要求

【北平十七日發】當地公安局は我公使館に對し明九・一八記念示威行列には兩側に巡警と軍隊をつけ又市中には非常警戒を以て暴行を取締るべきも萬一の場合を考慮し當日は日鮮人の外出は遠慮され度き旨注意方を要求して來た

▲岩井勘六氏(在鄉軍人聯合分會長)十七日午前八時着列車で歸連
▲代喜純孝氏(山下汽船上海支店長)十八日出帆大連丸にて上海へ

首相依然靜養

【東京十七日發】齋藤首相は時局匡救自力更生の街頭宣傳の爲め廿一日大阪に行く豫定のところ依然四谷の私邸に靜養中なる爲め周圍より極力靜養を進められて居り結局同行は延期するものと見らる

市議選擧人名簿

大連市役所選擧事務所では九月二日現在により調製した大連市會議員選擧人名簿を九月二十二日より同月二十八日まで七日間每日午前九時より午後四時までの間市役所に於て關係者の縱覽に供することゝなつてゐるが十七日までの登錄有權者人員は一萬五千百二十六名であるさ、なほ身分調査のため內地市町村長に照會し回答未到のものが二十五名あるがこれ等は二十一日までに回答到着すれば登錄することになつてゐるさ

人事

▲內田五郎氏(新任チチハル領事)十七日午前九時列車にて赴任

蛇角

世界の言論機關は滿洲國獨立の事實を明らかに認めて居る。

◇

只今なほ固意地を張つて居るのは支那と聯盟と何處やらの政府ばかり。

◇

露領に滿洲國領事館が出來る、ソウエートも事實上滿洲國承認と見てよい。

◇

米國は飽までも滿洲國不承認の方針だそうな、その不承認で困らぬものにソウエートあり。

◇

滿洲國とても御多分に洩れざるべし。

◇

韓軍と劉軍が戰爭をポツ初めたこれも日本のせいですかな。

◇

劉軍の言分――カン軍はリニウ軍で、ソク軍はカン軍――では話が混亂する。

◇

あすは事變記念日、しづかに默禱しようではないか。

軍縮會議とドイツの態度

【ジユネーヴ十六日發】ドイツ外相ノイラート男から軍縮議長ヘンダーソン氏に寄せた書翰に依れば軍縮會議がドイツに適用し得る如き最終的解決方法の確定するまではドイツは會議に參加せぬが會議の經過如何に依りその將來の態度如何を決するさ

臺灣同鄉會 各路聯合會加入

【上海十七日發】當地在住の臺灣人同胞二百名より成る臺灣同鄉會より加入申込みを受けた各路聯合會は昨日の常任委員會で協議の結果滿場一致可決これが正式加入を承認することゝなつた

滿蒙の戰慄 (102)

直木三十五作 淺枝次朗畫

鬪爭 (一ノ一)

「もう一度、働きに出てきますわ」

麗子は、母に、そう云ひたかつたが――そして、中年のさりなし、麗子が、身體の事を、母親は、あきらめもしてゐたが――そして、又、働きに出なくては、一家の生計が、支へきれないし、麗子も、毎日々々、母と、默つて、向き合つたまゝ、俯向いてゐるよりも、もう一度、賑やかな街の眞ん中へ出て行きたかつたが、何となく、それが、云ひ出せなかつた。

そして、母親も、そう感じながら、矢張り、それを、口へ出して云へなかつたし、二人は、お互に同じ心をもつて、同じやうに、いくるかも知れぬやうに感じて、不安であつたし、働きには、行きたかつたが、いつかの日、春井が

「このまゝで、銀座で、二度と、働いてみろ、働くことが、できるなら――」

と、云つたのを、思ひ出すと、恐怖に、ふるへてきた。そして、又、幾度も、繰返して、少しの、功もない――

(妾、何うして、あんな男を、信用したものかしら)

と、思ふような後悔が、胸の中へ、重苦しく、感じられてくるし

(もし、姙娠でもしてゐたら、妾、死ぬ外はない)

と、思ふと、たゞ、ぢつとして時計の進む音を、聞いてゐるより外になかつた。いつの間にか、露らく〳〵しながら

「働きに行きなさい」

とも、云はないし

「働きに行つて參ります」

とも、云へなかつた。秋風が、涼しくなつて、隣りの家の妻君は、セルの單衣をきて

「麗ちやん、此頃、すつかり、お籠みね」

と、云ひながら、顏を出した。

「えゝ」

「鳴、旦那樣――旦那樣のこと、何んとか、云つたつけねえ。何んとかロン――そのロンでも、見つからなかつたかい」

そう云はれると、麗子は、堪らなく、不快になつて、返事もしなかつたし、母親も、同じやうに、感じるらしく

「そんな事は――」

と云つて、女房の喋るのに、任せてしまつてゐた。

麗子は、中年のゐる時には、安心できたが、母親と二人で、こうして、默つてゐると、いつ、春井が、現れて

路の中へ、夕方の物賣りが、入つてきて、部屋の中が、薄暗いやうになつてきた。

(今日も、暮れた)

と、思ふと、母親が、袷を仕立てゝゐるのさへ、氣の毒になつてきて

(早く、働かなくちや)

日本橋の方の店を、想像したり

(新宿は、いゝさいふから――でも、少し、下品だし)

と、考へたり――豆腐屋の喇叭が鳴つたり、烈しく出る水道の水音を聞いたりしてゐると、ぢつとしてゐられなくなつてきた。

「おそいね」

と、母親が、呟いた。

「えゝ?何?」

と、聞くと

「中手さんが」

その聲に、麗子は、うれしそうに

「え、でも、もう、お歸りになるでせう」

そう云つたまゝ、又、二人は、默つてしまつた。

滿洲事變記念館を宮城に御建立
勇士の靈を慰め賜ふ

【東京十七日發】愈々十八日は意義ある滿洲事變の滿一周年記念日を迎へることになつたが畏き邊では特に新興滿洲國の誕生を見る迄に至つた事變の意義深さを永久に記念し併せて護國の鬼と化した皇軍勇士の靈を慰めらるゝ厚き思召により宮城内に名譽の戰死者の寫眞並に事變當時の鹵獲品を留めさせらるべき御内議あり、宮内省にて目下愼重その方法等研究中であるがその保存は日清の役記念の振天府、北清事變の懷遠府、日露役の建安府、日獨の惇明府の例に倣ひ宮城内に同樣の記念館を建立し陛下より親く御命名を仰ぐ筈である

御手づから御包裝
各宮家から下賜品
北滿南支出征將士へ

【東京十七日發】秩父、高松、澄宮始め各宮家、李王家にては北滿南支に於て日夜邦家のために苦闘してゐる陸海將兵を御慰問さるゝため豫て御協議中の處滿洲事變一周年記念日を機とし畏くも白地に「至誠」の二字を染め拔いた手拭に丁寧に包んで御菓子を下賜遊ばされたが、御慰問品の包裝に當つて畏くも各宮殿下妃殿下が御手づから遊ばされたものゝ由で陸海當局は御懇情に感泣してゐる

殉職社員の英靈をあす記念日に祀る
滿鐵で追悼會を執行

昨年九月十八日以來、滿鐵社員は軍警と共に第一線に立つてその任務に服した關係上幾多の殉職者を出したが、滿鐵はこの尊き犠牲を永遠に記念するため毎年十月末に執行してゐた殉職社員追悼會を今年より九月十八日に執行することゝなり、明十八日その第一回を行ふことゝなつた、當日は滿鐵協和會館北側庭内に會場を設け（雨天の際は會館内）午後一時三十分導師讀經に始まつて總裁の追悼辭を八田副總裁代讀、社員會追悼辭は總部幹事長が讀み、日滿僧侶の讀經あり、終つて遺族、施主たる總裁代理、社員代表係系會社の燒香あり午後二時半終了の豫定である、

なほ今年祭られる殉職者は左のごとく日本人二十四名滿洲人百三十三名計百五十七名であるが、邦人はほとんど全部事件關係者で反對に滿洲人側は撫順炭礦關係者が大部分である、殉職者の氏名左のごとし

▲撫順炭礦　古賀實、加藤熊右衛門、渡邊寛一、平島善作、高口一、口本音市▲鐵道部　小池小太郎、三浦義臣島村久平、伊東萬次、中村與藏、柳田佐市、北村新太郎、諫山準一、中村常吉、中村孝造、小崎博、有馬耶治、大石富義、野口幸隆、吉井正喜大仁田武義▲鞍山製鐵所村里芳▲哈爾濱事務所佐藤忠▲（滿洲人）撫順炭礦一一一名、鐵道部一八名、鞍山製鐵所四名

記念式を擧げ感謝狀贈呈
功績顯著な十ケ所に

滿鐵は十八日殉職社員慰靈祭後引續き協和會館で事變記念式を行ひ總裁感謝文を副總裁代讀し更に事變中功績顯著なる左記十箇所に感謝狀を贈つて表彰することゝなつた

上海事務所、哈爾濱事務所、鄭家屯、吉林、洮南、齊々哈爾各公所、奉天事務所鐵道課、鐵道部、撫順炭礦、鞍山製鐵所

放火された楊柏堡の社宅街

社員が體驗談

記念式後直に第一線に立つて具に辛苦を嘗めた社員の體驗演説會を開く筈で講演者及び演題左のごとし

一、未定　囑託將校佐伯中佐
二、四洮洮昂線派遣社員の活動狀況　洮昂鐵路派遣員竹村勝清氏
三、拉致されたる社員の遭難談　奉天事務所鐵道課員安藝穣一氏
四、奉山線保線作業班の活動狀況　蘇家屯保線區長梶川廉造氏
五、滿洲事變と齊々哈爾公所　齊々哈爾公所田尻末四郎氏
六、新線建設班の活動狀況　鐵道部工務課高山安吉氏
七、襲撃を受けたる驛遭難談　蘇家屯驛助役（前秋木莊驛助役）濱崎茂氏
八、局地施療班の活動狀況其の他　長春醫院長塚本良禎氏

夜行軍
今夜青訓生　事變を追憶

常盤大廣場兩青年訓練所は事變一周年に當り事變當夜の皇軍の奮戰を追憶し青年の士氣を鼓舞するため大廣場青訓は古賀、加來指導員に常盤青訓は財滿指導員の指揮により十七日夜九時黑石礁に集結隊伍を整へて旅大道路を旅順へ夜行軍の壯擧に就き十八日午前は飛行隊爆撃演習を見學、午後は戰跡を見學し歸連の豫定である

双城縣城の匪賊爆撃
哈市から出動

滿鐵入電によれば双城を襲ふた匪賊は遂に縣城を占領し掠奪を擅にし、電信電話線を切斷したため長哈間の電信不通となつた、十六日同地を通過した旅客機の視察によれば同縣城に通ずる三條の道路の上にはそれ〴〵百五十乃至五百の匪賊團が掠奪品と覺しき車輛および人質を伴れて同一方向に向けて進行してゐたと、双城縣城は火災を起しつゝあり十七日ハルビンより爆撃機二臺同地に向つたが驛は安全で列車の運轉には支障なし

警官增派
けさ沿線へ

關東廳警務局では撫順の匪賊來襲事件突發と共に對策講究中のところ、目下新京滯在中の森本課長からの急電により十七日朝警官〇〇〇名を奉天、撫順、蘇家屯一帶に急派する事に決した

長春丸の審判

海陽沖で遭難した大連汽船長春丸の遭難事故は關東州船舶職員懲戒令第三條に該當するので海務局理事本村正貞氏より船長鹿志和兼太郎氏當時ブリッヂにあつた二等運轉士の辻田正人氏に對し海事審判を開くべく局長に申請中のところ十七日近く審判に附すべく決定した

人質の分水驛長
大石橋署で奪還
石橋子部落に潛伏中

去る七月十八日突如分水驛を匪賊の一團が襲撃し來り驛長森園光藏及び同地有力者戶田穗苗の兩氏を人質として拉致したる事件は日數の經るに隨つて人に忘れられんとする頃漸く十六日原田大石橋警察隊の決死的奮戰によつて兩氏を奪還した

事件發生以來原田大石橋警察署長は反田司法主任及び阿部老刑事を督勵して極力匪賊の動靜を搜査させてゐたところ最近右匪賊團が分水驛を距る西北方二十支里の石橋子村落に移動し來れるを探知し俄然大石橋署は活氣づき異常な緊張裡に反田司法主任は密偵韓某外二名を人質の家族に變裝せしめ身代金持參の通告をなし一方他山警察官二十五名分水警察官二十名及び自警團百五十名をして十五夜の夜半仲秋の明月を仰ぎつゝ同村周圍高粱畑を四方より包圍し十六日午後二時より身代金引換へ交涉中の頭目占勝以下部下に對し輕機關銃の一齊射撃を浴びせ交戰二時間の後同五時三十分無事人質二名を奪還し凱歌を奏した

この戰鬪においてわが方に損害なく匪賊は頭目占勝以下傷を受けたる外損害甚大なる見込み、目下鷲山水上警察隊飛行機の應援により調査中である【大石橋電話】

竹中理事一行

竹中理事の第三回慰問隊は十六日東山よりチチハルに歸り、十七日飛行機にて長春に歸還する旨入電があつた

銀行野球聯盟

大連市内銀行團野球聯盟では來る二十三日、二十五日及び來月一日の三日間實業球場に於て左記スケジュールの下に秋季リーグ戰を擧行する

▲二十三日　鮮銀對正金、正隆對滿銀
▲二十五日　正金對正隆、滿銀對鮮銀
▲一日　鮮銀對正隆、正金對滿銀

滿洲事變一周年記念
講演と映畫の夕
明夜七時・協和會館

思ひ出深き滿洲事變の一周年を迎ふるにあたり、本社では講演と映畫の夕を開催するが、講演者及び映畫は左の如く決定した外、滿洲事變以來、雄々しくも滿鐵社員が第一線に立ちて殉職した秋木莊驛長故柳田佐市氏着用の社服、奉天電氣工長故中村岩藏氏の外套襟卷を初め、本溪湖線路工長本田勝氏の左手首を貫通せる賊彈のほか、大拉子、三道溝の我警察分署を襲撃したる際に鹵獲したる長銃、拳銃、青龍刀或は彈丸命中するとも死せずの迷信を以て猛襲する紅槍隊の所持する紅槍等六十餘點の貴重なる遺品或は記念品をも陳列公開して意義深きこの日を新に顧みることにした、なほ講演者のうち陸軍航空兵少佐岡田巳三夫氏は昭和元年より同五年末までの張學良の軍事教官で事變の際は飛行隊に所屬し奉天大石橋を中心に北は通遼、ハルビン三姓等馬占山討伐以外の戰鬪には悉く參加して殊勳を樹てた勇士であり且つ事變に參加した飛行隊最古參の空中勤務者である【寫眞は右から岡田少佐、白井課長、太原本社員】

プログラム

一、滿洲事變當夜の回顧　元本社奉天支社長 現旅順支社長　太原要氏
二、鐵道現業員の活動狀況　滿鐵鐵道部庶務課長　白井喜一氏
三、滿洲事變と飛行隊の活動を顧みて　飛行第七聯隊附 陸軍航空兵少佐　岡田巳三夫氏
映畫『滿蒙破邪行』全五卷（滿鐵弘報係撮影）
尚ほ前記のほか滿洲事變に關係せるレコード演奏もします
來場歡迎　先着順滿員まで入場隨意

主催　南滿洲鐵道株式會社　滿洲日報社

毒藥だつた
『渡さぬ貰つた』と
また奇怪極る事件

離婚を迫つた妻に眠り藥と偽り毒藥を與へ、自殺を裝はせて殺害しやうとした探偵小說的興味ある怪事件を被害者の訴へによつて大連署司法係で取調べてゐる、市内某所の資産家渡瀬義一（三）は某洋行の娘澤村君子（二）何れも假名と二年前盛大な結婚式を擧げたが家庭は風波の絶え間なく約一ケ月前君子の實父は渡瀬家に乘り込み、離婚を迫つた結果、强制的に離縁狀に捺印させ、君子は兩親と共に鄉里岡山縣へ歸ることゝなり、君子は義一から眠藥といつてハンカチーフに包んだものを渡され、船中で飲んだところ急に苦悶し初め定期船が門司に入港するや醫師の手當を受け生命を取止めた、君子の實父は非常に憤慨し娘を毒殺しようとしたのは怪しからぬと小野田辯護士に依頼し大連署へ訴へ出た同署司法係吉岡刑事は君子を内地から呼び寄せ十七日午前十時ごろ夫婦對決させたところ義一は「そんな藥を渡した覺えはない」といひ、君子は「確かに貰ひました」と頑張り目下のところ謎の事件とされてゐる

寄生虫の夫
狂言自殺
妻の家出から

市内磐城町五十八番地無職池上梅造（四六）は賭博と酒で身を持ち崩し妻きくゑ（三〇）が安界カフエーで女給を働き生計を立てゝゐたが、男の意氣地無さに愛想を盡かしたきくゑは十六日午後七時ごろ離縁話を持ちかけ姿を晦まして終つた悲觀した梅造は翌朝白髮染「るりは」を嚥下して苦悶してゐるを近所の人が發見、直ちに三好醫院に擔ぎ込み更らに大連署中島係官立會のうへ堀江醫院で胃洗滌を行つたところ何ら毒藥を嚥んだ形跡がなくいろ〳〵取調べて見ると妻が歸つて來るやうにと口のまはりに「るりは」液をベタ〳〵塗りつけ狂言自殺を企てたことが判明した

平泳の覇王を迎へ
羅府の戰況を聽く
十九日夜講演會開催

遙く異境の空、羅府オリンピアードの彼方に於いて祖國の名譽にかけて幾多世界の强敵を向ふにまはしてよく健鬪、遂に榮ある平泳の世界選手權を再び獲得しスタディアム高く日章旗を揭げ在留邦人は勿論のこと全日本人を歡喜の絶頂に導いた水の覇王鶴田義行選手は明十八日入港のうらる丸で爭覇の征衣を輝つて華々しく歸連することゝなつた、本社では同選手に交渉の結果來る十九日午後七時より協和會館に於て同選手歸連土産の第一聲を放つ講演會を開催するの快諾を得た、なほ大連パテー倶樂部では本社のこの擧に賛同し同倶樂部所有の第十回オリムピック大會の實寫を提供上映するが、同映畫は代表選手出發當時から大會入場式陸上競技において南部選手優勝するまでの實寫十一卷である、入場は無料である

また大連灣内の海水使用を禁止
漁夫の眞性コレラで

去る十二日以來大連港西崎りに碇泊中の萬永丸乘組漁夫連學大（二三）は十六日發病小崗子署より疑似コレラとして療病院に收容中であつたが十七日午前八時眞性と決定した、從つて同人は數日間大連港假泊中であつたため附近の海水が汚染されてゐるので十七日附を以て大連灣北黄白嘴より北長山に至る線以内の（柳樹屯を除く）海水浴遊泳及び海水の使用を再び禁止した

大東京のビックリ物語

面白くて知識になる大東京三十五區のいろ〳〵驚嘆物語。キング十月號にあり、話の種にぜひ御覽！

事變記念法要

大連本派本願寺關東別院にて十八日午後二時より滿洲事變一周年記念法要を執行する、なほ法要後大連佐藤軍人會第一分會長臨屋次郎氏の記念講演がある

爆撃演習延期

濱松機白銀町爆破演習第二日目は雨天の爲め十七日は中止され、十八日午前七時から行はれる

旅順競馬延期

旅順競馬第四日目（十七日）は雨天のため中止となり十八、十九兩日午前十時半から開催される

滿鐵急行は『鳩』
懸賞募集當選

滿鐵々道部で過般懸賞募集した急行列車の名稱については同部において候補名稱を詮衡の上十七日正午ヤマトホテルに於て當地官民有力者並に新聞代表者參集し協議の結果左の如く決定するに至つた

▲一等「鳩」上り第十一列車及び下り第十二列車
▲二等「隼」この分はこの次ぎ名稱決定の際使用すること

ポ社滿洲支店を開設

純國産レコードを以て誇る株式會社日本ポリドール蓄音器商會は業務擴張に伴ひ愈々滿洲支店を大連市吉野町二十二番地（電話大連八八八九番）に開設した、同支店は全滿販賣權一切の業務を行ひポ社が純日本の資本による會社であるため其の期待も非常なもので全滿蓄音器商組合は擧げてこの支店開設を希望してゐたから今後の活躍は注目されてゐる

天氣豫報

十八日　西の風　晴一時驟雨模樣
滿潮（午前　時　午後零時）
干潮（午前六時　午後六時五分）

各地氣溫

	十六日午前十一時	最高
旅順	二五、一	二五、四
大連	二三、六	二三、一
營口	二二、七	二六、一
奉天	二〇、二	二七、〇
長春	二一、〇	二五、八

公告

南滿中東連絡運送狀副狀左記明細ノ通リ貳參壹通紛失致候ニ付爾今無効トス右此段公告候也

昭和七年九月十六日　國際運輸株式會社

記

荷受人	發地	着地	副狀日付	副狀番號	副狀通數	品名	車數	袋又ハ箇數
利豐洋行	八區	大連	九月七日	[illegible]	三	河豆	三	一、〇五六
同	同	同	同	[illegible]	一七	同	一七	五、九八四
同	同	同	九月八日	[illegible]	一一	同	一一	三、八七二
三井	八區	大連	九月七日	[illegible]	一〇	河豆	一〇	三、五二〇
同	同	同	同	[illegible]	五	同	五	一、七六〇
同	同	同	同	[illegible]	二〇	同	二〇	七、〇四〇
同	同	同	九月八日	[illegible]	三	同	三	一、〇五六
同	同	同	同	[illegible]	四	同	四	一、四〇八
同	同	同	同	[illegible]	一七	同	一七	五、九八四
三菱	八區	大連	九月七日	[illegible]	六	河豆	六	二、一一二
寶隆洋行	八區	大連	九月八日	[illegible]	[illegible]	河豆	[illegible]	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	五	同	五	一、七六〇
同	同	同	同	[illegible]	一五	同	一五	五、二八〇
同	同	同	同	[illegible]	一三	同	一三	四、五七六
同	顯鄉屯	同	同	[illegible]	二八	同	二八	九、八五六
同	舊哈爾濱	同	同	[illegible]	五	大豆	五	一、七六〇
同	阿什河	同	九月六日	[illegible]	三	同	三	一、〇五六
今泉武夫	哈爾濱	大連	九月八日	[illegible]	一	引越荷物	―	一
鈴木一	同	大連埠頭	同	[illegible]	一	同	―	五

以上

國難日本刀 (97)

高桑義生作　京極佳夕畫

やけ酒（九）

「さうです、あたしはあなたを呪つてゐる……」

さお島が、口をゆがめて答へた時、

憤然、男獅子のやうな勢ひで、槲之進は飛びかゝつた。そしてお島を押し倒して、その口を、熱い手でふさいだ。

「言はして置けばいゝ氣になつてお島ッ、貴樣はおれの力を知らぬのだな。お前を助けたのもおれの力、斯うしておれが無事でゐられるのも、おれの智慧才覺だ。もし役ばなれをしてゐるか、たゞしはまた、お前さ駈落でもしてお尋ね者になつてゐたら、今の氣樂な身分は思ひも寄らぬ事だぞ」

「あたしは……あたしは、氣樂な身分になぞなりたくない」

「無茶だ。少しは氣を沈めて、考へろ」

「いゝえ、あたしは……」

「またいふかッ」

「いひます。みんなお上に訴へて、あなたさいふ者を破滅させてやる」

「うぬッ」

かッさ逆上した槲之進は、お島のか細い頸に手をかけた。

「あゝッ……」

お島は眼を白黒させて、悶えた。

「どうだ、貴樣を殺すのは造作もない。苦るしかつたらおさなしく、おれのいふ事を聞くがいゝ」

少し手をゆるめる下から、

「殺せッ、殺せッ、あたしは死んだ方がよつぽどいゝ」

「くそッ、殺してやる!」

槲之進は本氣になつた。物凄い形相で、お島の身體に押かぶさつて――。

「あゝッ……」

お島は苦痛の呻きを洩らして、手足をばたくさせて、もがいた。

二人のいがみ合ひは、いつもの事だつた。顔を合はせれば、一人が怨みを、そして一人がそれをなだめつ威しつ――やがて醜い爭ひさなるのだつた。が、その果てが、妙に白けた默り合ひ、槲之進が一人手酌で酒を飲みながら、ひそつと二つ目を剥き出す、お島の機嫌を取つて、いつの間にか仲直りさなるのである。前世からの仇敵が、不自然にも結び着いて、毎日醜さ愛慾さ、あまりにも醜い人間性をさらけ出すのだ。

だから、二人の奉公人も見て見ないふりをし、聞いて聞かないふりをしてゐるが、今日はその愚行がたゞならぬ――。

婆やのお杉はたまりかねて、飛んで來た。

「新さん、早く……」

お杉の聲に、新助も駈つけた。

さうして漸く、お島の首にからみついた槲之進の腕をさかせ、二人を引きはなした。

お島は突ッ伏したまゝ泣いてゐる。槲之進は憎悪さ、不自然な愛慾を感じながら、かの女の肉體をにらみつめて、

「酒だ、酒はどうした……」

その夜の二人は、どうしても解け合はなかつた。お島は死んだやうに、突ッ伏したまゝ、何さしても顔をあげなかつた。

槲之進は一人ぢれて、癇癪を破裂さしてゐたが、つひに舌を投じて、

「お島ッ、おれはどんな事があつても、貴樣を手ばなしはしないぞ。一生涯仇のやうにいがみ合つても、貴樣を側にひきつけて置く。おれは執念ぶかい男だ。おれは負けぬ男だ。いゝか。まあ、勝手に何でもいふがいゝ。貴樣などに何をいひ觸らされたさころで、わしの立場はびくさもしないのだ。誰が貴樣のいふ事を取上げよう。かへつて貴樣が狂人さ思はれるばかりだ。今夜はゆつくり考へて見るがいゝ。わしは久しぶりで、茶屋へ行つて飲み直さう。さうく、お前に聞かせる事があつた。お前が死ぬほど思ひこがれてゐる上月弓之助、いよく死罪さきまつた――それから、お前の親父は、今朝がたさうく往生したよ」

槲之進は立ちあがつて、悄然として出て行つた。

佳夕作

澤モリノ舞踊會々券の前賣

澤モリノ舞踊生活二十年記念舞踊大會は既報の如く來る廿二日午後七時から協和會館にて開催、出演者は澤モリノ、澤野登子、佐藤定夫、根本弘、吉井正子、竹内律子で會券七十錢を山葉洋行賣店、大阪屋號、滿書堂、ドミノ、一木洋行、明菓賣店で五十錢に割引前賣してゐる【寫眞は澤モリノの瀕死の白鳥】

噂話

映畫館リーグ戰は昨日帝國館と中央映畫館が第二位決定戰をやつたが、二對二でドロンゲーム▲終つて寶館に優勝旗が授與されたが、何事も宣傳と許り町廻りに鼻ぎ出す計畫が傳へられてゐる▲また引續き十九日から秋のリーグ戰に入ることになり各館ともガッチリした傭兵のメンバーが出來た模樣▲滿洲事變一周年記念日を迎へ寶館は今週特別番外として東活の「奉天城一番乘」を再映▲ゆふべ中央映畫館で「繩の騎手」を試寫この前の「女優奈々子の裁判」と云ひ九州から來るプリントは不愉快である

本社特選 新棋戰（其九）

手番先 二段△橋爪敏太郎　初段▲小林金吾

【圖は八四角迄の局面】

▲小林氏 持駒 歩

△橋爪氏 持駒 桂

△五二成桂 ▲同 金上　△二一龍 ▲三三玉　△三五桂 ▲五一歩　△八二龍 ▲九三角　△同 龍 ▲同 角　△二五桂

迄百二十四手にて橋爪氏の勝

【土居八段總評】本局は双方陣容整備後小林君の六五歩の開戰で早くも接戰となつた、此の時橋爪君の七四歩は活氣ある攻擊手段なるも些か指過ぎの嫌ひあり因て小林君は一旦八六歩と突き捨て然して攻防共に對策を講ずれば大駒の活用意の如くなり有望であつたのを其の機を逸した爲め却つて敵飛に働かれ指し憎い形勢を招いた。橋爪君が七二歩と打込み攻擊手段を圖つた際小林君は既評の如く飛車の侵入に努むれば尚面白い局面になるを、七六銀の手段を誤つた爲め攻擊を探るに難く、其の時橋爪君の攻防手段流石に巧みにして善戰したので小林君は次第に非境に陷り最後に至り、五一歩打の惡手を指した爲めそれが敗因となつて駒を投ずるの已むなきに至つた。

【萩原六段解說】橋爪氏の五二成桂は自玉に即詰めがない故に二枚飛車の威力を以て敵玉に迫つた、續いて三五桂は同歩なら三四桂と打つてよいのであるから小林氏の五一歩は止むを得ない。橋爪氏九三龍と切つて二五桂は敵同歩、二四角、同玉、二二龍で詰みである、駒を貪つて九三龍と切つたのである。

日滿互惠條約問題 時期の到來を待つ
わが外務當局の意嚮

【東京十七日發】我が對滿貿易は本年上半期に於て前年同期に比し既に五倍の輸出增を見た程であり滿蒙の地は絶好の商品市場として期待を掛けられて居る、殊に滿洲國が建設時代に入れば從來の小麥粉、綿糸布、砂糖、雜品の外工材、セメント、電氣材料等の建設材料の輸出が旺盛となり兩國の貿易關係は益々緊密を加へるので一部では早くも互惠條約は日滿經濟ブロックの必須條件となるものとして注目してゐるが、右に就き我が外務當局の意向は左の如くである

互惠條約は將來の事としては勿論考へなければならぬ問題だが未だ承認が終了したのみであり實際問題としても一部を除き互惠條約締結の必要に迫られてゐない、外務省としては當分過渡辨法として日支條約に準據し徐ろに時期の到來を待つ方針である

東拓時代に順應し 貔子窩鹽田大擴張
明春解氷期を待ち着手せん 差詰め六百町歩開拓

內地に於ける曹達工業の勃興に伴ふ工業鹽の需要增並に食用鹽の需要增により最近關東州鹽は非常な引合あり且つ又關東廳の州內產業開發の鹽業政策に順應して大正七年來州內鹽田事業に着手せる東拓では本春來鹽田擴張を計畫し、大連支店に於て種々具體案を考究し本社に承認を求めつゝあつたが、十六日本社より指令あり中澤支店長は十七日關東廳に日下內務局長を訪ひ種々懇談諒解を求めるところがあつた、今回の擴張計畫案は貔子窩の鹽田計畫地千五百町歩の中第一期工事として淸水河鹽田六百町歩の開拓であつて、早速今秋より諸準備に着手、明春解氷期を期して土工にかゝり九年秋竣工の豫定であるが、開田の曉は一ケ年六千萬斤の鹽が得らるゝ豫定である、本計畫は本年五月高山總裁來連の際、鹽業國策の見地から州內鹽田開拓の重要性を痛感し決意せるもので、最近滿鮮開拓資金として一千萬圓の社債發行認可により急速に實現化したもので滿洲國承認直後の第一線にして東拓の滿洲に於ける今後の活躍は各方面より注目されてゐる、右淸水河鹽田開拓につき東拓支店本村事業係主任は語る

關東州の鹽田事業は我が國の鹽の需給關係から見て極めて重要な地位にある、現在年額五億斤を外鹽に仰いでゐる現狀であり我國の化學工業の根幹を爲す曹達工業の發展と共にその需要も激增し外鹽の輸入が年々著增することは明なことである、現在に於ても州鹽の生產額はこの需要に應じ切れない位でどうしても今大々的計畫を樹てねばならぬ、今回着工する淸水河の鹽田は六百町歩であるが、まだ〱澤山開拓の餘地がある、關東廳の調査ではまだ一萬町歩の開拓餘地がありこれが全部開拓された曉は十五億斤の鹽が得られるが、かくなれば我國は十分鹽の點では自給し得る國際貸借からいつても州內の鹽業を獎勵擴張することによつて著しく改善される譯で殊に一朝事ある場合を考へればいつまでも外國の鹽を以てすることは非常な不安が伴ふ、これらの見地からさ、關東廳の鹽業政策に順應して今回の擴張となつたもので今後もどし〱開拓する豫定である

救國會の不法で 廣東向大豆窮態
市黨部對救國會の杆格

廣東に於ける排日狀況は愈々熾烈を極め最近民衆救國會が滿洲大豆を日貨と見做して沒收した件については過般討論會開催の結果、救國會も周圍の情勢に省み問題の大豆は職人側に返還する旨傳へられたが、その後再び救國會內部より日本の船舶若くは汽車にて輸送せられた貨物はこれを日貨と看做すとの條文ある以上右大豆は返還するを得ずとの決議出で再び紛糾を見るに至つた、市黨部ではこれに對し嚴重に大豆の返還方を救國會に命じたが救國會は肯ぜず、若し黨部が飽迄返還を強要すれば、前記條文の下に沒收した他の貨物も自然全部返還せざるべからざることゝなるべく、救國會幹部は辭職せざるべからずと抗議し居り、救國會と黨部との間に感情の疎隔を來したるは事實らしく、此の間に商人側も相當勢力を挽回すべしと觀らるゝも今後の成行を注目されてゐる、一方日貨の潛入は依然行はれてゐるが、最近救國會側も監視を嚴重で同地一邦人輸入商の談によつても最早東橋、西橋より日貨を搬出することは絶望なる故、海面より水路搬出、翌日未明を待つて救國會監視隊の出動前に陸揚げ

日滿貿易の振興 滿蒙貿易組合生る
十月初旬發起人會開催

【東京特信】貴族院議員東園基光子、工政會の倉橋常務理事等に依つて生れた東京滿蒙輸出組合の發起人會は近く開催され、十月上旬を期し、發起人總會を開き、該組合を模範として大阪、京都、名古屋等全國の主要都市に滿蒙輸出組合を組織し、之が聯合會をつくるべく目下準備中である、來る二十一日午後に丸の內日本商工會議所に於て常議員會を開き全國代表者出席の上、右組合の發起人代表東園子爵、倉橋常務理事、商工省貿易局長高澤進氏等特に列席、滿蒙輸出組合聯合會促進につき熱心に參加を求むる事になつてゐる、今日まで東京の該組合に加入會員は約五百名の豫定である

錢鈔市場改築案 當業者一齊主張
近く運動開始を見ん

大連取引所の錢鈔市場——現在の愛宕町の市場は狹隘にして不潔極まるものであり、世界的銀市場としては餘りに貧弱過ぎるといふので市場關係者では豫て之れが改築が要望されてゐたが、錢鈔取引人組合でも最近これが必要を痛感しいよ〱近く委員を擧げて之れが實現方法を研究し改築運動を起すことゝなつた

錢鈔市場の立會時間變更

錢鈔取引人組合では十六日午後三時より評議員會を開催、現行立會時間に就て協議したが現在立會開始時間は現物九時、先物九時半となつて居り現物半時間の立會は長きに過ぎ種々の弊害あるため十五分間に短縮九時十五分までとし先物の立會開始時間を十五分早め九時十五分よりとすることを決議十七日午前示塚組合長は小林取引所長を訪ひ右變更方を申請した

滿洲移植民計畫は 拓務省で積極方針
漸次鄉軍より一般に擴張 來期議會に法案提出

滿洲國承認と共に拓務省では益々その使命の重大性に鑑み同地への移植民拓殖事業の開發と日滿經濟の統制に力を注ぐべく、先づ軍部及び滿鐵、關東廳等出先當局との完全なる協力の下に着々具體策を考究之が實現を期する意向であるが、移民については來月中旬吉林省に赴く五百名の試驗移民を第一線に起たしめ、同移民に對しては一人當り十五町歩の開拓地を提供して地主たるの希望を容れ三ケ年後には家族をも呼寄せ得る方針を執つた

更に 試驗移民は第二、第三と累次之を增員して滿洲各省に派遣することゝし在鄉軍人第一主義より漸次詮衡範圍を擴大する方針の下に、來るべき通常議會には來年度に於て一千五百名乃至二千名程度の試驗移民案を提出し、此の結果を俟つて昭和九年度に於ては大移民計畫實施の緒に就かしめんとする意氣込である、また農產物を始め羊毛、棉花、石炭等將來生產過剩の虞あるものに對しては當然日滿兩國の經濟統制を圖る必要があるので

此點 に就ては商工、農林、陸軍等各關係當局と十分協調の上萬遺憾なきを期する方針である、尙滿洲國の產業發展と治安維持の確保に伴ひ拓務省の事務も漸次繁雜を加ふることゝなるので目下奉天に在る拓務省出張所を今後必要に應じて各地にも適宜設置し其の使命達成に最善を盡すことゝなつてゐる

滿蒙市場目かけ 本邦農產品進出
十一月沿線主要地で展示

內地農村の窮狀打開の見地より農產品の滿蒙市場進出を圖るため帝國農會門司販賣斡旋所では去る十二日門司クラブで九州各縣、山口、島根の各縣農會、出荷團體代表者會議を開催協議の結果愈々十一月中旬より十二月上旬にかけて大連、奉天、新京、ハルビンに農家生產品展示卽賣會を開催、內地農產品の滿蒙市場大進出を行ふことゝなつた、開催期日は未定であるが、大體に於て大連に五日、奉天、新京、ハルピン各二日の豫定で展示會を行ふ一方開催各地に於ける有力な荷受問屋並に商店を選定し、これら農產品を一定期間委託販賣する計畫で尙これと共に主催各團體より志望者を募り滿鮮視察團を組織、市場視察を行ふ一方展示卽賣會開催地に於て終了後取引懇談會を開催出席せしめる豫定である

紐育株式小高

【ニューヨーク十六日發】株式市場は朝場高かつたがスチール收益率減少の報と次期減配豫想に賣氣強く、スチール三十九弗八分七と一弗八分五安となりその他工業株揃つて分歛安乃至二、三弗安日本[illegible]

米日爲替續騰

【ニューヨーク十六日發】米日爲替は昨日に續いて三十七仙續騰二十四弗十二仙となつた、引際氣配鈍重

公社債は[illegible]六分半米貨債は一弗高を示し[illegible]

關稅引上追加 品目限定

【東京十七日發】大藏省では去る六月の臨時議會に關稅定率法中改正案を提出したる際の公約に基づき當時三割五分附加稅增徵の重稅改正に洩れたる要望品目につき每週關稅調査委員會幹事會を開いて通常議會提案の準備を急いでゐるが最近爲替の低落著るしく輸入防遏され實質的に關稅引上と同樣の效果を擧げてゐるのみならず此上更に關稅の引上を行ふことによつて關稅收入の減少を來す結果ともなり消費者階級に對する損失及外國の報復關稅を考慮するも芳からぬ影響を生ずるものと見られてゐるので今回の關稅改正案には現在既に要望されてゐる、藥品、染料、眞田、農家副業品等を初め引上により國內產業の保護に有效に期待し得る品目に限られる模樣である

滿洲移植民 第一義は人と土
先づ鄉土の建設に進め【八】

そこで本文に這入る譯ですが、由來當世は金勘定が先になります、借地農を說くにも、第一に發せられる質問はこの種農業の收支如何であります、併し凡そ世に收支標準の取り難い事業の一つは農業、殊に個人農家のそれでありませう、之は農業自體が每年每季天候に支配され、且つ他の商工業のやうに臨機應變の手段を講ずることが出來ない、泣いても笑ふても、一旦蒔いた種子はその結果を一年一季、若くは數年の後に待たねばならぬ爲であります、又た作物の種類に依つて所要の資金勞力、及び收穫物の利用方法が幾多の等差があります、私は便宜上右の鳳凰城藥煙草栽培の記錄を討覈し、過去の數字に對照して讀者の判斷に任せたいと思ひます、前にも述べたやうにこの藥煙草栽培の濫觴は、大正七八年の好景氣時代に遡るが、盛んになつたのは夫から數年後のことであります、試みに大正十五年から昨年までの成績を槪觀すれば、十五年度は日鮮人滿洲人とも、殆んど全部が赤字ばかり出しました、之は勿論天候不順な爲でもあるが、而も一般に耕作經驗に乏しかつた爲で、そこに他の普通作と異なる技巧農の特色があります、次で昭和二年から四年までの三ケ年間は各地とも引續いて豐作であり、仕上品の價格また槪して良好だつた結果、殆んど全部相當の收益を擧げました併し五六兩年が再び不作續き、滿洲人の外內鮮人とも缺損だらけでありました、今左に黃煙組合員の統計を掲げて見ませう（單位は面積天地、約四段歩、價格金圓、大正十五年を昭和元年とす）

年次	人員	面積	收入	支出
●內地人●				
元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
●鮮人●				
元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
●滿洲人●				
元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
●組合員總計●				
元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

卽ち六年間も通算すれば、總體に於て收入十五萬七千六百五十二圓、支出十一萬二千六百五十五圓餘、差引四萬四千三百九十六圓餘の純利を得た勘定であります

◇

今之を個々の種族、就中日本內地人の成績に就いて點檢すれば如何といふに、六年間の總收入二十八萬五千六百八十九圓に對し、總支出二十七萬六千百三十六圓、差引九千五百五十三圓、一戶當り平均四百圓餘となります、六ケ年間勞勢の結果としては頗る貧弱の感はあるが、之は單に藥煙草の一作のみに就ての決算であつて、若し近來頻りに唱道される多角農業に手を染め、更に各家の能率に應じて車馬使役の勞に服するなど、絶えず農業者の訓練を積むに於ては、必ずや相當の良成績を擧げ得ると思はれて居ります、その證據には昨年度赤字揃ひの間にあつて、兎にも角にも多少の利益を擧げた五名の人々は、何れも永年の現地生活者か、若くは一般に知られた篤農者であつたが、その中高麗門附近に入植中の一靑年の如きは、野菜の副業に依つて缺損を補ひ得たさうであります、結局借地農の成績如何は、集團的よりも各個人の能力如何に依つて、彼此の間に非常な區別があるやうです、私が或る靑年家族から直接聞いた所によれば、儲けた時代に家屋及乾燥設備等を建設したが、五、六兩年度の凶作の爲め組合に對しては約八百圓の負債が出來た、併し之は萬一の際所有物の一部を提供すれば皆濟し得べく、又本年度が豐作であれば無事に解決し得る、この兩者のうち最惡の場合を豫想しても、結局六年前體一つで安東から入村した身が、住居と最近娶つた妻とを儲け出した勘定だとの話でありましたが、成程統計に依つて同氏の成績を檢討すると

△昭和元年、千百二十九圓損△昭和二年、二千五百八十八圓益△昭和三年、千七百十六圓益△昭和四年、二千三百九十三圓益△昭和五年、五百五十五圓損△昭和六年、二百二十三圓損

とあつて、通算すれば利益六千六百九十七圓、缺損一千九百七圓、差引四千七百九十圓の利益勘定となつて居ります（知坊生）

離連の津久井君 流石に感慨

◇…「これでも本社に歸れば何といつても最新の滿蒙通だからね大いにやるよ」と明十八日出帆のあめりか丸で思ひ出多き大連を去る津久井誠一郞氏は意氣昂然たるものがあるが、流石に名殘りは盡きぬものと見え出發を前にして一入、感慨深きものがあるやうだ

◇…滿洲に葫蘆島に、將又齊齊哈爾方面に長驅よく全滿蒙の大局を把持することを忘れなかつた津久井氏は阿部新支店長を同伴、最後の北滿視察に赴いた時、端しなくも匪賊の東支南部線の襲擊に遭遇した列車は襲擊直前に北行した…のであり、歸路は思ひもかけぬ軍部の飛行機に便乘する等、轉任を前に最後の花を飾つたものである

◇…全くの天佑であつたよ」と身の幸運を喜ぶ津久井氏は滿蒙に對する一段の關心を強めたもの、如くだ、全日本の關心は滿蒙の產業開發に集中すべきであり、お互に協力して善處すべきだと語る氏の決意はよく判る、偶然にも氏が離連の日こそは滿洲事變一周年の記念すべき日である、感慨更に深きを加ふることも自然の情であらう

水道協會續會
午後は井子見學

水道協會第一回總會三日目十七日は午前九時より前日の部會に引き續き第一部會は滿鐵協和會館、第四部會は滿鐵社員俱樂部に於て開會、第一部會は提出議案三十六項から九十項まで第四部會は二十二項から三十一項までの問題を一部委員附託としたる外全部を審了し正午休憩となり午後は甘井子、大連埠頭、油房、市內を見學、夜は六時からヤマトホテルにおける滿鐵總裁主催の晩餐會に招待された

黃塵

◇…何といはれても一身の都合上受けられないと堅く固辭してゐた佐藤君の會頭就任を遂に漸く承諾させようといふ商議役員會の態度は甚だ見上げたものではなかつた。

◇…果然佐藤君は首を縦にふらない、そして飽迄ツッ張り通した老來時代を知り、また自らを知り出したと見える、この點佐藤老に對して先づ敬意を表する。

◇…そこで會頭問題は再び暗礁に乘り上げた譯だが、本來大連商議會頭ほどの椅子には、出しやばつて一席辯じ立てる程度の人間なら誰でもイ、といふ譯のものぢやない、第一相當の教養があり、社會的地位も貫祿もあつた上、取分け肝要なことは土地の財界に信望を持つて居ることだ、見受ける處こうした條件を具へて居る實業家は現在の大連では事實屈指する少數である。

◇…勞々この中から適任者を求めることは容易なことではない、其處に詮衡の惱みもある譯だ、よろしく詮衡委員でも作つて愼重に詮衡するがイ、、もし自薦の臭味ある策動者などがあつたらすぐに蹴飛ばしてしまへ。

◇…あすは滿洲事變一周年記念日中央公園で市民の大記念會がある、慶弔共に行ふべき有意義の一日である、市民諸君の參加を希望する。

市況（十七日）

特產

大豆低落 買氣なく

今朝の定期は大豆は外輸筋の買氣なく低落を辿り豆粕豆油は不申高粱も買氣薄に低落を呈した

◇定期前場（銀建）

◇現物前場（銀建）

定期喰合高（十七日帳入）

錢鈔

爲替强調乍ら 鈔票强保合

今朝海外銀塊は倫敦現物先物八分一安、紐育同事、孟買十六分七高を隔々、米日三十一仙高、日米第一回八分一高の二十三弗八分七に當市は小綻りに寄つたが第二回更に八分一高の二十四弗丁度を入れ下押し第三回八分一安と反落に小戾し結局強保合に引けた、上海標金綻り、滙申七六兩一〇〇、滙烟七三兩三〇〇、大洋九〇圓〇〇

◇現物前場（單位錢）

◇定期前場（單位錢）

株式

內地株ボンヤリ 當市弱保合

北濱定期の前場寄は大新六十錢安、鐘紡六十錢安、新三十錢安とボンヤリ東新は一圓二十錢安に綻りを入れ當市定期の[illegible]

豆

歐洲筋の大豆[illegible]

銀

海外銀塊は[illegible]

株

諸株共ボン[illegible]

糸

米棉情報は[illegible]

商品 麻袋變らず 綿糸崩落

市場電報（十七日）

銀塊及爲替 / 神戶日米 / 棉花 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 橫濱生糸 / 印度麻袋 / 上海標金 / 手形交換（十七日） / 爲替相場 / 鮮銀 / 奧地市況 / 錢鈔 / 特產 / 各地特產發送高 / 大連埠頭到着高 / 滿鐵株（保合） / 前場 / 上海爲替情報

[illegible]

滿洲日報

昭和七年九月十八日　滿洲日報　（日曜日）　第九千四百八十六號　（一）

山東の形勢重大化す
各軍移動を開始
沈の陸戰隊も出動

【東京十七日發】天津十七日發陸軍省着電に依れば十六日劉珍年軍は平度附近に於て韓復榘軍を攻擊したゝめ韓復榘は一部隊を急派し自分も膠濟沿線濰縣に前進警戒することになつた、原因不明濰縣その他より避難民多數濟南に避難中である

【青島十七日發】韓復榘は濟南に滯在中の衛隊に突如出動を命じたので軍用列車に分乘昨夜十二時同軍は濰縣に到着した、尚韓は火蓋を切る模樣から膠濟沿線の青州以東……膠州に部隊を派し警備を平時にして居る

【青島十七日發】韓、劉兩軍の衝突は戰局擴大を考慮され沈鴻烈は當地治安確保のため陸戰隊百名を十六日夕刻急遽窃に上陸せしめ城陽に向け出動警備に就かしめた

平津地方にも波及か
諸惑星の態度注目さる

【北平十七日發】昌邑における韓復榘系軍及び劉珍年軍衝突に關し支那側は嚴秘に附してゐるので眞相判明しないが本日當地某所着電によれば事件突發の報に接した韓復榘は急遽本日濰縣に直行した由で張學良蔣介石に睨まれてゐる韓復榘のことゝて津浦線南北より學良軍蔣介石軍及び青島の沈鴻烈より袋叩きにされる危險あり又韓復榘の態度如何に依りては平津地方の諸惑星に發動の機會を與へることゝなり恰も支那の軍事季節として頗る注目さる

【東京十七日發】劉珍年が韓復榘に對し挑戰せるに對して軍部は次の如く見てゐる　未だ詳報なく眞相は明かでない

韓は反蔣反張派、劉は蔣、張と親密な關係にある、併し寡兵の劉が大兵を擁する韓に挑戰したのは餘程複雜な事情があらう、或は蔣や張が背後にあるとも推測出來る、又過般の張宗昌暗殺とも關係あるとも考へられる、何れにするもこれは北支方面に相當重大影響があらう

青島の支那人動搖
膠濟線は一時杜絶か
濰縣の電信電話不通

【青島十七日發】濰縣より昨日來青した人の談に依ると中國側は四五日前から華商の財產調べを盛んにしてゐたが、これは日貨排斥の爲めにするものと邦人間では觀てゐたが今日ある下準備であつたと思はれる尚今日から濰縣より發する電信電話一切受付けず今夕頃から濟南青島間の列車は一時杜絶されるだらうと云はれる、尚現在の韓復榘軍は八、九萬を有し劉珍年軍は現在武器を有するもの二萬五千、丸腰のもの五千合せて三萬で地盤の狹い爲め最近勢力擴大に努めてゐたものである

【青島十七日發】濰縣には韓軍九個旅あり十六日[illegible]驛際で武器彈藥滿載の貨車三輛が停車十六日濰縣に乘出した韓復榘は副官二名旅長二名と共に縣城內に入つた、在留邦人は一般に落着き居るも支那人は大動搖を來し避難準備して居る、平度地方には邦人約三十名居る、坊子護領事館員一名濰縣に急行し邦人の生命財產の保護に就き韓軍と公安局とに交渉中である

一切の日支問題は
聯盟審議開始後に
米上院議員歐洲で活躍

【パリ十六日發】ロンドン軍縮會議にて松平リード會談を爲し同會議の破局を回避せしめた太平洋問題の精通者なる米上院議員デヴィッドリード氏は十六日午後十一時ロンドンより到着した來佛の目的はエリオー佛首相と會見日支紛爭對策につき共同動作を約せんとするにありと解されその內容は全く秘密なるもアメリカは一切の問題を聯盟の審議開始後に集中する方針を選び九ケ國條約による商議を開始せしめんとするが如き運動を抑止する要ありとし英佛の支持を得て日支二國を右方針に從はしめんとしリードに奔走せしめてゐるものと信ぜられてゐる

我滿洲國承認に
支那各地は平穩
新聞の論評も消極的

滿洲國承認の報が全支那に響き渡つた十五日の各地の狀況は頗る平穩で一二の排日團の騷擾を見たのみで上海は豫想された騷ぎもなく支那官憲は取締りの

◇…仕事　もなく手持ち無沙汰であつた、英字紙の觀測は南支が距離遠きため事變突發に對する熱度が醒めてゐるためであると論じ、中國政府の對策、東北失地責任者を問ふと云ふ程度の新聞記事の外直接排日的論評は見當らぬ極めて消極的なもので唯政府も學良の無能攻擊に過ぎぬ、北平は其の午後數十名の學生が北平大學に集り市中の遊行計畫をしたが巡警に檢束された、新聞は

◇…聯盟　の公平なる決裁を望むと報じ、學良は某要人にメイフアーズの一言を洩らしたといふ濟南は官民一般十五日の午後承認を知つたが特殊の空氣なく仲秋節のみにぎやかに十六日も變化なし漢口は逸早く日滿議定書が速報されたが新聞は大して大きくあつかはず市中靜穩何れも取締りの徹底せるが民心を刺戟するには承認は既に過去のものであるため興奮を感じない狀態となつてゐた【奉天電話】

英經濟誌論評

【ロンドン十六日發】英國の經濟誌エコノミストは社說欄に於て日本がリットン報告の審查延期を要請せりとの報に對し左の論評を掲げ日本を誣ひてゐる

斯る日本の要請に對し斯る苦情を聯盟が許容すべきに非らずと云ふ以外批評の餘地なし十月前日本が滿洲より支那政權を驅逐して以來滿洲は無政府狀態に陷り爾來益々惡化しつゝある狀態である

ロシア、東支鐵道の
所有權を强調
對滿通牒の內容發表

【モスクワ十六日發】ソウエート政府は去る十二日滿洲國政府に對し東支鐵道の機關車（ロコモティヴス）は完全にソウエートに讓渡されて居ることを述べ東支鐵道は北京、奉天兩協定に依りソウエート聯邦の所有に屬し露滿兩國の共同管理下にあるものであるとの意味の通牒を發し本日右通牒の內容を發表したが當地の政界ではソウエート政府が滿洲國に對し東支鐵道の完全なる所有權を强調したことを重要視して居る

支那の對聯盟
通告文全文

【南京十七日發】國民政府の聯盟に提出せる通告全文左の如し

九、一八事件以來日本は暴力的懐殺的、征服的政策を繼續したがその唯一の目的は領土擴張に在り種々の暴行は日に猛烈を加へ今日に至り遂に滿洲國を承認した、承認は歷代の滿洲侵略政策を貫徹し支那國家の保全を害するものであるが聯盟規約十條には參加國各自國の領土主權保全の規定がある筈である、滿洲國は全然日本の製造に係り實權は總て日本人の手中に在る、日本の滿洲承認は自己の侵略行爲を承認したのも當然である、日本と滿洲國との所謂議定書なるものを見るに偏務的不平等條約で日本が東三省に保護國を作らんとする野心を示すのみである議定書に依れば滿洲國の國防を擔任すると云ふが這は今後支那のみならず世界の平和を脅かす重大事たるを指摘せざるを得ぬ日支紛爭が聯盟に提出されて以來各國は只管その解決を求め調查團の報告未だ審議されず聯盟は再三時局が擴大せざるやうにと注意をなし居るにも拘らず日本は單獨に敢然として僞國家を製造してこれを承認した、這は聯盟の權威を蔑視することの頂點に達したものと云ふべきである、以上の如き狀態に在るを以て聯盟は速かに有效適切なる方策を採り以て目前の局面に應ぜられんことを希望す

觀測される
米國の意嚮

【ワシントン十六日發】日本が十五日滿洲國を承認して以來米國務省當局は完全に沈默を守つてゐるが各方面の情報を綜合するに左の如きものと解せらる

一、假令日本が門戶開放の嚴守を約してもアメリカは既定の反對方針を緩和し得るものでない

一、國務省は日本が如何に勸說するも滿議政府に承認を與ふる意思なし

一、不正當なりと思惟せらる日本の立場を變更せしむる策は一切を聯盟との共同動作に待つ

右の方針の下に國務省の今後の行動決せらるゝ筈なるもスチムソン長官と密接な關係ある有力上院議員リード氏が十六日渡佛したこともその具體化として注目されてゐる

鮮人毆打事件で
邦人側起つ
上海各路聯合會決議

【上海十七日發】當地各路聯合會では鮮人バス監督毆打事件に關し既報の如く十六日午後一時より緊急常任委員會を開きこれが對策に就き種々協議の結果左の決議を爲した

一、當該署長を退職せしむること

一、暴行警官を嚴重處分すること

一、工部局責任者は我總領事館に對し口頭及び書面を以つて陳謝の意を表すること

一、工部局責任者は被害者に對し慰藉料並に損害賠償を爲すこと

尚右希望決議は十七日村井總領事に提出當局のこれに對する意向を聽取する筈

何を以て
忠靈に報ゆる
記念日に會し　齋藤首相談

◇…滿洲　事變勃發以來茲に一周年を迎ふることゝなつた、惟ふに滿洲の地は我國存立上の生命線であり國防政治經濟各方面に亘り緊密不離の關係を有し爲に從來國運を賭し多大の犧牲を拂ひその危急を救つて來たのである、然るに近年支那は國際信義を無視し濫りに我權益を侵犯したため遂に自衞權の發動となり今回の滿洲事變を惹起するに至つた、爾來滿一ケ年皇軍はあらゆる艱苦に堪へて奮鬪活躍その赫々たる功績と絶大な

◇…勞苦　とは故國のため貢獻するところ甚大であつて感激措く能はざるところである、更に一方滿洲では三千萬民衆の輿論に依り新に滿洲國を創立して中華民國の羈絆を脱し內王道政治を行ひ外國際信義を重んじその誠意と熱誠とは信を措くに足るものがあつたから之に對し承認を與へ正式に國交を開く事とし以て我國の康寧と東洋の平和とを永遠に確保するの基礎を樹立した次第である、然し乍ら今後に於ける時局は決して樂觀を許すべきではない、故に我國民は確固たる信念と强固なる決意とを以て時局に善處し滿洲國を

◇…援助　し日滿共存共榮の實を擧ぐる事に更に一層努力奮勵を必要とする次第である、之我國の使命であり又滿洲に於て陣歿された皇軍將兵の忠靈に報ゆるの途であると考へる

大使陸相訪問

【東京十七日發】出淵駐米大使は本日午前九時官邸に荒木陸相を訪問し事變に對する米國の情勢を報告種々懇談を遂げ同三十分辭去した

管船局長後任

【東京十七日發】

遞信省貯金局長　淸水順治　任遞信省電氣局長（一等）

電氣局長　淺野平二　任管船局長（一等）

簡易保險局理事　猪熊貞二　任貯金局長（二等）

滿洲事變
一周年を迎へて
天は正義を祐く
新國家は正義の發露
武藤關東軍司令官所感

客秋張學良の軍隊が突然我南滿洲鐵道の一部を破壞するや我獨立守備隊は奮然起て直に之を擊退し茲に張學良軍と我關東軍との大衝突となり南滿一帶遂に兵火の巷と化せしは早や一年前の過去となりぬ。滿洲舊軍閥の傍若無人の橫暴は久しき以前よりの事にして其狀勢を自然の成行きに放置せんか遂に日支兩民族間に恐るべき大事を誘致し東洋の平和を攪亂するのみならず惹いては世界の大亂をも導かんとするの虞あることは內外識者の夙に憂慮したる所なり。

◇

天なる哉命なる哉今次の事變は實に日滿兩國民が天より一大試練を課せられたるものにして暴戾搾取飽くことを知らざる學良の秕政に呻吟苦惱しつゝありし在滿洲三千萬の民衆が時到れるを信じて蹶然奮起新國家建設の偉業に着手せしは天の命に從ひたるものと謂はざるべからず。驕者不久は天地の原則なり張學良一派が一夜にして滿洲の政權を喪失し其麾下二十萬の軍隊も忽ち離反崩壞したるもの豈偶然ならんや況んや日本帝國の軍隊は皇軍卽ち正義の軍なり仁義の師なり。驕軍の敵する能はざる毫も怪むに足らず。天は正義を祐く滿洲三千萬民衆の正義の發露は一年ならずして新國家成るを告ぐ

◇

嗚呼天祐なる哉嗚呼盛んなる哉然れ共熟々其前途を靜觀するに幾多障碍の橫はるものあるを想はしむ、殊に愼むべきは此際民衆の附和雷同を戒め正に與みし義に進み協心戮力以て日滿兩國民の大使命遂行に精進せざるべからざること是なり、吾人大和民族は讀で字の如く大に和する民族なり、我官民必ずや其本性を發揮すべしと雖滿洲國官民亦克く天時不如地利、地利不如人和の格言を服膺し同心協力一致融和以て天命に背かざらんことを期せざるべからず、斯の如くにして誤らずんば新滿洲國の前途は實に洋々たりと云ふべく日滿兩民族の幸福之に過ぎるものなかるべし、茲に事變勃發一周年を迎ふるに當り極東民族勃興の基礎を確立し東洋永遠の平和を招徠せんとする大偉業の進展を促進したる日滿兩國軍民の熱血至誠の奮鬪努力に對し滿腔の感謝を表すると同時に此民族的大使命遂行の爲貴き犧牲となりたる幾多同胞の英靈に對し恭しく敬意を捧ぐ。（寫眞上は武藤軍司令官、下は小磯參謀長）

天の與へた
配劑に外ならぬ
小磯關東軍參謀長談

滿洲事變一年を回顧して──滿洲事變は東洋史否世界史の上に一大劃期的の轉向を示した、バルカンの一靑年が投げた一彈が歐洲大戰を惹起した如く、柳條溝の爆破が遂に滿洲國の獨立を誘導する素因を成さうとは勿論事變前においても東北政權が日本の權益を蹂躪し事每に壓迫的態度に出で日支關係は避くべからざる紛爭への道程を辿る傾向は醞釀しつゝあつたが、斯くの如く事變來滿洲在住三千萬民衆が蹶起し、舊軍閥の搾取とその桎梏から脫れるために本年三月滿洲國政府を確立し、執政の就任となり內實共に一獨立國家を形成するに至つたことは、何人もこれを豫期しなかつたところであり、若しこれを强いて說明すれば天といふことに歸するものであらう

◇

天の利よりは地の利、地の利よりは人の和とはいふが、天の自然が與へた配劑でなくてなんであらう、從つてこの天地を開き人の和を得て滿洲國にこの王道主義卽ち東洋の精神文化を普遍化し樂土を建設することに努力せるこの滿洲國をいかなる困難と障害があらうとも打破し東洋民族の平和使命を遂行するために援助を與へねばならぬ既に滿洲國は承認されたのであるしかも天か偶然か事變一周年の今日、この記念すべき滿洲國は完全に獨立國として日本は承認したのである、重ねていふ、斯る歷史的偉業が柳條溝事變を一轉期として茲に產れやうとはこれ天でなくて何であらう、よろしくこれによつて地の利を開發し人の和を得て東洋民族の大精神と正義を世界に伸張せねばならぬ（文責在記者）

四つの感慨
現下の第一義的本務
森島奉天總領事代理

本日滿洲事變一週年記念日に際會し過去一ケ年を回想するに胸中無量の感慨の湧くを禁じ得ない、今や三千萬民衆の福祉を念とする王道主義の樂土滿洲新國家の成立を見滿蒙問題の根本的解決其の曙光を見んとするに當つて吾人は第一に朔北の寒風骨を刺し灼熱鐵をも熔す滿蒙の曠野に日夜身命を賭して正義の鉾を執りつゝある我皇軍諸將士の奮鬪に對し衷心感激に堪へざると共に日淸日露の二大戰役を始め今次の事變に當り祖國に生命を捧げ以て我國存立の基礎を築き上げた先輩諸士の遺靈に對して誠心誠意感謝の念を捧げざるを得ない

◇

第二に今次の時局に際會し邦家の爲に慶賀に堪へないことは國民全般が滿蒙の重要性に付て正確なる意識を把握するに至つたことである、人口の激增、領土の狹少に加ふるに天然資源の缺乏に苦しむ日本は海外發展と工業の振興以外に國家存立の途なきは識者の等しく稱ふる所で滿蒙問題の重要性も正しく滿蒙が右の點に於て我國の生命線たるが爲に外ならない、然るにも不拘日露戰爭後の國民は國家存立の目標を見失ひ安閑裡に洩然其日を空費して來た觀なきを得ない、日淸日露兩戰役前に於ては支那及露國を目標とし國民の決意覺悟共に强固なるものがあつたが歐洲大戰以來我國民は久しく五大強國なる美名に迷はされ日本民族の世界に有する使命を忘却し我國存立の爲め二大戰役を賭したる滿蒙に對しても正當の注意を怠るに至つた、右は固より歷代の政府、政治家、出先官憲の措置宜しきを得ざりしによること勿論であるが其根本に於て國民自體の無意識に期せざるを得ない、然るに今次の時局は內に眠れる魂を呼起し國民全般に對し滿蒙の重大性に付き確乎不動の意識を與へたことは我國の未來永遠に亘る最大の收穫物と云はざるを得ない

◇

次に國際聯盟の關係である、聯盟は固より平和維持の機關として近代歷史の大なる所產であるが今尙發達の過程にあるを免かれない加ふるに米露の二大國が今尙加入せざる以上果して何れの日に所期の大目的を達し得る域に及び得るや否や疑問を免かれない、從來の事蹟より見るに聯盟の爲す所は主として文化的人道的方面の事業に極限せられ政治的活動の範圍は極めて狹少なるの感があつた、況や歐米先進諸國と全然事情を異にする極東に聯盟の威力を示し得るや否やは聯盟成立以來疑問とした所であるが事變以來聯盟總會理事會並に調查員等に關する我官民一致の確乎たる方針は聯盟の威力東洋に及び得ざる事を明かに示すと共に極東に於ける我國の大使命と立場とを世界人心に深く刻くする所があつた、吾々は今後共極東に於ける我國の地步の確立に意を用ひ世界文化に對する我民族獨特の使命の遂行に盡すの覺悟を强固にせねばならない

◇

終りに今次時局の所產としては我國の北滿進出を見逃すを得ない北滿への進出は日露戰爭以來我國民の寸時も忘るゝ能はざる所であつたが國際關係の複雜と國力の不充分との爲今日迄其の機會を得るに至らなかつたが今次の時局は計らずも我民族に對し北滿の寶庫を開くに至つた、往時帝政「ロシア」の勢力は北滿より漸次減退するに至つたが赤化の鉾先は尙熾烈なるものあり今後「ソ」聯滿洲國及我國の三者の間に介在し如何なる魔力を振ふや計り難く我國としては北滿への政治的經濟的發展に對し無限の害を存すると共に思想的方面に對しても充分の關心を用ひ邦家の將來に備ふる所がなければならない、兎もあれ多年滿洲に蟠居し國際の信義を無視して暴虐の限りを盡し遂に敢て帝國に挑戰し來つた彼の舊東北政權が我皇軍の聖火に皆滅して鬱積した滿蒙の暗雲は茲に一掃され興亞黎明の光は此の日より輝き初めたのである、然し時局の前途尙幾多の難關に逢着するの日あるを覺悟せねばならぬ、須く吾人帝國臣民殊に在滿同胞は克く今次事變の本義に徹し不屈不撓、同心協力、正義に殉ずるの決意を以て先人十萬の遺烈に酬ゆると共に日滿兩國民の固き提携に依り東亞久遠の平和を確立し以て我國力の進展に資せねばならぬ之吾人現下の第一義的本務であると確信する次第である

凱旋部隊を
出迎へませう
十八日午後八時五十分　大連驛到着の豫定

滿洲國獨立を
羨む蒙古人
赤露の重壓に泣く

【チヽハル特電十七日發】十六日內蒙古より來る蒙古人一行某は昻々溪にて語る

南北滿洲は新興の意氣に燃えつゝあるに我內蒙古人は外蒙古獨立後赤露の極度の彈壓愈々加はりたるため內外蒙古國境一帶に當り暴動起り虐殺兵亂各所相次ぎ自由獨立を叫びつゝ戰亂の巷と化しつゝあり平和なるべきゴビの沙漠は今や血色に彩られつゝあり

と文化に漏れて今なほ遊牧の業をなしつゝある蒙古人にも[illegible]よの一石が投ぜられたかに見る

補充理事は
「まだ極らぬヨ」
◇…八田副總裁歸る

八田滿鐵副總裁は山崎總務部次長杉本秘書を伴ひ奧地出張中であつたが十七日午後八時着列車で歸連した、途中出迎への記者に對し

◇…なアに公主嶺の農事試驗場についでに獨立守備隊を訪問し慰問の挨拶をした、新京には十六日行き鄭國務總理を訪問し滿洲國承認の祝辭を述べ同夜ヤマトホテルにおける武藤全權大使の滿洲國側要人招待會に臨席し今朝出發して來た

◇…僕の滿洲國承認に關する感想は新聞に發表したのに變りなく今回の旅行に關しても別に感想はない。只新京は一寸のぞいただけだけれど非常に活氣付いてゐると思つた、勿論滿洲國家承認問題もあつて要人の往來が頻繁であつた關係もあらう

◇…滿鐵後任理事つてまだ決定してゐない、總裁が東京で詮衡してゐるものと思ふ、河本君の噂もあるがこれもまだ決定した譯でなく候補者の一人であるといふ程度であらう

◇…僕の上京に就いては總裁からの電報もあつたが滿洲國問題に伴ふいろ〳〵忙はしい事務があるので總裁の歸つてくるのを待つてゐる樣な次第である

竹中理事一行

竹中理事は十七日チチハルより飛行機にて長春着同日四平街に南下四洮線の視察に赴き十九日四平街發二十日午前八時大連着の豫定だと【新京電話】

骨も肉も黒い珍らしい鷄
金州農事試驗場で飼育の、絹糸鷄のおはなし

昔 から珍しい鳥は妙藥になるといはれて居りますが金州の農事試驗場にはこの珍しい鳥が飼はれてゐます、それは烏骨鷄といふチヤボ位の大きさの可愛い鷄です元々支那日本が原産地だと傳へられてゐますが年々少くなつて今では何處にも餘り見受けられないやうです、州內では農事試驗場以外に飼つてあるところはないやうです、この鷄の外から見た特長は冠は薔薇冠（普通ざくろと言ひます）ですが冠毛がありそのうへ足指が總ての鳥は四本あるのに五本あつてしかも皆完全に發達してゐることです、雌の方は蹴爪を合せて六本になつてゐます

毛 色は白、黒の二色あるさうですがこゝに飼はれてあるのは白色です、そしてその毛が兎の毛の樣になつて居ります、それで一名絹糸鷄ともいはれてゐます、殊に面白いのは骨も肉も身體全體が黑色であることです、烏の樣に黑い色をしてゐるから斯樣な名をつけたのでせう、昔から黑い鳥は藥になるとよく言ひ傳へられてゐるのはこの鳥であります、生き血は中風症に大へん効果がありまた呼吸器病にも効果があると言はれて居ります、肉や卵もこれを連食すればこれ等の病氣に効目があるさうです、昨年は病氣を癒す爲めにこの

鳥 を探し求めてはるばる天津から試驗場に訪れて來たこともあるさうです、實際に効果があるかどうかは實驗の上でなければ判りませぬが若し効果があるものとすれば得難い珍鳥でありませう

た家庭の愛翫用としてもこの上ない可愛い鷄です（寫眞は烏骨鷄）

滿洲國の發達

★…歴史上に特筆すべき九月十五日、日滿兩國の締盟は完全に達成され、新國滿洲國は華々しく國際場裡に乘り出しました、これによつて我々在留邦人の諸種の權益は確保され我々の第二の故郷として安心して心のまゝに活躍することが出來るやうになりました

★…滿洲は我々の第二の故郷です、我々自らを向上せしむると同樣に第二の故郷滿洲も向上せしめなければなりません、經濟的方面の開發はいふまでもありませんが古い歴史を持つた滿洲の文化を研究しこれを發達せしめることに努めねばなりません、これは滿洲國を向上せしむるに是非必要なことであります

★…歴史をひもといて見ますと滿洲と支那本土とが全然別々のものであることを知り得ます、さうして滿洲と支那とが合同して一國家を形成してゐる場合それは何時の時代にも滿洲に起つた强力な人物或ひは民族が支那本土を併呑した場合にのみ起つた現象で支那より滿洲が平定されたことは未だ嘗て殆どありません、この强力な民族を幾度か生み出した滿洲は相當古く又相當强い立派な文化を持つてゐる筈です

★…我々日本人と雖もこの歴史ある滿洲の鄕土文化を研究し鄕土文化の發達をはかることは日滿親善の上に於ても又滿洲に居住する我々自身のためにも是非必要なことです出來得るかぎり鄕土文化の研究に努めたいものです

街頭に立ちて【下】
大連聯合婦人會　石川忍

獻金箱の側を廻りみちして、わざ〱遠い方を通つたり、そばに行つて御覗みしても、返事もなく横を向いて、さつさと足ばやに行き過ぎてしまはれる心無い同胞に比べて、常にかうした仕事に、よき訓練を持つてゐる外國人の、いたはりある愉快な態度に感心させられもした。

又かういふ事もあつた。私の子供が、今、馬車から下りようとする支那人の、一家族らしい人々の前に獻金の箱を持つて行つた。子供の肩から掛けた白い襷の「ハルビン水害御見舞金募集」とある文字を讀んでゐたらしかつたが、ニコ〱して幾何かの志を入れられた。ところが、その様子を見てゐた馬車夫が、その客に理を聞いたものか、今受取つた馬車賃の內からトンズル三つを箱に入れてくれた。思はず喜びの聲をあげて、丁寧にお禮をする私共を見返り〱ニコ〱してその馬車は動いて行つた。こんな愉快な出來事もあつて、終日立ち通しの私達は、更に勞れを覺えなかつた。私共の立つた所では意外に滿洲人の獻金が多く、五十錢銀貨を入れて何か言つてゐるけれど、よくその言葉の意味を解し兼ねてゐる私の胸を指して「心很好」と簡單明瞭に褒められて赤面した挿話もある。

唯々斯かる働きには一同不馴れのため、色々と申譯ない御迷惑をお掛けした方々もあつたこととお氣の毒に思ふ。「獻金された方々に對してマークでも差上げたら……」といふ親切な注意を頂いたことも、今後またかういふ働きを寄しする場合のために誠によき參考となつて仕合せである。

兎も角も、二日間の私共の誠心の奉仕が酬いられて、翌三日、各代表幹事立會の上、開かれた獻金箱の尊い御喜捨は、合計金一千三百五十圓餘にのぼつた。

厚い御同情を頂いた一般市民の方々に深く〱感謝申上げたい。私共の思ひ立ちを、かくも意義あらしめ、永になやめるいたましき人々に深き思ひやりを頂いた大連市民各位の御志に對して衷心より感謝を捧げ、御禮申上げる次第である。

荒れ勝ちなこれからのお手入れ
特に荒れ性の方は秋から手袋をはめて外出なさい

遠慮 なく凋落の秋は訪れて朝夕覺える冷氣は滿洲の酷寒を忍ばせるまでになりました、かうなれば夏季相當脂肪の多い者でも脂肪が減り、殊にお勝手に水仕事をやる主婦の手は荒され勝になります、わけても石炭を一日中焚くために氣の毒なほど手を荒された方を屢々見受けます、女性であれば髪や顔の方には充分手が加へられますが、手先は割合に疎そかにされ勝です、斯うした中に手先に美しい女性を見ればその人の細かい點に心遣ふ奥床しさが偲ばれ嬉しいものです、これから冬にかけて荒され勝の手の手入れ法を東京美容院の德永千代子さんに伺ひました

水質 が惡いから手が荒れるのだらうとよく聞きますが大連の水は決して惡い事はありません、こちらは內地と異つて氣候の變化が急であるのを秋風に塵埃が混つてひどく吹くのに加へて秋から冬になれば脂肪も減つて來るといふ色々な條件が加はつてこれからは手も荒されるのです、でこれを豫防するには先づ入浴した時に質が細かくなつた古い輕石かほうの木炭に石鹸をつけて荒れてゐる手先を輕くこすります、すると柔かに綺麗になりますから入浴後脂肪性のコールドクリームか、メンソレータムをつけてよくマッサージして、未だ温か味がある中に乾いたタオルで暫く包んでおくか、包んだまゝ寢みます、すると翌朝はカサ〱の手はどこかへ吹き飛ばした樣に綺麗になります

入浴 しない時でも手を荒したまゝで寢みますと一層カサカサにしてしまひますから、寢む前に洗面器に微温湯を取つて石鹸水を拵へこの湯の中へ手が柔かになるまで浸し前の樣に輕石に石鹸をつけて洗ひます、踵にひゞがきれたり荒れたりした時も同じ方法をとります、輕石やほうの木炭を使用して皮膚を荒す樣な事は決してありません

この 反對に脂肪が多くて困る方は、微温湯に明礬を茶匙一杯ほど入れこれが冷めてから手を浸します、洗ひましたら乾いたタオルでよく拭いてハンドローション（無脂肪）をつけて強く手先より上の方にマッサージして行きます、そして濕になりましたら、上から手先の方に向つてマッサージしてのち手を拭くか手袋をはめて寢みます、手の荒れを防ぐため炊事手袋をはめますが厚くて仕事がうまくはかどらない時は手術用の薄い手袋を用ひられたらよいでせう

然し 何といつても手を綺麗に保つに大切な第一條件は水仕事後必ず乾いたタオルで水分を充分拭きとることです、その後にクリームでは勿論ですから、ハンドローションか、化粧用の（リスリンが餘り入つてない）ヘルツ水をつけます、冬期は殊にこの手當をして外出されないと手を荒します、冷性の方は秋から薄い手袋をはめて外出されたら餘程豫防できます

家庭顧問
二三町も歩くと腰に熱が出て倒れる

【問】當年四十八歳の男です、腎臓や心臓や脚氣でもありませんが二三町も歩きますと腰の方に熱が出た樣に非常に熱くなり目がまわつて息が苦しくひどく動悸がして時々倒れる事があります、この時腹部に力を入れて吐く息を多くし、帯をといて風を入れますとやがて氣分が快くなります、この發作は兩度の時ほどひどいやうですが何病でせうか？その療法等御教示下さい（歩行難生）

動脈硬化症と思はれますから一應専門醫に
土井三郎

【答】心臓や腎臓は惡くないとのことですが檢尿などなすつたのでせうか、歩行後に發作するとのお話ですが發病時期もよくわかりませんから何病とはつきり申上げられません、お年から考へますと動脈硬化症ではないかと思はれます、成るべく暴飲過食を避け肉食を減じて野菜や果物など植物性の食餌をとり便通をよくし、睡眠を充分になさい。其他平素の生活を力めて規則正しくし、若し酒や煙草を用ひてゐられたら斷然おやめになる事をお勧めします、何れにしろ一應専門醫の確な診察をお受けになる方が安全でせう

もぐらもちのトンネル
政本さいむ作　太田あた坊畫

(38)

「さあ、動きますよ」もぐらもちが足なみ揃へて動き出しました。二人は何だか氣味が惡いやうでもあり、面白いやうでもありました。

眞暗いトンネルも馴れてしまうとさう暗くはありません。何だか汽車にでも乘つてゐるやうです。トンネルはどこまでもつゞいてゐました。

よくまあこんな立派なトンネルを掘つたものだな、と思ひました。少し行くと廣つぱがありました。そこには池があつてきれいな水が噴水のやうに湧き出てゐました。

どこからとつて來たのか珍しい恰好の石が澤山置いてありました。「きれいだなあ」といふと、「これ、公園です」もぐらもちがいました。

秋と女 N
障子の張替毎に自身の生活を顧みる
大連市濱速町八四　宮崎文子さん

雨あがりのめつきり肌寒くなつた朝方、今まで何の氣なしにゐた窓の網戸が妙に寒々と氣がゝりになつて、物置の隅に押こんであつた昔ばかりの障子を引つぱり出して見ました、春しまひこんだ時はきれいに洗ひ上げてたきましたのに、四ケ月足らぬ間にまあ何とひどいほこりだらうとびつくりさせられた事でした、どんなに新しいで見たところでこんな二昔近い障子では綺麗になりつこありませんがそれでもかうして洗ひ上げて新らしい紙に貼替えて見ると又急に若返つたやうで、私の氣持まで明るくなつてまゐります

……◇……

私が嫁いでまゐりました時にはこの障子が今では「まるで博物館のもの」と若い方たちに笑はれる時は決してそうお粗末でなかつた木の香のプンとする樣な、その當のを見るとき、私自身がすでに時代の苔が生えかゝつてゐるのを省みさせられますが、昔のものだけに大がいの亂暴な取扱ひにもちつとも狂ひの來ないこの障子に深い愛着を覺えないではゐられません、そして恰度この障子のやうに、年々安つぽくうすつぺらになつて行くのではないかと思はれるモガとかモボとかいふ人たちを考へますとたよりない氣持がいたします、

……◇……

障子を張りつゝ煤けて渋黑になりながらもガツシリと力づよい障子の骨をながめながら、ついいつも埠頭や大連驛頭で送り迎へるあの陽にやけた軍人方を思ひました、あの汗や土にまみれたきたない[illegible]な軍服が私には何時もどれほど尊いものに輝いて見えますことか、この方たちがゐて下さる限り日本の國も先づ安泰だと深い感謝の氣持を抱かずにゐられません

……◇……

障子を張り乍ら、さうしたことをとりとめもなく考へながら、何時とはなしに二枚三枚と張り終つてあちこちの窓に立てかけますと急に部屋の中が明るく目新しくなりました、わづかのことでかうも氣分が新しくなるものかと、毎日々々何の變化もない生活をくりかへしてゐる私自身をもう一度ふりかへつて見ました、そして私も明日は久しぶりに髪を洗つて束髪にして見やうかと思ひました

滿日各地版

保税倉庫設置が奉天發展上緊要
下村三井支店長語る

【奉天】下村奉天三井物産支店長は仲秋節後の滿洲國側商況に就き語る

滿洲國を日本が承認したといふので内地からの市場開拓の進出は一層盛んさなる傾向にある、然しこれまで各種の食料品其他の品を是非實捌いて欲しいさ紹介して來たが、いづれも一度は滿洲商人も仕入はするも、二度目は一寸手を出さない、其れに内地の商人が假りに市報を開拓したいふやうな氣持でゐては大なる錯誤である、商品を徹底的に知らしむるには餘程の努力を要し需要者の嗜好、趣味、値段商標等々に十二分の研究を要する、仲秋後の取引は匪賊さへ終熄すれば奉天省は昨年より大豆の作柄も一割五分見當はよいのであるから貨車の荷繰も順調に進み悲觀するに至らぬ、既に二三十車は出廻り大麻子も出て來たが、匪賊のため農村からの集散が非常に遲れてゐる、雜貨、棉糸布は滿洲商人の手持品が値上りし、銀高のためにいづれも相當の儲けさはなつてゐる、奉天の發展は何んさいつても保税倉庫の設置にある、保倉さへ出來れば他の事は自然に解決し商取引は勿論のこと工業も勃興するであらうさ

旅順市長の承認祝電

【旅順】我國の滿洲國正式承認に對し十五日永山市長は旅順市民を代表し滿洲國に對し左の如き祝電を發した

東洋永遠の平和の爲め帝國の貴國正式承認に對し茲に市民を代表し謹で滿腔の祝意を表す

奉天商議の承認祝電

【奉天】滿洲國承認さ共に奉天商工會議所では十五日武藤全權大使及び執政府宛夫々左の如き祝電を送つた

久しく日滿兩國民の待望して止まざりし我國の滿洲國（執政府宛電は貴國）承認は、本日滯りなくその實現を見るに至り眞に慶賀に堪えざるなり、今後日滿兩國は愈よ親善提携を深くし産業經濟の發達に向つて邁進せられんことを切望す、奉天商工會議所を代表し茲に謹しんで御祝ひ申上ぐ

奉天商工會議所會頭　庵谷忱

事變記念行事　奉天に於る

【奉天】滿洲事變一周年記念日である九月十八日には全滿一齊に各種記念催しが擧行されるが、この事變に最もゆかりのある奉天では全市を擧げ慰靈祭、デモンストレイション、旗行列、提灯行列等が盛大に行はれる、尚そのプログラムは左の通り

九月十七日　一、講演會午後七時より於春日小學校記念講演會を開催す

九月十八日　一、報賽祭午前九時於奉天神社（約三〇分）一、慰靈祭午前十時於忠靈塔（約一時間）（式次省略）一、旗行列午前十時三〇分より高等女學校、初等學校、普通學校、公學校、生徒左の順序に依り行進す、忠靈塔……千代田通……驛前……浪速通……軍司令部（萬歳）……神社（萬歳解散）一、記念宴午後零時於女學校講堂（約一時間）（式次省略）一、トラック隊デモンストレーション午後一時より在鄕軍人トラック三〇臺、バス十臺に分乘行進す一、傷病兵慰問午後一時より聯合、佛教、篤志各婦人會員並びに總務委員三名傷病兵を慰問す一、劇場活動常設館開放午後一時より午後五時迄奉天劇場、平安座、奉天館、演藝館開放（軍隊は平安座に招待、婦人團之を接待す）一、提灯行列午後六時より各初等學校（五年以上男生徒）各町内會、居留民會、青年訓練所、其他各團體、浪速通より大廣場に亘る所定位置に集合の上午後六時三十分行進を起し最終地點（忠靈塔境内）において萬歳三唱解散す一、默禱汽笛午後十時を期し一齊に運動を停止し三〇秒間默禱す尚同時に汽笛を吹鳴らす一、其の他（イ）國旗揭揚各戸に於て國旗揭揚のこと、尚左記十箇所に日滿大國旗を交叉揭揚のこと千代田通西端、忠靈塔前、商埠地境、浪速通西端、大廣場、浪速通東端、加茂町北端、青葉町南端、平安廣場、宮島、日吉町境（ロ）煙火打揚晝間、夜間煙火各三〇發宛打揚のこと（ハ）感謝狀發送のこと在奉各團體より軍司令官宛感謝狀發送のこと（ニ）車馬に國旗揭揚午前七時より九時迄午後一時より二時迄車馬に

匪賊の歩哨監視姿をパチリ

各地の匪賊は十五日を期して一齊に各地を襲撃せんと計劃してゐたが、奉天警察署にては遊動隊を編成し〇〇方面に追擊を試みた、其時高粱畑の陰にかくれてゐる匪賊の歩哨、監視姿をカメラにした

銃後の人達の涙ぐましい活躍
事變を追憶して　南里順生

長春が激戰地であつただけ長春在住者の奮闘努力は恐らく他にその比を見ないものがあつた、この獻身的活躍さ崇高なる奉仕をしてゐる人たちの紹介を是非したいさ心から願つてゐたが、その總ての人は何れも謙遜して語ることをさけたものである、然し記者の眼に映じた點も少くないが一番凡ての人を感激させたのは長春健兒團の活躍で、寬城子戰では第一線から擔架で運ばれる負傷兵を後方輸送に手傳ひそれが激戰の度を増すごとに負傷兵の數が増加し前進によつて距離が遠くなる、長毯ホンの後方だけを手傳つてゐた健兒團（少年團）が鮮血に染まる負傷兵を目のあたりに見るのでたまらなくなり、衞生隊の勞苦よりも負傷兵への同情から第一線近くまで飛んで行つて衞生隊の手から擔架を奪ふように貰ひ受け泥みどろになつて安全地帶へ輸送する勇氣と健氣さは煙草をふかしながら戰爭を見物してゐる人達が小面憎くなつたものである

×　×　×

遼陽の記念會

本邦品の商標と特許品侵害状況
（上）奉天商工會議所調査

一、本邦商標並特許品の侵害状況

今や入學率も卒業就職も好調
事變前とは全く逆轉した　奉天同文商業學校

鐵嶺の記念日

鞍山の記念日

旅順市議選擧名簿閲覧

奉天中學校の野外演習終る

旅順の仲秋節　華商決濟圓滑

松尾監視隊の記念碑を建立

【錦州】本年一月九日付の古賀聯隊長戰死の日と同じ錦西北方約四粁里大紅螺山下杜屯にて松尾監視隊長以下二十有七名全く孤立無援になり壯烈なる戰死を遂げた事は未だ記憶の生々しき事なるが、之等勇士の壯烈なる戰死を深く悼み英靈を永久になぐさめる可く記念碑を建立する事に成つた、錦西縣長王在邦氏は進んで發起人さ成り自治指導部古館氏委員長さ成り尚同じく浦部氏、關總務局長、孫教育局長、齊財務局長等の諸氏も加はり、之の援助をなすさ尚右記念碑は高さ一丈五尺、巾六尺、工費七百餘圓にて其の内二百圓を西〇聯隊長及び元二十師團長室中將にて寄附し、其の他は發起人に於て全部負擔し碑の前面には松尾監視隊戰死之場所さ西〇聯隊長達筆を揮ふ由、後面は王縣長の筆にて英靈に對する讃元を書すさ、竣工は十月初めの見込みにて竣工の曉は錦西縣主催さなり盛大なる除幕式が擧行せらるゝ筈だが、之れで錦西紅螺山下の英靈もさぞ喜び安らかにねむる事であらう

開通城附近で交戰三時間

【洮南】九月十二日開通西北方に逃亡中なりし遼西彭軍は午後二時頃再び開通城に向つて襲ひ來つたゝめに、開通駐屯の洮南守備第二中隊は直に之に向つて交戰したるも敵は精鋭なる機關銃、曲射砲を所持し勇敢に攻め來り一時苦戰に陷りたるも交戰三時間にして漸く之を擊退した、此の戰ひに於て我軍の損害死者二名、八名負傷、匪賊は再び襲來の氣配有り形勢不穩なる爲め十三日午前洮南守備隊山砲隊、第二中隊殘部隊及び江橋守備第四中隊の一半は開通方面に出動した、獨立大隊三中隊は駐屯地大石橋に歸還したる爲め目下永戸二聯隊の平賀中隊が之に代り洮南の守備に任じて居る

沿線往來

▲二荒伯（日本少年團理事長）一行十五日新京より來奉
▲小川拓務省事務官　十五日安奉線急行にて來奉
▲有賀滿鐵學務課長　十五日過奉隣連

美味

譬へ様なき美味・香る甘さ！

新時代の家庭飲料として人氣第一等

先づ第一に 味！香！

美味しいものはいろ〳〵ありますが、男にも女にも、老人にも赤ん坊にも、上戸にも下戸にも萬人が萬人に喜ばれるもの、『どりこの』に及ぶものは他にありません。

何とも云へぬその甘さ！親しみのあるその香り！思はず舌が躍り出す。トロリとした琥珀色！『どりこの』こそ現代が生んだ貴い飲料であります。高尚な家庭ではお茶やコーヒーの代りに日常用ひられて大變な人氣を受けて居ります。來客への御接待にはこの上なし、夏は冷水、冬は湯に薄めて進める、手數も簡單です。

誰にも喜ばれる 贈答品

特に病氣見舞として 最上無比！

美味にして滋養に富んで居りますから、發育盛りの子供に與へるにも最良のものです。

『どりこの』は、どんな病人にもよく、又家人にも好かれるので、こんな好適で重寶なものはありません。その爲め近時病氣見舞は何處でも『どりこの』が一番多く使はれて居ります。

美味しい 飲み方

『どりこの』は、普通六七倍のお湯にうすめて召上ればよいのですが、次の樣な色々な召上り方がありますから、どうぞお試しになつて下さい。

◆**蜜豆に「どりこの」**…蜜の代りに『どりこの』を入れますと、一段と味がよいことは勿論、滋養價の高い消化のよい高級食品になります。

◆**パンに「どりこの」**…バタやジャム、砂糖などの代りに食パンにつけますと、トテモ美味しくて滋養が多くなります。

◆**『どりこの』アイス・ウオーター**…暑い時の飲物として『どりこの』を水にうすめて氷片を入れたら、美味飲料の絶頂です。又削り氷に大匙二杯ほどの『どりこの』をかけるも同樣です。

◆**ウヰスキーや葡萄酒に**…ウヰスキーや葡萄酒その他洋酒に『どりこの』を適度に混ぜて水を割ると、それはそれは高尚な、何とも形容し難い、天來の味が味覺を蕩かします。

◆**ケーキやオートミルに**……『どりこの』を菓子につけたり、オートミルに入れることが近頃流行してゐます。大變風味がよいので歡迎されます。

◆**紅茶やコーヒーに**……『どりこの』を混ぜた紅茶やコーヒーの味はまた格別です。ずや夏蜜柑その他の果物にかけることも貴ばれます。

この外、まだ樣々に用ひられて居ります。御工夫で色々に用ひられ、大變好まれて居ります。

驚嘆される どりこの牛乳の榮養價……◇

牛乳一合に『どりこの』を少量（一勺六）加へますと、榮養價が凡そ二倍になります。その上香氣を非常に良くしますから、牛乳の嫌ひな方でも飲み易くなります。

どなたも信じて 御飲用下さい

どりこの

DURIKONO

專賣特許 高速度滋養料 どりこの 内容（1700カロリー）

D.132

專賣特許

滋養

何故どりこのは理想の滋養料か？

海外への輸出は月々激增！ 今や聲價は世界的！

高速度滋養料と云はれる 「どりこの」の榮養價

『どりこの』の主成分は、葡萄糖と果糖で、それにアミノ酸その他數種の營養素が配合されてゐます。私共が御飯を食べますと、それが消化されて葡萄糖と稱する成分に變化して初めて榮養になるのであります。（その消化されない部分は粕になつて排泄されます）それですから御飯が葡萄糖になるまでには、胃でも腸でもなか〳〵容易ならぬ勞働をするのであります。それ故胃や腸の弱つた時は、胃腸が痛んだり惱んだりして、而も榮養にはなり得ないのであります。然るに『どりこの』は葡萄糖そのものでありますから胃腸には御苦勞をかけずに全部が全部、それも急速に滋養となり、體力精力を增進させるので高速度滋養料と云はれるのであります。果糖も葡萄糖と殆んど同じ成分です。又、アミノ酸は、胃腸の消化液の分泌を促進する作用を有つてゐるばかりでなく、それ自身が消化力を有つて居りますので、消化の神様とさへ言はれて居ります。

『どりこの』に配合されてゐる其の他數種の營養素は、内臟諸器官の活動を旺盛にし、氣分を爽快にする働きをもつて居ります。

健康者には 鬼に金棒！

能率增進！元氣横溢！

健康の人、活動をする人はどうしても餘計に滋養分を要求しますが、要求に任せて過飲過食を致しますと、胃腸を害ひます。『どりこの』は胃腸を勞せずにスグに血となり精力となりますから、さうした方には誠に此の上ない理想的な飲物であります。疲れた時の一杯、忽ち元氣を恢復、仕事の前の一杯、能率いよ〳〵增進、いつも愉快に思ふ儘に働くことが出來ます。家中揃つて朝晩お用ひになるやうおすゝめいたします。

病人には 天來の福音

次の樣な方は是非 御愛飲下さい

『どりこの』は、藥品ではなく滋養料でありますから、どういふ方が飲んでも卓越した効果があります。誰方にも御愛飲願ひたいのですが、特に次の樣な方は何を措いてもお用ひになる樣お奬め致します。

…◆胃腸病の人…結核症の人…胃腸の惡い人…貧血症の人…熱性病の人

…◆妊娠中の人…産後の手當に惱む人…ツハリに惱む人…冷え性の人…乳不足の人

…◆乳離れの小兒…消化不良の小兒…腺病質の兒童…榮養不良の兒童

…◆平常丈夫でない人…風邪をひき易い人…老衰者…顔色の惡い人…疲れ易く疲れの恢復し難い人…眠れない人…食慾不進の人…神經衰弱の人…事務に疲れた人…頭を過度に使ふ人…登山、遊戲で疲れた時…試驗勉強、發明等、根を從ふ人

…◆當代各方面の名士、大家、醫界の諸權威の御推奬、全國『どりこの』愛飲家諸賢の御報告により確信を以て右の方々にお奬め致します是非御試飲下さい

發賣元　東京本郷　大日本雄辯會講談社代理部

總代理店　大阪　玉置合名會社

全國藥店・食料品店にあります

萬一に備へて鄉軍武裝して起つ
發電所變電所ガスタンクを徹宵警戒

滿洲事變一周年に當り滿洲各都市擾亂の流言あり、既に撫順の如きは襲擊に遇ひ流血の慘事を見たので大連在鄉軍人聯合分會でも十七日の夜より一部武裝して發電所、變電所、瓦斯タンク等の徹宵警戒を行ふ事となつた

血魂除奸團の爆彈投入計畫
恐怖に戰く上海

【上海十七日發】去る十四日除奸團のため爆竹を投込まれた邦商鹽崎商店は本日またも脅迫狀を受取り當局に訴へ出たが除奸團は明日の記念日を期し日本の各官廳及大商店に爆彈を投ずる計畫ありとの報に我當局は嚴重警戒の準備を進めてゐる

抗日決議
北平記念準備會

【北平十七日發】九、一八記念準備會は本日左の如き決議を行つた

一、記念日當日市民大會內に民衆法廷を設け日貨取扱ひその他の賣國奴的奸商を裁判す

二、徹底的に日貨檢查を斷行し且つ十五日以來拘留になつてゐる學生四十二名の卽時釋放を嚴重交涉す

北平市民大會
抗日氣勢濃厚

【北平十七日發】明日の九、一八記念に對する北平反日民衆學生諸團體の準備萬端は全く整へ物凄く意氣込んでゐるが明日は全市半旗を揭げ歌舞音曲を停止し午前十時より天安門に市民大會を開き宣言通電を可決講演會反日劇を催し引續き市內遊行、傳單撒布抗日氣勢を擧げる事になつてゐる、學良は萬一を慮り今夜より全市非常警戒に入らしめた

ハルビンを非常警戒

【ハルビン特電十七日發】九月十八日記念日を期して共產黨滿洲小委員會が中心となり市內外呼應してハルビンを擾亂化する計畫あるを探知した當地軍警當局は十六日以來警備打合せをなし十七日夜から十八日にかけて非常警戒をなすこととなり日滿軍警は市中及び郊外を江防艦隊はハルビン附近松花江を戰時武裝にて防備すると

中央公園滿俱球場でけふ滿洲事變記念式
兩神社忠靈塔に奉告使參向
慰靈祭を行ひ旗行列

柳條溝の一夜、蹶然あがつた正義の烽火は遂に滿洲事變の發端となり延いては滿洲國の獨立となつて東亞人類の平和を招來した、その一周年を迎へ大連三十萬市民の擧げて祝ほぐ記念式は十八日當日午前八時半から中央公園滿俱グランドに於て擧行この日參加人員約五萬の豫定、三發の煙火を合圖に開式し岡野總務委員長開會の辭を述べ國歌を合唱、小川會長式辭を朗讀し次いでこの擧式を大連神社、北沙河口神社、忠靈塔に奉告すべくそれぞれ奉告使參向し、一方內閣總理大臣、陸海軍、外務各大臣、關東軍司令官、關東長官、滿鐵總裁あて感謝電を發送、引き續き滿洲事變以來滿洲、上海、天津に於ける一ケ年間の軍人軍屬、警察官滿鐵社員その他一切の犧牲者に對する慰靈祭を執行し、竹內大連民政署長の發聲で萬歲を三唱の後、旗行列に移る、この行列には各小學校、女學校、實業學校、在鄉軍人を始め各團體約三萬名參加、樂隊および騎馬隊を先頭とし忠靈塔前を通り虎溪橋を渡り壹岐町、若狹町、三河町を經て西廣場に出で伊勢町、濱町、淡路町、山縣通紀伊町を過ぎ滿鐵本社前を大廣場に出で神明町を通り大連神社に至る行程五千米を蜿々長蛇の列をなして行進し萬歲を三唱し解散する更に午後零時半よりは神明高等女學校雨天體操場に於て記念宴を開き夜は協和會館に於て本社主催の記念講演並に映畫が上映され、事件發生の午後十時には三十秒間船舶、各工場は汽笛、寺院教會は梵鐘を鳴らし車馬、行人は運行を停止し默禱する、なほ中等學校以上の學生は午前三時より聯合記念訓練を行ひ婦人團體聯盟および教化團體聯盟は傷病兵慰問金の街頭募集を行ふ豫定である、また記念式擧行の時刻には會場を中心として記念飛行も行ひビラを撒布し氣勢を添へ九月十八日を有意義に記念することゝなつた

第十四師團歸還

【東京十七日發】＝十七日午後五時陸軍省公表＝第十四師團一部本月十八日より二十五日に亘り逐次宇品に歸還す

さらば、滿洲！
宇都宮部隊凱旋
埠頭を埋む歡呼の聲

馬占山討伐に、兵匪の掃討に北滿各地を轉戰天晴れ帝國軍人の本領を發揮した宇都宮○團第二次凱旋部隊は關東倉庫並に市中に分宿したが愈々十七日午後三時甲埠頭九番バースより御用船あいだ丸で晴の凱旋の途に就いた、出帆前一時間既に部隊は甲埠頭廣場に整列輸送指揮官湯田隆志少佐の號令下三●の渡橋によつて整然と乘船する一方この勇士等を見送らんとする市民の群は埠頭に殺到しいつの間にかさしもに廣い岸壁が小旗でギツチリ埋められる「御身體を大切に」「滿洲又來るよ」何時の間にか名前まで呼びあつて和氣が漲つてゐる、在鄉軍人團、各學校代表滿鐵よりも十河、山西兩理事等訪れて定刻、岡野市長代理は起つて、皇軍の武威に對し感謝感激の旨を述べ併せて滿洲國承認にいたる迄の苦鬪に對し敬意を表し最後に一層邦家の爲め盡さん事を……と結び送辭とする、これに對し湯田少佐は凱旋兵一同に代つて離滿の挨拶をなす、終るや送る者送られるもの、渾然とした萬歲歡呼の怒濤がわき上る、かくて御用船あいだ丸は悠々と故國へ華々しい勇士等を送つて行つた、出帆に際し在港中の船舶は萬歲の波に合せて歡送の汽笛をいつまでも吹きつゞけた【電話】

晝食中の匪賊を不意に襲ひ擊滅
興隆店附近の部落で

奉天西方六里奉山線興隆店驛の北方小部落に約一千名の匪賊を率ゐる占東洋が奉天を襲擊する計畫さの報に三宅中佐は正木一雄少佐の案內で十六日午前二時荒井討伐隊は暗夜に乘じ攻擊東北抗日義勇軍第四旅線林、林好その他の部下約五百が晝食中不意を襲ひ突戰約三十分敵陣に大打擊を與へ敵は六十五の死體と多數の武器を遺棄し潰走した、死體中騎長吳海峰がゐた鹵獲品中抗日騎兵第四十七旅旗一本と東北民衆救國獨立第二騎旅その他爭鉢彈藥多數、この戰鬪で秋田縣山東郡八森村上等兵猪內利雄は輕機關銃手として奮戰三度敵彈の雨と降る內に突進し機關銃を据ゑんとせる時側面から敵彈を受け胸部貫通銃創を受けたが屈する色なくこれ位のことでは死なぬと銃把を握り射擊し敵匪に多大の損害を與へニツコリ笑つて名譽の戰死をした荒井隊長以下戰友は彼の靈を祭りその勇猛心に驚いた【奉天】

オリムピックの夕

期日 九月十九日午後七時

場所 協和會館

開會の辭 本社營業局長 佐賀秀雄氏

歡迎の辭 大連市長 小川順之助氏

講演 日本代表水泳選手 鶴田義行氏

映畫 大連パテー俱樂部提供 第十回オリンピック大會特報 十三卷

……入場無料……

主催 滿洲日報社

紅槍

……及び本社主催「謝恩と[illegible]の夕」は今夜七時より協和會館に開かるゝが同時に同館內には殉職社員の遺品、匪賊の使用した長銃、拳銃、靑龍刀、紅槍等六十餘點の戰利品を陳列公開することゝなつて居る【寫眞は陳列準備中の會場】

全滿各地の催し

全滿各地に於て滿洲事變記念のため計畫せる記念催し物は左の通りである

旅順 國旗揭揚、白玉山納骨祠前の慰靈祭、旗行列、講演、映畫會、汽笛梵鐘吹鳴、默禱、感謝電の發送

大石橋 新聞ポスター宣傳、表忠碑參拜及報告祭、慰靈祭、旗行列、摸擬演習、記念宴、講話、默禱、傷病兵慰問、感謝

營口 國旗揭揚、神社祭典、忠魂慰靈、記念宴、默禱

瓦房店 日滿國旗揭揚式、慰靈祭、旗行列、記念宴、映畫會、陸軍當局等へ感謝狀、記念宴、サイレン、消燈默禱、講演會

鞍山 忠魂碑除幕式、記念式、旗行列、記念奉告祭、慰靈祭、旗行列、講演、謝電發送、汽笛吹鳴と默禱、撮影記錄

遼陽 記念奉告祭、慰靈祭、旗行列、講演、謝電發送、汽笛吹鳴と默禱、撮影記錄

奉天 報賽祭、慰靈祭、旗行列、記念宴、デモンストレーション、傷病兵慰問、劇場、映畫館の開放、提灯行列、記念放送、祝賀會、煙花打揚、記念講演班組織

四平街 軍事講話、報告祭、

熊岳城 國旗揭揚式、報告祭及慰靈祭、旗行列、酒宴

開原 奉告祭、慰靈祭、旗行列講演會、感謝狀發送及代表者派遣、軍人家族慰問、記念祝宴、夕、傷病兵慰問、感謝狀發送

鐵嶺 報告祭、慰靈祭、旗行列、記念祝宴、默禱、講演と映畫の夕、傷病兵慰問、感謝狀發送

撫順 報告祭、守備隊感謝慰安、表忠碑記念祭、慰靈祭、祝賀宴、煙火、相撲

安東 表忠碑報告祭及慰靈祭、旗行列、記念宴、軍警に感謝の挨拶、傷病者慰問、戰死殉職者遺族慰問、記念講演會、劇場無料開放、汽笛吹鳴、默禱

公主嶺 慰靈祭、旗行列、現役兵慰安映畫會及無料開放、祝賀會、國旗揭揚、謝電發送、汽笛吹鳴、默禱

新京 國旗揭揚、感謝狀發送、神社奉告祭、旗行列、記念映畫會講演會、警備演習、傷病者慰問、慰靈祭、記念宴

吉林 慰靈祭、旗行列、記念會戰跡訪問マラソン競走、提灯行列、默禱、映畫、國旗揭揚、傷病軍人慰安會、電飾、各戶に提灯

ハルビン 國旗揭揚、謝狀發送、慰靈祭、默禱、講演會、記念宴、旗行列 慰靈祭、傷病兵慰問、軍事講演會

力強い國民の後援に寡よく衆を制す
本庄將軍の追憶談

前關東軍司令官本庄繁中將は九月十八日の滿洲の事變一周年記念日を迎ふるに當り左の如く無量なる感懷の一端を述べた

滿 洲事變が起つたのは決して偶然の事ではなかつた、卽ち過去數年の間日本は日露戰爭に結果づけられる當然の權利として滿洲に平和的正義の進出を志した、之に對し滿洲主權者は日露の役を遠ざかるに伴れ日一日と不法なる排日態度を採るやうになり、最近の東北軍憲に至り愈々その傾向は甚だしくなつた、彼等は中央政府と歎を通じ英米とへ引つ張り出せば日本はどうでも成ると言つたやうな革命的外交なる無謀なる排日は昂じて侮日となり日本帝國の如何なる友誼的勸告をも耳にしなかつた

正 義の進出と不法なる排日拒否、當然過ぎる程當然なる兩者の衝突がなければならぬ充分な機勢であつた、之に彼の萬寶山事件が勃發し中村震太郞少佐虐殺事件が續發し兩者の感情は鋼が上に尖銳化されたのである、この事件の時態に滿洲は一事件起らねばならなかつた、然し永い間隱忍自重して來た日本帝國は折衝折腹の裡に忍ぶべからざるを忍んだのである「おのれ今一度やつて見ろ、今度こそは一泡吹かせてやらう」とは內地人もただが在滿同胞は三歲の小兒迄悲憤の血を湧かして考へてゐたところである、斯うした

危 機に直面してゐる去年の八月、私は關東軍司令官として同地に赴任した、越えて翌月の十八日突如として彼の柳條溝事件が起きたのである、排日も我慢しやう侮日も亦忍ぶべし、然し在滿同胞の誇りである陛下の軍隊が侮りを受ける時に、もう凡ゆる自重は吹つ飛んだ、況して萬寶山事件以來憤怒に燃えて居る在滿同胞であり、軍隊である軍本然の防衛手段として直に對抗した、僞戰端は開いたもの、私は國民の向背如何を非常に氣に病んだ、處が幸ひにも私の憂ひは杞憂に過ぎず

國 民の輿論は蹶然として東北軍憲を膺懲すべしと一致した私は武人としての生涯を通じ此時程嬉しかつた事はなかつた、國民のお聲掛りなら、もう大丈夫である、それからの軍の力といふものは寡兵ではあつたが云ひ知れぬ偉大なる力がグングンと我等の行く手を切り開いて與れた、そうして今日の大勝を得たのである、私は戰爭の最中幾度か熱誠なる內地同胞の後援に淚を流して感謝した、誠に今日あるは、陛下の御稜威の然ら

決 しむる處であるは言はずもがな八千萬同胞の一致協力一丸となつた心の塊があつたればこそである、斯うした間にあつて三千萬滿洲の住民はどうであつたか、それ以前より永い間軍閥の苛斂誅求にさいなまれ來つた彼等である、軍憲を討ち兵匪を掃ふ日本軍を全く神の降臨の如く敬慕した、そして當初は軍で治安の維持だけをやつて居たが段々滿洲首腦相集つて治安維持から自治制に移り遂に今日ある滿洲新國家まで漕ぎつけた今や滿洲國は三千萬民衆が幾十年の永い間一致相求め來つた待望の理想國家である、必ずやのびやかに成長し發達し日本と共に

東 洋平和の大事業を完成するであらう、然し之からが最も重大且つ至難である、私は今事變一周年記念日を迎ふるに當り今日上下相一致する國民の對滿觀念を益々鞏固にし日淸、日露の兩役をして有終の美あらしめよ、八千萬同胞に切に御願ひしてやまない次第である斯くてこそ今日南北滿洲の野に相果てた幾多忠勇なる將兵の英靈も亦永遠に瞑し得るであらう

白銀山爆擊
けふ第二日目

旅順白銀山爆擊演習第二日は十八日午前七時より豫定の如く決行されるなほ本演習中最も見物の爆擊の行はれるのは二十日であると

展望車

大衆雜誌富士十月號が飛拔けて面白い名篇傑作をよくもこんなに集めたものと到る處大評判で、早く買はねと買ひつからぬとは時節がら驚いたもの。

事變記念講演會
羽衣高女主催

大連羽衣高等女學校では滿洲事變一周年記念日を迎ふるに先立ち十七日午前九時から市社會館講堂を借受け關東軍步兵中尉中尾金彌氏を招いて記念講演會を開き一般聽講希望者にも公開したが中尾中尉は出沒常なき奧地の匪賊討伐の困難、酷寒と戰ひしその辛酸の狀態、睡眠物資、食糧、飲料水等の不足に苦しめられつゝ、五日目每に移動する野營陣地構成の苦勞、沼澤地に於ける行軍の難澁等皇軍の陣中生活を詳細にわたつて述べ、なほ馬占山討伐の狀況、飛行機無線電信等の活躍、慰問品を受けたる時の陣中のよろこび等を數百の聽衆の感激裡に二時間餘にわたる講演を終つた

大連刀劍會

十八日午後一時より遼東ホテル樓上に於て第二十二回刀劍研究會を開催する筈であつたが當日は事變一周年記念に相當するので二十五日に延期した

滿鐵々道部で募集した急行列車名は一萬餘といふ多數の應募があつたので先づ部內で二十一票をふるひにかけ更にヤマトホテルに村上鐵道部長をはじめ官民、新聞代表者等の選定委員が參集し討議の結果「鳩」「隼」が選ばれた

……◇……

この選定に當つて比較的「大陸」「アカシヤ」等が多く又選定委員中にも賛成者が多かつたが急行列車に相應しい名としては靜的なものより動物的な名をといふ意見で結局「大陸」「アカシヤ」は選外に洩れてしまつた、又「鷗」も人氣はよかつたがどうも漢音がフオンで(稀)に似て居り衝突を意味するので面白くないと一蹴された。

……◇……

席上村上部長「內地の特急がつばめと決定した時そのスピードを表徵する圖案化に當つて、春雨を取り入れたところ、その春雨があまりに斜に書きすぎたため、これをつばめに附物の電線に誤られたといふナンセンスがあります」と披露し大笑ひであつた。

……◇……

そこでその「鳩」だが、鳩は今回の滿洲事變に軍用鳩の殊勳功績は世の喧傳するところであり威あつて優美、スピードあり平和の象徵として三歲の兒童の口にも上り、二音であるから呼び易く電信中に用ひても都合がよいといふのである、滿洲人は鳩又は鴿と書く

……◇……

二等當選のはやぶさ「隼」は呼ぶに優美で男性的ではあるが名稱がや、萬人向きでない憾みがあると鳩の下位に落ちたが、これは鷲の種に屬し蒼黑の容姿に胸腹白色で腹背斑紋を有しよく燕、雁、梟、鷺等に比べ性猛にして飛ぶこと速く閃箭の如くである、全滿洲の山野に棲み車窓よりも望むことが出來る、滿洲國人はこれを飼育して小禽類を捕へさせる。

入江丸審判

傅家庄で淺瀨に乘揚げた第三入江丸（船長土地兵太郞氏）に對し十九日午前九時より埠頭ビル海事審判室にて審判を開く

神明追悼式

大連神明高等女學校では物故したる卒業生、生徒並に職員の追悼式を來る二十日午後一時より同校內において擧行するにつき遺族、舊職員、同窓會員等多數の參拜を希望すると

本社見學

金州農業學堂菊地悅郞氏引率學生三十三名は十七日本社工場その他を見學

うらる丸

十八日午前七時大連港外着の豫定

日曜の催しもの

▲全滿硬式庭球選手權大會大連豫選會 午前九時より中央公園滿鐵テニスコートで

▲事變一周年記念商店訪問マラソン 午後一時大連新聞社前出發決勝點は大日滿博覽會前

▲大連俱樂部對旅順工大ラグビー戰 午後三時半より大連運動場で

▲メソヂスト大連教會 午前十時より說教「追憶より振興へ」齋藤牧師午後七時半「平凡なる忠信」同上

曙の鐘 (410)

倉田潮　河野想多畫

秘密の庫 (五)

平津はあけみの持つて來た二つの瓶を凝視した。一つは紅く他は白く、紅い方はアルコールの臭がして、他は無臭であつた。が、中に這入つてゐるものが何であるか平津には解らなかつた。

「紅い方は父の血ですのよ」さあけみは説明した「白い方はインデアン、ヘンプさ云ふ覺睡性の毒藥ですわ。その二つでお夏が父の死に眞の原因を與へたものでないこさが解るのですわ」

「お夏は動脈を切つたさあなたは云ひましたね」

さ平津は驚きを押し隱して問ひ返した。

「さうです。お夏は父を殺さうさして、その動脈を切つたのです。でも、その時既に父は何者にか殺されて死んでゐたから、お夏は死體の動脈を切つたさ同樣、眞の殺人犯にはなりません。勿論殺意さ其の着手さは罰せられるでせう、が、完全な殺人犯にはならないさ思ひますわ」

「では、誰が……誰があなたのお父さんを殺したのです」

「そのインデアン、ヘンプさ云ふ藥をお夏が動脈を切るより前に父の體に注射した人ですわ。粗骨にもその時犯行に用ひた藥を現場に忘れて行きました。餘程氣がせいた爲めでせう。それを私が、それその白い方の瓶ですが、私がひろつて持つてゐるんですのよ」

「ふーん、その爲にあなたを……」

さ平津はうなつた。あけみは聞きさがめて

「何です」

「その爲にあなたはその犯人から狙はれたこさもあるだらうさ想像したのですよ」

さ平津はかつてよもぎさ共に、あけみさ壯三さ間違へられ、危ふく殺されさうになつた時のこさを忍び出した「さうだ、彼奴等だ」

「あなたにもその犯人の想像がつきましたか」さあけみは厳かに詰寄をついだ「あなたの聰明をもつてすれば恐らく想像がつくこさだらうさ思ひます。犯人は男女二人ですわ」

「證據があるのですか」

「勿論、證據はありますわ、その紅い液體の這入つた瓶は父の血液ですが、その中には確にインデアン、ヘンプが這入つてゐますのよ。それにあの夜既に一人の醫者は父の死因を毒殺ださ鑑定したくらゐですし、その後の死體解剖の結果もその事實を證明してゐます。たゞお夏が飛び出してしまつたのでその鑑定が今は誤診のやうに思はれてゐるのですわ」

「たゞそれだけでは誰がその毒藥をお父さんの體内に注射したか、想像はついても證明はつかないではありませんか」

「その證明を最もよくつけるこさの出來る人は、平津さん、あなたをおいて外にないのですのよ」

「何うしてです」

さあけみは膝をすゝめた。

「何うしてだなぞさ私にきくより平津さん、あなた自身がすでに本當の心の底では確にそれさ知つてゐる筈ださ思ひますわ。たゞあなたこし り女の方さ昔許嫁の間であつたので、それが無意識に心に働いて今迄その女を許して訴へなかつたのみか、この私に罪をかぶけようさなされてゐたのでせう。もしおりうさ芳川が」

さ初めてあけみは二人の名を云つた。

「もしおりうさ芳川が父を殺した犯人であり、現場に忘れた藥を私にひろはれた當人でないならば、何であなたさよもぎさんを私さ壯三さ間違へて永責めにして殺さうなど、云ふ飛んでもない計畫をするでせう。さ、平津さん、あなたこそ先づ第一に、より子さ芳川を訴へべき人間ではないですか。それをなさらぬ以上、あなたは眞の義人ではないのみか、昔の戀に心をひかれる甘い男です」

さあけみは片頰に眞劍な色を浮べ、片頰に嘲笑を浮べて平津につめよつた。

柳壇

高橋月南選

「匪賊」

賊軍の洗禮受けて列車着き　普蘭店　上地せつ子

學良も元を洗へば匪賊の子
匪賊の子坊にもピストル哭れさ泣き

襲撃を待つ間土嚢で一休み　奉天　笠原　青蛙

爆音に高粱畑は波を打ち
喰はんため匪賊になつて陽を恐れ
匪賊にも一分の情傘を貸し　大連　桐生　孔二

掠奪に匪賊勇敢な腕を見せ
きり跡支那街に處女はなし　大連　中園　最治

出世した巡査は匪賊の出たお蔭
人質を逃して匪賊の飯が減り
匪賊團隆にかくれて紅一點　大連　高橋　竹雪

爆彈に木ッ端微塵の匪賊隊
日章旗輝くさころ匪賊なし　奉天　高見不二夫

飛行機が飛べば匪賊も旗を振り
にが笑ひする頭目へほくそ笑　大連　廣岡　天來

雨の日を拗ねて匪賊の磨く銃

匪賊來てマッチで地下室一夜明け　大連　三光三子甥

自句

歸順した匪賊三度の飯を喰ひ
身代金匪賊仲間にちつさもめ
匪賊の子矢つ張り匪賊になるさ決め

「一周年」

高橋月南選

一周年迎へて學良また怒り　安東　岩間　茂義

恥しき丸髷も馴れ一周年　大連　三井ゆき子

爆發が新國家さなる一周年　ヒシカ　小口喜一郎

新國家一周年から一人立ち　大連　遠江　欄江

照り降りはあれさ王道一周年　鞍山　沼田　大耕

一周年亡き子を忍ぶ老ひの母　旅順　一秀島　柳蛙

愛の巣を數へて見れば一周年

歸りたい氣もする家出一年目　大連　渡邊　雨明

學良の當てが外れて一周年　撫順　上田　鬪朗

新國家涙新らたな一周年

いさゝかの寸志もそへて一周年　奉天　山元　不動

日記帳去年の今日の大理想

生活へ一周年の面やつれ　大連　厚田　孤舟

一周年濟ました母はよく眠り

滿日俳壇 募集規定

次回課題「長き夜」「虫」「栗」

▲句數無制限▲用紙半紙型のもの▲各題別紙▲楷書大字にて明瞭に書くこと▲締切九月二十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

逃げ狂ふ匪賊へ笑ふ月の冴え
討伐に向つて二機の氣は揃ひ
見逃しの出來ぬ匪賊へ裝甲車　大連　高木　滿山

蟷螂の斧を小癪に匪賊振り
匪賊横行高粱が伸び切つて　山海關　長谷川申治

匪賊等は命を的の荒稼ぎ　同　松尾　春山

噂原の淋しき村は皆匪賊　同　杉浦　田甫

張學良元をたゞせば匪賊の子
觀念の匪賊の首に日本刀
天命がつきて匪賊は手を合せ　同　卜倉　都一

○選者賞

第八回 滿日特選碁戰

互先 先番　四段 小杉 丁
四段 小島 春一

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一 ハの四　三 タの三　五 タの五　七 タの十七　九 レの十五　十一 タの十六　十三 ソの十五　十五 ニの五　十七 ハの八　十九 ヌの十七

二 ニの十六　四 ホの三　六 ヌの三　八 タの十四　十 タの十五　十二 レの十四　十四 レの九　十六 ハの十　十八 ニの十四　二十 チの十七

—【1】—

對局者の感想

黑曰く　黑一一では一二に打たうかさ思ひましたが其時白一一黑(レの十六)白(ヨの十七)さなつて對隅白二この具合がよくなりますのでわかり易く突留りました

白曰く　白一六は今一路(ハの九)迄進まうかさ思ひました

けふの放送

大連 JQAK　九月十八日

▲午前八時二十分　滿洲事變一周年記念會實況放送（滿倶グラウンドより中繼）

▲午前十一時四十分　滿洲事變一周年記念放送（奉天放送局より中繼）

▲記念放送開始の辭　關東軍司令部附陸軍步兵少佐堤雄平

▲講演「柳條溝の爆破に就て」獨立守備步兵第二大隊第三中隊河本末守

▲講演「柳條溝の爆破線路修理實話」滿鐵修理班班長三宅善平

▲講演「獨立守備隊步兵第二大隊第三中隊長として北大營攻擊談」獨立守備步兵第二大隊副官川島正

▲講演「南嶺の攻擊に就て」獨立守備步兵第一大隊第三中隊武田定治

▲講演「滿洲建國に就て」關東軍司令部附陸軍少將板垣征四郎

▲建國頌歌君が代（二唱）奉天市政公所音樂隊

▲ニュース

（大連放送局より）

▲午後三時三十分　ニュース

▲午後六時十分　ニュース

（以下内地中繼六時三十分）

本庄中將歡迎の夕（東京府市商工會議所共同主催）

▲挨拶　東京市長永田秀次郎

▲天皇陛下萬歲　東京府知事香坂昌康

▲帝國陸軍萬歲　商工會議所會頭男爵郷誠之助

▲挨拶　陸軍中將本庄繁

▲講演「戰蹟紹介」

（一）嫩江河畔大興附近の戰鬪に就て　陸軍步兵大佐濱本喜三郎

（二）南嶺激戰の回顧　陸軍步兵中佐小河原浦治

（三）馬占山討伐に於ける騎兵の行動　陸軍少將山内保次

▲吹奏樂（一）行進曲「聯隊」モルネノ作（二）軍歌「北大營」川上清作詞、戸山學校軍樂隊作曲（三）行進曲「英雄」スザンヌ作（四）軍歌「嗚呼我滿洲」巖谷小波作詞、戸山學校軍樂隊作曲（五）意想曲「攻擊」山本重三郎作（六）「東京市歌」高田耕甫作詞、山田耕作々曲、陸軍戸山學校軍樂隊、指揮樂長伊藤隆一

▲君が代（一同）指揮陸軍戸山學校軍樂隊

▲閉會の辭　東京市教育局長藤井利譽

（以下奉天放送局より）

▲講演「滿洲事變に就ての所感」關東軍司令官武藤信義

▲講演「滿洲事變一周年の所感」奉天市長閻傳紱

（以下大連放送局より）

▲ニュース

▲氣象通報

▲午後九時三十八分（奉天放送局より）

▲講演「獨立守備步兵第二大隊長として北大營の攻擊回顧談」哈爾濱憲兵隊長憲兵大佐島本正一

戰爭童話 三つの星

島田はるを作

九月十八日のま夜中から滿洲で支那の惡い兵隊と日本との大變な戰爭がはじまりました、そして日本の内地からもたくさんな兵隊さんが惡い支那兵と戰爭するために、どん／＼滿洲にお船でわたつてきました、みんな重たいてつかぶとをかぶつて、さむくないやうに毛のついたがいとうを着て、支那兵なんか一うちにうち破ると大變な元氣です、吉平さんもてつかぶとと毛のがいとうをきて、なつかしいお母樣のゐるいなかの聯隊から滿洲にわたつてきた兵隊さんでした、いなかを出るとき吉平さんは一等兵でした、ですから吉平さんの肩には黄色い星が二つついてゐました、お母さまにお別れにいつたとき

「お母さま、きつと滿洲で惡い支那兵の首をたくさんとつて、今度歸つてくるときには、星が三つの上等兵となつて歸つてきますよ」

とあいさつをしました

「ほんとうに立派なはたらきをしておくれ、吉平さん、おまへのお父樣は日露戰爭のとき旅順で大へん立派なてがらをたて、立派な戰死をなさつたのですよ、お父樣はお星さまが三つ肩についてゐましたよ吉平さん、お前もお父さまにまけないやうな、立派なてがらをたてておくれ……」

とお母さまは吉平さんをはげましながら、停車場まで吉平さんを送つて下さいました。

吉平さんはほかの兵隊さんと一しよに大連の港についたとき、隊長さんに

「旅順はどちらです」

とたづねました、そうして、おしへられた旅順の方にむいて

「お父さま、私はお父樣にまけないやうな立派なてがらをたてます、そして上等兵になつて、星を三つ肩につけて、お母さまをよろこばせます」

といひました、吉平さん達はすぐ汽車で奉天よりも、長春よりも、もつと／＼遠いところへ行き度々支那兵と戰爭をしました、そこは零下三十度もして、身をきるやうな北風がいつも／＼吹いておりました、それでちよつとでも氣をゆるめるとすぐ凍傷になつて手や足や、鼻のさきがまつかになつてやけどをしたやうになつてしまひました、けれどももつと油斷のならないのは、吉平さん達日本の兵隊さんがゐるところの近くには大變強い支那の兵隊がかくれてゐることで、何時ふいうちをしてくるかわからないのです、それで吉平さんたちは、寒い／＼ま夜中でもかわる／＼ねむらずに番をしなければなりませんでした

或晩、吉平さんは仲間の十五人の兵隊さんと一しよに附近のみまわりに出ることになりました、その晩は又大變寒い晩で、とてもまつすぐに歩けないほど、強い北風が吹き、その上こな雪さへヒユウ／＼と顔にぶつかつて來ました、一時間ほど吉平さん達は歩きまわりました、すると少しはなれた小さな支那村のはづれにチロリ／＼とたき火のあかりが見えました

「あやしいぞッ、敵らしいぞ」

と隊長がいひました、そして

「みんな静かに、出來るだけそばによつて見ろ」

と命令しました、吉平さん達はこほつたやうになつてゐる地面をはうやうにして、そうつと村に近づいて見ると、やはり隊長がいつたやうにそれは恐ろしい顔をした支那兵が二百人程ゐました、そしてあまり寒いのでねむることが出來ず、たき火をしてゐたのです

「よーし、やつつけてしまへ、一人だけ本隊に連絡に歸れッ、こちらは十五人、敵は二百人、死ぬかくごでやれッ」

と又隊長が命令しました。

そして又静かに敵と近よりました

「機關銃先頭となれッ」

うんと近づいた時――

「うてッ」

命令一下、吉平さん達は一せいに機關銃と鐵砲をうちはじめました不意をうたれた敵はたちまちバタ／＼と斃れました

「アイヨー／＼、日本兵／＼」

と敵はさわぎ立てました、けれども日本兵が少いと思つた敵は、急にいきほひよく打ちはじめました何といつても敵は二百人です、吉平さんたちも一生けんめいに打ちましたが、なか／＼進むことが出來ません。

その時、吉平さんは考へました

「お父さまにまけないやうな、てがらをたてるのは今だ……」

そうして突然雨あられのやうに飛んで來る彈丸の中を、矢のやうに早くはしつて、敵のすぐ目のまへにつみあげてある、こうりやんの山にとび上りました

「進め、まけるなッ」

吉平さんは大きな聲でどなりました、そして鐵砲を高くさしあげました。

「吉平をころすなッ」

日本の兵隊さんたちは口々に叫びながら突撃しました、その時敵の彈丸は、かわいそうに吉平さんの胸をつらぬいてしまひました

「天皇陛下ばんざ――い」

吉平さんは高らかに萬歳を叫んでこうりやんの山の上でとう／＼勇敢な戰死をしましたが、日本兵は大勝利をしました。

吉平さんは陸軍歩兵上等兵に進みました、肩のお星が三つになつたのです、吉平さんのお骨がいなかのお母樣のところへ歸つたとき、お母樣は新らしい黄色い星が三つついた肩章をお骨の上にのせて

「吉平さん、お前はお父さまにまけないやうな立派なてがらをたてしてくれました」

といつて、大變立派なお祭りをしました。

コドモハ正直

はら・やすを画

連續漫畫 ボンヤリポン助チヤン

セイ坊

ケフ ノ ヅグワ

ケフ ハ リツパナ イス ノ エ デス ミナサン ノ オモフ ヤウ ニ クレイヨン デ テイネイ ニ ヌツテ クダサイ

第二十回 こどもの考へもの

この人は何をしてゐるのでせうか

皆さん寫眞をごらんなさい、この人はハンドルをにぎつてゐますが何をしてゐるのでせうか、わかつた方はハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄」係あて、來る二十五日までにお答へ下さい、當つた方二十名にいつもの樣に褒美を差上げます

第十回の答 七人でした

第十回の考へもの――夕すゞみをしてゐる人は七人でした、當つた方も大へん多かつたので籤をひきました結果、左の二十名にご褒美をあげることにしました、大連の方には當籤お知らせのハガキをあげますからそれと引かへに滿日社でご褒美をお受けとりください、滿洲の方には直接お送りします

× ×

なほご褒美の中には入つてゐる森永のチヨコレートとミルクキヤラメルの空箱はお菓子やさんの店先にある支那事變の「戰傷兵士を勞りませう」と書いた箱の中に是非入れてください

當籤者

▲大連市外周水子小野田梅田スミエ▲旅順市佐倉町岡本文雄▲大石橋石橋大街宮野政子▲撫順東岡宮内久惠▲本溪湖住吉町桃木野實▲撫順騎龍頭西山はな子▲蓋平街南山吉岡裕輔▲蘇家屯小學校内萬波覺▲奉天西塔大同號白雲秀▲大連市北大山通り積初子▲大連市眞金町杉原靜▲大連市乃木町橋健治▲大連市伏見臺藤森正▲大連市朝日町辻千代子▲大連市乃木町讃織厚▲大連市若狹町國枝久子▲大連市天神町大河内健▲大連市東公園町關山春樹▲大連市兒玉町嵯峨實▲大連市日出町吉留忠男

子供の喧嘩に兵隊さん 世界で始めて

運河で有名なスエズのそばのポートサイドの町で最近大へんな爭ひがおこり、町の中でピストルをうちあつたり、刀できりあつたりして大變人が死んだりケガをしたりしました、そしてやつと兵隊がでてきてをさまりましたがこの市街戰のもとは小さな子供二人のけんかなのです、はじめ子供が二人道ばたでけんかをはじめました、そして一人がまけかけたので、その子のお父さんが出てきてあいての子供を泣かせました、そうするとまた泣いた子供のお父さんがでてきてお父さんどうしのけんかになりました、そのうちに兩方のお母さんがけんかにくわはり又兩方の町の人が兩方にかせいに出てきて大變なけんかになりました、そのうちにその附近を通行してゐた人々も兩方に分れて助太刀をはじめとう／＼ピストルがなつたり、刀がふりまはされ出しました、このことを聞いた町のおまわりさん達はさつそくかけつけましたが仲々をさまるどころかだん／＼ひどくなります、そうしてとう／＼兵隊さんまで出ることになり、やつとをさまつたのです「子供のけんかに親が出る」とはよくいひますが「子供のけんかに兵隊さんが出た」のは世界中でこれがはじめてださうです

ロシアに快速汽車 一時間に百七十マイル走る

ロシアでは最近大へん科學が進んで來ましたが、先ごろ「陸上ツエッペリン」といふ早い汽車がつくられました、この「陸上ツエッペリン」はモスクワとレニングラード間を一時間に百七十五マイルの早さで走る汽車です、考案したのはロシアの技師でグロコフスキーといふ人で、汽車とこの汽車のための特別のレールをつくる費用を全部あはせて二百萬ドルもかゝりました、この汽車は一そう早くはしるために前と後にモーターがついてゐて、モスクワ、レニングラードの間をたつた二時間ではしつてしまうそうです

自轉車で世界一周 インド人が

この間印度人ロンドン健康協會、ニユーヨークオリムピアン協會々員といふ長いかたがきを持つたアリ ボイ、ラムワラ君といふ人が横濱に到着しました、ラムワラ君のお荷物といへば小さいリユックサックと自轉車が一臺きりでした、あまりお荷物が變なので、横濱港のお役人がしらべて見ますと、ラムワラ君は自轉車で世界一周をしてゐる人で、ちようど日本へたちよつたところでした、ラムワラ君の話によると、三年前の夏英領東アフリカのナイロビといふところを出發地として、今日までに二萬マイルを自轉車でのりきつてきたのださうです、これから日本を矢張り自轉車で縦斷して長崎へ出て、支那にわたる計畫ださうですが、これから又ナイロビに歸るまでには三四年かゝるそうです。

デブのため命拾ひ

イタリーの首府ローマに住んゐるビエーラといふ人は大變よくこえて、附近の人からデブ先生といはれてゐましたが、或る日、犬をつれて鳥うちに出かけました、ところが木の根にひつかゝつてたほれたひようしに鐵砲から彈丸が飛びだし、ズドンとお腹にあたりました、デブ先生はしばらく斃れたまゝ苦しんでゐましたが、ちやうど通りかゝつた人がデブ先生を見つけてさつそく病院にかつぎこみましたが餘程大へんなきずだと思ひのほか、デブ先生があまりこえてゐたため彈丸は中まで通らず皮から少しばかり入つた脂肪の中で止まつてゐたので、おなかの中のごうくは少しもいたんでゐませんでした、走つたり、かくれんぼうをする時にデブは非常にそんをしますが、こういふときは反對に大變とくをするものだとイタリーではみんなうわさをしてゐるそうです

出動命令下れば……
航空軍の活躍目覺し

そらッ戰爭だッ
勇みたつ空の勇士
大和魂にかゝつては敵はない
わが飛行隊のお話

★☆★☆★☆

さあ戰爭だ！飛行隊に出動命令がくだりました――と假想して敵なわが飛行隊はどんな活動をするでせう？今ちやうど旅順爆撃演習のため周水子飛行場にきてゐる濱松飛行聯隊について面白いお話をいたしませう

☆★☆★☆★

出動命令は「爆彈や機關銃彈を幾ら積んでどのコースを通つてどこを爆撃せよ」といふやうに戰鬪の狀況によつて司令部からくわしい命令があります、これは敵の攻撃や防禦區域などいろいろなことによつて命令されるのです、今か今かと腕によりをかけて待ちあぐんでゐた勇士たちはソレッとばかり出發準備を整へて直に目的地に向つて飛ぶのです、爆彈の種類は百、二百キログラムの大きなものから五十キロ、二十五キロ位のものなど大中小の三種類にわかれてゐますが、イタリーで最近試驗した八百キロの爆彈は直徑三十メートル、深さ八メートルの池のやうな大穴をあけたといふ物凄さです

大型爆彈は都市や堅固な要塞爆撃に、中型は鐵道線路や鐵橋破壞等に用ゐられます、小型のものは主として人や馬を殺したり傷けたりするのを目的とするもので二十五キロの小型爆彈一個落すとそこを中心に二十メートルの半徑で圓を描いただけの廣さに效力があつてうまく命中すれば數百の敵が只一彈で全滅してしまひます、機關銃は各國とも双聯式といつて同時に二つの筒から彈丸を發射するやうになつてゐて一分間七百づつ合計千四百發の彈丸が發射されるわけです、これは敵地を攻撃にゆく途中敵の飛行機に出會つたとき壯烈な空中戰をするのを建前としたもので滿洲事變當時よく

わが飛行機が敵の陣地を目がけて機關銃を撃ちましたがこれはほんたうの戰爭じやないから、さうして臆病な支那兵どもを驚かしたに過ぎません、これからの戰爭はどちらも立派な飛行機を持つての戰爭ですから敵地に近づくのはなかなか容易ではありません、たとひ運よく近づいて爆撃の目的を達したとしても後から速力の早い飛行が追撃してきて花々しい空中戰爭になるのですだから忠君愛國のわが飛行隊の人々は命令をうけて出發するとともに命を投げ出して戰ふのです

日本も世界に劣らぬ立派な國産飛行が出來るやうになりましたが、ほんたうに我空軍の強味は一つにこの大和魂にあるといはればなりません、思ふ存分攻撃の目的を遂げると今度はウマクいつたかどうかその效果をみとゞけたうへ寫眞に撮影して歸つてくるのですが、この寫眞が敵陣の偵察を兼ねて非常に重要な役目の一つとなつてゐます、日本陸軍の軍用飛行機はおよそ八百機あつて戰鬪機、偵察機、輕爆撃機、重爆撃機の四種類に大別することが出來ませう、戰鬪機は敵の飛行機の襲來に備へるもの、輕爆は主として敵の陣地攻撃に、又重爆は敵地の重要都市や堅固な要塞等の爆破にあたりますが、戰鬪機の91式は92式、偵察機の88式は世界のどの飛行機よりも優秀なものです

今周水子で演習中の重爆撃機三臺はいづれも87式で巾二十六メートル、長さ十八、高さ六メートル、總重五トンの大きなものです、これに五人の戰鬪員と一トンの爆彈と二千リットルのガソリンを載せて八時間以上飛ぶことが出來ます、發動機の上に四百五十馬力のエンジンが二個、時速百六十キロ（四十里）の速力を持つてゐますから、大連を中心にしますと北は奉天、長春は勿論京城或は北平、青島などの大都市はわけなく爆撃することが出來るわけです、爆彈の投下の命中率も非常によくなつて千メートルの高度からですと目標の周圍四十メートルの範圍には必ず的中する正確さです、爆彈投下には一定の限度があつて高ければ高い程むつかしいやうに低くなつても命中が非常に惡くなります、これなど素人考へでは想像の出來ない面白いことです

しやしんせつめい

(1) 出動命令が下りました
(2) さあ！エンジンの檢査です
(3) 飛行機にガソリンを積み込む準備
(4) 二十五キロの爆彈が機體の下に裝置されました
(5) いよいよ準備も出來て重爆撃機の勢揃ひ
(6) 出發だッ！、爆音勇ましくプロペラーが廻轉しだして、フワリ飛行機が空に浮く、死ぬ覺悟の飛行將校
(7) 空から見た大連の中央大廣場です（手前の建物は民政署とヤマトホテル）
(8) 爆彈を投げた跡、ドウです物凄いでせう

手工 命令をまもるお人形さん

けふは一つ、みなさんのお家にある、いらなくなつた木の糸卷の芯をつかつて、よく云ふことをきくお人形さんをつくりませう。

まづ糸卷芯のなかごろに甲圖のように（イ）（ロ）の穴を二つキリであけます、これに（ニ）（ホ）の點線の樣に太い糸を通します、乙圖は甲圖の糸卷の上と下に白い紙を張つて、これに人の顏をかいたのです、さあこれで出來上りました。

今度は使ひかたです、先づ糸の兩端（ニ）と（ホ）とを持つて眞ッすぐに支へます、そうして命令どほりに止まらせるのです、例へば他の一人が「まん中で止まれ」と命じたときは少し糸をゆるめますと人形がスルスルとまんなかのところに落ちて來ますから、その時糸を強く上下に引くとソコで止まります、コウしてどこででも止めることが出來ますからやつてごらんなさい。

武勳輝く聯隊旗（昨年十一月三間房にて）

當時の主要人物

【寫眞】上から本庄關東軍司令官、三宅同參謀長、金谷參謀總長、幣原外相、若槻首相、南陸相

想ひ起す九月十八日
けふで迎ふ滿洲事變一周年

かゞはしき菊の秋――日本帝國は正式に滿洲國を承認した

希望と榮光に輝く滿洲國三千萬の民衆は何れも感激そのもののうちに、今や力強い一歩々々を踏みしめて、建設へ、建設への一路を邁つて進んでゐる

想ひ起す滿一年前の九月十八日夜、東北舊政權の暴虐の手によつて爆破された奉天北郊柳條溝の爆音は、忽ち全滿の天地にとゞろきわたり、奉天始め長春、三間房、ハルビン、錦州等、到る處に舊軍閥暴戻の狼火は一時に擧げられ、我が忠勇なる將士もまた帝國生命線擁護のため、正義の神劍を執つて立つことを止むなくされた

或ひは朔風吹き荒ぶ北滿の曠原に、或ひは零下四十度の遼西地方に我が權益の確保、東洋平和の擁護のために、轉戰に轉戰を續けた皇軍の國難は今更言ふまでもないしかも、大君の御稜威をもつて我が將士はひるむところなく前進し遂に帝國の武威を中外に發揚し、更に滿蒙三千萬の民衆を舊政權、塗炭の苦みより救出したのであつた

滿蒙三千萬民衆は自ら舊政權より分立し、溥儀氏を迎へて執政となし、大同元年三月一日卽ち我が昭和七年三月一日を以て全民衆歡呼裡に滿洲國の建國を宣した、後半歳九月十五日我が帝國はこれを承認してこゝに善隣の誼みを完全に結ぶに至つた

事多く、想ひ出多かりし過去一年、今こゝに滿一ケ年の記念日を迎へるに當り、滿洲事變を回顧することは意義深いことであらう

念佛淨瑠璃の終り近く 耳を劈く爆音一發
奉天の回顧　太原要

事變當夜は日露戰の特別任務に服し偉勳のあつた故津久居少佐のお通夜であつたので、奉天ヤマトホテルにおける金丸取信事務の新任披露宴から早めに歸宅し、羽織袴に着換へ、松島町の津久居邸へ急いだ。それは津久居翁が滿鐵醫院三階一等室で卒如瞑目する直前まで憂國の前驅として又趣味の友として特別の眷顧を受けた關係上友人總代の一人として犬馬の勞をとつてゐたからだ。御通夜は流石長き邊より天牌を拜領した程の翁だけに林總領事、石田滿議會頭、木下在郷軍人會長等各方面の人々が雜集してゐた。日露戰志士の靈を祀れる妙心寺法主の讀經、參列者の燒香終り、亡き翁の回顧談が始まつた。そして翁が生前愛吟した清元節は時局に對する鬪々の情を想ずべき唯一の道だつたといふので石田氏等の發議で、翁を顧問としてゐた清元同好會の面々は、折柄中間の座に在りし喜代見太夫の紋で「田舍源氏」念佛の一曲を語る事となつた。淨瑠璃が進んで金六女將、美聲を張り上げ南無阿彌陀の一節まで來ると俄然一發耳を聾する爆音が戸外に起つた。

★

列座の人々は毎夜の演習に慣れてゐる事とて某豫備中佐が「アリヤ爆藥の試驗だよ」と私語するを其儘受け入れ敢て驚かず、よれや女將、茂木夫人等の切々たる哀調が續いた。すると取次の者が入つて來て佛の靈近く座してゐた林總領事に向ひ「只今、奥樣から御電話で、急用が出來ましたからスグ御歸館を願ひますとの事でございます」と告げる。總領事は「判りました」と答へたきり立たうともせず吾等の念佛淨瑠璃に聽入つてゐる（後から聞いた事だが、それが柴灘より總領事への第一次電話で五分間内に砲撃を中止せねば城内居留邦人の生命財産の安全を保障し難いとの順逆顛倒の抗議を持ち込んで來たのに當るらしい）續いて第二發が轟いた。この時、合唱絃り總領事は「ではお先へ」と坐を離れた。その瞬間第三發が響いた。これは硝子障子を搖はす物凄いものだつた。一同は木下軍會長の「コリヤ實彈だぞ」の一言にスワ一大事出來と佛も未亡人等に託した儘一齊に戸外に飛び出した。

★

私は職業意識の命ずる儘、まづ音のした方向へ洋車を馳らせた。すると二町足らぬ練兵場内の巨砲は火を吐いてゐる。只事ならじと西塔に車を飛ばせ、紡紗廠の高臺に上つて前方を見るに、北大營方面から此方へ向つて放つ銃砲火がありくと目に映つた。この時始めて「やつたナ」と直覺した。

正直のところ、私は問題はここまで來まいと思つてゐたのだつた。事前の日支の緊張振りから觀て、それは餘りに鈍感しやないかとのお叱りを蒙るかも知れぬが、それには大に譯があるのだ。

★

當時、張學良一派の侮日態度は日一日深刻となり、全滿的に擴大せる結果は、日支兩國民の神經を極度に尖鋭化せしめ、土肥原特務機關長や花谷少佐等も「君もうこうなつちや理窟では治まらぬ。兩國民衆感情の衝突は何時火花を散らすかも判らぬよ」と外交的手腕の發揮すべき餘地なきを慨する[illegible]を聽いた。又、支那軍警殊に王以哲麾下の青年將校連の身の程知らぬ自惚が附屬地攻撃想定の威嚇演習を續けつゝあつた事、わが輝軍は出勤め萬一に備ふべく非常訓練を行ひ、町内には井戸を掘り、各家庭には蠟燭の用意まで整へられた事、中村事件に對する支那側の侮慢的態度は青年將校、殊に同期の人々をして極度に憤慨せしめた事、而も支那側の暴狀愈々つのり事變勃發前夜の如き北大營の兵は十間房まで夜間演習に名を藉り威しに來た事等も承知してゐた。そして吾等の血も沸騰點に達し、押へ難き悲憤は政府當局の弱腰を嘆いたのであつた。

★

話は横道へ飛んだが、紡紗廠で日支兩國の衝突を知つた私は、次の瞬間に憲兵隊によつてその原因支那兵の吾柳條溝滿鐵線爆發に在るを知り、住吉町の支社へ着くなり電話機に飛びつき「大連本社至急報」を叫んだのであつた。本社の四〇七三番が出て來たのは恰度十二時。最初呼出した時から約三十分位經つたと思ふが、でも午前一時既にわが社の號外が旅大市中へ配付されたと聽いた時には嬉しかつた。爾後三晝夜、殆ど電話機の握りづめで何時どうして羽織袴を洋服に着換へたか判らぬ程の忙しさだつた。後から思ふと前日まで滿鐵病院の佐伯博士の許に日參し斷食同樣であつた身が、よくも續いたものと吾ながら驚いたのであつた。然し、それは事件の進展と共に、わが自衛權の發動により全滿に亘る張家舊政權を一掃しゆく嬉しさに身も心も「積年の希望茲に達せられたり矣」と事件の報道に熱注してゐたからで、別に不思議でもない。

★

英靈永久に眠る

（1）南嶺に建てられた滿洲事變殉國將[illegible]兵戰死の地（4）滿洲事變發端の地戰死者英靈供養[illegible]（以上北大營にて）

醉眼大隊長にくだる 南嶺攻擊の命令
大膽不敵!! 僅か二百名の仙臺勇士
長春にて　南里順生

一年を回顧して
關東軍參謀　臼田少佐

講談　甕割り秘譚

昇龍齋貞丈

三代將軍家光公のお手直しの一人、小野治郎右衛門は伊豆の國の生れで、前名を神子上典膳と申し幼少の頃より天晴なる腕前、長ずるに及んでその劍技は益々冴えて如何なる大敵でも唯一刀で、相手を打ち据ゑたと云ふから大したものです。そこで自分の劍法に一刀流と云ふ流名をつけ、自らがその流祖とならんなどと廣言を吐いて居りました。諸國武者修業の序に敦賀の城下端れ、富岡山中に老武藝者を訪れて、一戰いどんだが、赤子の如くひねられた。無念骨髓に徹したが、後年小野派一刀流を名乘つただけに人物の修業も出來てゐる。子弟の誓ひを固めてこの老人に山中で教へを乞ふ事三年。此の老人こそ誰あらう、伊勢の國の伊藤彌五郎友景一刀齋と云ふ劍聖でございました。この老師に就いて一刀流の極意を悉く傳授されました。

恰度其處へ、小野善鬼といふ兄弟子が諸國修業から歸山いたしました。一刀齋はこの善鬼に一刀流の皆傳を授け度いと思つてゐたのだが、典膳と云ふ新弟子が現れ、而もその優劣がつけ難いので、或日兩人を呼んで、兩人に立合はせその勝つた方に一刀流の皆傳をいたさうと申渡された。兩人木刀を以て庭に立出でたが、流石に名人同志、頭の先から足の先まで一點の隙もありません。これを打ちながめてゐた一刀齋先生は

「暫く待て、双方とも待て」

と二人を制して

「其方等の腕前は實に天晴なもの一刀齋よく見屆たぞ、就いては、最早太刀打にては勝負つきかねるに依り、他の方法にて試みるであらう、暫く待て」

と自分で立上り、一脚の机を庭の眞ん中に持出し、机の上に香爐を置いて香を炊き、一刀流皆傳秘法の一巻を紫の帛紗にのせ、その周圍を六尺の屏風で圍ひました。

「扨て兩人、俺は此の屏風の中にて机に向つて坐り、其方等の來るのを相待つゆゑ、汝等はそれより此の屏風の上を飛び越えて參れ、その飛び込やうの如何によつて、此の巻物を遣はすぞ、宜しいか、遠慮はいらぬ、充分に飛び込め」

「畏まりました」

「支度をいたせ」

と一刀齋先生は屏風の中に入り机の前に端然と坐して兩人の來るのを待つてゐる。此方は典膳、

「先づ兄上からお入り下され」

「心得たり」

と小野善鬼、バラ／＼と屏風の側に立寄るや、何の苦もなくヒラリと身を躍らして、飛鳥の如くに屏風を躍り越しました。續いて典膳、屏風の側まで驅來つたが、何思ひけん、屏風の外で身構へに及び、

「ヤッ！」と一喝して飛び込んだ途端一刀齋先生は屏風の中にて立上り「認めた！」と呼ばはり「兩人とも控へよ、申聞かす仔細あり……さて善鬼、其方は太刀打を以て典膳に優るとも劣らぬ腕前である。然し乍ら心の動き即ち心術に至つては典膳に劣つて居る。依つて氣の毒ながら此の一巻は典膳に遣はす、決して遺恨に思ふなよ」

と降くより善鬼は顔色を變へ

「これは先生のお言葉とも覺えませぬ、先生には新規入門の典膳を愛し給ひ、兄弟子の順序を顛倒し心術などに事を寄せ、かくいふ善鬼をうとんじ給ふとは情なき御仕打、不肖ながら善鬼は未だ典膳如きに劣るやうな者ではござらん左様な依估の御沙汰に從ふことは出來ませぬ」と血相變へて詰寄つた。

此の時一刀齋先生

「默れ、其方は存外な心得違ひな奴である、成程立合に於ては双方の腕前に上下はなけれども、心術に於ては其方確に典膳に劣つて居る、心術などと申せども、武藝の神髓は心術を以て第一とするものである、この理汝に分らずとあれば申聞かすであらう、謹んで承はれ……。先刻此方屏風の中にあつて、其方等の飛び來る様子を窺ふに、其方は何の用意もなしに飛び込んだれど、若しその時に此方に害心あれば、其方を只一刀に切つて落さんこといと易し。然るに典膳は氣合をかけて飛び込み來つた、斯くいたせば其方に害心ありても典膳を斬る事は容易であるまい、見よ其方は心術に於て確に典膳に劣つてゐるではないか、此方が丹精を加へて養成したる其方等、愛する念に何等變りはないぞ、依つて一刀流の秘傳は典膳に讓る、決して心得違ひをいたすなよ」

と眞心こめて諭しました、此の時善鬼は無言のまま立上るが早いか、兩人の隙を窺つて、机上の一卷を手に取るが早いか、バラ／＼と表へ驅出した。一刀齋先生は大に立腹なされて

「ヤア、己秘傳の盜賊、ソレ典膳彼奴を引捕へよ」「畏まりました……ヤア兄上、心得違ひをなさるな、お控へなされ」

と續いて後を追つかけた。一刀齋先生も已と追つて行かれるを、善鬼は阿修羅王の如き勢ひにて兩人の呼ばはる聲を耳にも入れず富岡山を驅下りて、城下へ出で本町大通りを一生懸命逃げて參つたがフト見ると横丁へ折れるところに一軒の紺屋があつて、戸外に幾つも大きな甕が並べてある。これぞ屈強の隠れ所と、その一つの甕の中へ逃げ込んでホット一息する間もなく、典膳も跡追つかけて横丁を曲つたが、サア見當らない。ウロ／＼としてゐる。息せき切つて掛けつけた一刀齋先生「善鬼はいづれへ參つた」と油斷なく四邊を見廻しますと、甕の外に袴の裾が少し出てゐるのがチラと目についた。

「典膳あれを見よ」「ハッ、如何いたしませう」「師の訓戒を用ひぬ憎い奴め、構はぬ斬つて了へ」「と申して兄上を……」「構はぬと申すに」

師の命に止み難く、ツカ／＼と甕の前に近づいたる典膳、術としては教はつて居りますが、實地に試すのは今が初めて、若し仕損じなば師に對して面目なし、どうか旨くやり度いものと、心中に弓矢八幡を念じながら、腰を捻つてギラリ抜き放つたるは、美濃國の住人城四郎仕國の鍛えたる二尺五寸の名刀、大上段に振冠つて「エイッ！」と云ふ掛聲諸共に斬り下した。流石は一刀齋先生直傳の甕割りの術、美事大甕諸共善鬼の腦天から鼻柱へかけて斬り下げた、善鬼は腰する一刀の柄に手をかけたまゝ、無念と叫んで甕の破れ目から立上つたが、急所の深傷にたまらずその儘ドッと後ろに倒れました。

秘傳の巻はと見れば、善鬼が口に啣へて居ります、典膳がそれを取らうといたしますが、一心が籠つて容易に放さない。一刀齋先生は此の體を見て、善鬼に近つき

「コレ善鬼、其方も心得のよくない奴である。斯かる無慘の最後を遂げたといふのも自ら招いた禍ひといふものぢや塵一點もない我心を見て秘傳の巻を渡せ、その代り他に身寄りのない其方なれば、弟分の典膳を以て汝の養子となし、小野の姓を名乘らすべし、さすれば一刀流の秘傳は其方と云はず典膳と云はず、總て小野家に傳はると云ふものなれば、秘傳の巻を我に返せ、イヤサ弟弟子の典膳に讓り渡はせ」と先生が親く手をかけますと、その精神が通じたものか、秘傳の巻は譯もなく口から離れた。

其處で典膳も師の命に從つて、其日より小野姓を名乘り小野典膳と改め、後年になつて典膳を治郎右衛門と更めました。

これは神子上典膳甕割の一席でございます。

（春八郎筆）

目

ダン・道子

「目は心の鏡なり」心靜かなれば、目元やさしく、心、暴らければ、目じり、つり上りて、一口にヒステリーとなん呼ぶなり。泣きては赤く腫上り、怒つては裂け、笑へば三角に、驚けば、まるく、見つめれば、いかつく、優さしく細く、つぶらな目、嬉しくても涙、悲しくても涙ホロ／＼とこぼるゝ、あな美はしき極はみなり。

長い睫がこつそりと
鏡の小箱を抱いてゐる
小箱の中には何がある
きれいな涙がたまつてる
ゝゝゝゝゝゝゝ

睫、々、世の中のご婦人は洋の東西を問はず睫では苦勞致します泉の様な澄切つたしろめ、さまつ黒い瞳を長い睫が艶さしく、しつくりと抱きかゝへてゐるのは、本當にふるひつきたい程、美しうございますもの

ほんのり焼けた、細いコテで、クルクルと巻いて、デルリオ型、シドニー型、さては年增のこころでデイトリッヒ型

生憎く、夏川型や栗島型は今のところまだ聞きませんが、もう直き發案されるでせうが、コテをあてるのは、少々こわくておすゝめできかねますが、香油を塗るか、マッサージをする位なら、まけてもわるくはありますまい。

何とやら言ふ方は、一重のまぶたを手術で二重にお直しになつたさか、その話を伺つてから恐ろしくて、お目にかゝつても、まともにお顔がみられません。

昔は、細い切れの長い目を、日本では喜びましたが、文明につれて、我々が世界的の生活をする様になりましてからは、目の好みが變つて來て、まるい、つぶらな目なら他は、少し位まづくとも、となりました。

「目を見れば誰れか能く隱し得ん」と、有りがたい孟子様は觀相説の一行におつしやいました。

又昔からの俚言に「目は口程に物を云ひ」と このごろは、口どころか「全身よりも物を云ひ」になつて來て

一目見た時好きになつたのよオ

「目と目でみ交はした時から、どうしても忘れられなくなりましたゝゝゝ」と出てゐます。

戀は盲目、戀に目が眩む、戀路の闇、など戀愛から關係してきてゐる言葉にちがひありません。

ながし目、まるでホーキ星のやうに目をスウーッとながしてしまふことが、艶つぽい言葉になつてゐます。

秋波といふのも、秋の波と書いて、どうして色目の意味に使ふのでせうか？

何だか胸にしつくり解せない樣ですけれど、辭義に「冴えに、冴えた秋の月が、澄渡る水の表面に影を投げた、その風情、正に美人」といふ一節があり、又他の書物に「思ふ方へ、チラと様目の以心傳身が、丁度水波の流するゝゝゝゝゝ」の一句もございますから、一寸若いのですが、こじつければ「あゝさうか」とうなづけます。

見た目は、一寸可愛らしい樣に感じますが、三白眼と云ふのは、餘り幸運な目ではないさうで、折角、まとまりかけたお嫁入りの口も、お見合ひをして、オジヤンになつたといふ話をよく聞きます。

三白眼といつたつて、白い所が三つあるわけでなく、まともに見つめた時に、瞳の下から白めがのぞくので、別に惡い事でもなささうなのに、變なものでございます

眼語る字の通り讀めば「ガンゴ」「ですけれど、意味は「めくばせして意を通す」とございます。めくばせも一寸いゝもので、時々應用すると便利なもので、ハイカラ、モダン語では「ウヰンク」になります。

左の目をチヨッとつぶつて、ぱつと開けて、そしてその意味を相手にさとらせるのですが「陽氣な中尉さん」の中では、お姫樣が、「そして、その日をぱちつと、つぶつてあけると、どう云ふ意味になるの？」と、御質問遊ばすと、シュバリエの中尉が、御說明申し上げるに、曰く

「その意味は、好きで、好きでたまらなくつて、なほそれ以上になりたい時に「パチッ」と致します」

と、申上げたばつかりに、お姫樣は、ダンゼン、シュバリエのニッキー中尉に「パチッ」と遊ばしちやつた事になつて、大騒動が始まつたのです。

さあ、かうなると、電車の中などで、ゴミが入つたから「パチパチ」とやつて、向ふ側の人に「何て失禮な」とやられても、仕方がありません。

目に關した熟語は、また澤山あります。（カットはダン道子女史）

坊ちやまは夜中のあの大きな地震を知らないで随分寝坊さんネ
なぜバアや起してくれなかつたの あたいが地震だと怖くて眠てゐられないの知つてるくせに
セイ坊

今週の献立

KIYOSHI

	朝	晝	夕
日	トースト（バタ、ジャム） 紅茶、リンゴ	トマト卵焼 里芋の鳥そぼろかけ	味噌汁（豚、大切大根） 煮付（ほうぼう） 若芽の酢の物
月	味噌汁（茄子） 焼海苔 胡瓜糠みそ漬	煮付（大根里芋がんもどき）	清汁（椎茸麩） ビフテキ（付合玉葱人參）
火	味噌汁（枝豆） ほ紫蘇佃煮 澤庵	とろゝ昆布汁 焼茄子 削鰹節	かます鹽焼 うの花煮（鰶、人參、油揚、葱、麻の實、鳥骨、きらず）
水	味噌汁（葱油揚） 牛熱卵 茄子みそ漬	煮付（ひじき油揚） 胡瓜の酢の物	ライス カレー（牛肉、ジャガ芋、玉葱、ハム、鳥骨、人參、グリンピース）
木	味噌汁（里芋） らつきよう うりの粕漬	鹽鮭 いんげん豆浸し	福神漬、トマト キャビタンづけ（鯡、人參、葱） 茄子胡麻みそ丸煮
金	味噌汁（豆腐） 鹽昆布 キャベツ糟みそ漬	煮附（南瓜） 鰈の卵とぢ	清汁（さより團子さらし葱） コロッケー（牛挽肉じやが芋） 野菜サラダ（ハム、ジヤガ芋、人參、玉葱）
土	味噌汁（南瓜） 牛熱卵 茄子と胡瓜一夜漬	鰯味淋干 大根卸し うり粕漬	鯛照焼（附合せ枝豆鯛茄） 赤ずゐき胡麻酢和

調理法（大連神明高女五年）

ほ紫蘇佃煮

餘り實の入り過ぎない紫蘇のほをこき取り一度湯煮として水を捨て更に新しい水を入れ暫く煮柔かになり水も大分つまり加減の時に醬油を適宜味の素飴を入れて味をとゝのへ煮詰める

茄子と胡瓜一夜漬

茄子は胡瓜を薄切にして茄子は鹽揉みになし胡瓜其まゝ茄子と一緒にして混ぜ一夜輕い押をして置く翌朝水洗ひして醬油味の素を入れて混ぜる

ビフテキ

人參、玉葱繊切になしバタでいため肉は鹽胡椒して入れ兩面と野菜と共によくいためる

うの花煎り

鰶は三枚に卸し鹽をなし刺身樣に切り酢洗ひをなす（酢につけて魚の白くなつた時に酢よりあげる）人參鹽茹、油揚鳥スープにて少し甘目に味をつけて置く、麻の實は煎る、きらずを胡麻油少々で煎りスープを入れ人參、油揚、葱を入れて煮込む油揚の煮汁も入れ醬油味の素にて加減をなし汁を全く煮詰めて火から下し少し冷た時に鰶の實と生の鰶を入れる其時其魚の酢も少し入るが味よし

キャビタンづけ

鯡は三枚に卸し素揚にして別に人參、繊切、葱は二糎の長さに切り何れも茹で酢味をつけて先の魚の上にかける

茄子胡麻みそ丸煮

茄子は皮を切りはなさないで二糎巾位に剝ぎ茄子の心は切目を縦に入れて胡麻みそをはさみ煮込む胡麻みそは白みそと胡麻と煎りてよくすつた中に入れよくすり混ぜて砂糖少々と入れてよくすりたるもの、鍋に先の茄子と並べしたしたに水を入れ削り節を入れて柔かになる迄煮込む

ずゐき胡麻酢和へ

ずゐきの皮を剝ぎ四糎に折り水に入れてアク抜をなし鍋で柔かになる迄から煎りして少し胡麻を多くした胡麻酢を作りから煎りした時に出來た水分と一緒に鍋に入れて煮る

もう安心
母つあぶ危ないしやないの 飛び乗りなんかして ひつくりかへつてさ 本当にお馬鹿さんネ 足でもひかれたらどうするの……
ホレ母つあ 足をひかれたら もう飛乗りが出來ないから 安心ぢやないの
セイ坊

一年前

十八日　滿洲事變突發す、午後十時半暴戾なる支那官兵は奉天附屬地を距る北方一里の滿鐵線を爆破し、我が守備兵を襲撃す、依つて關東軍司令部では條例に依り直に軍の出動を命じたこの夜奉天駐剳聯隊宍戸軍曹北大營で一番乘り

十九日　午前二時奉天城を占據、午後五時長春南嶺の武裝解除に向つた公主嶺獨立守備隊は支那兵の白旗戰法に陷り、第一大隊長小河原浦治中佐傷き、同第三中隊長倉本茂大尉壯烈な戰死を遂ぐ

二十日　北滿各地の吉林軍敵對的動員を開始し、我が在留邦人の安否氣遣はれ、ために我が獨立守備隊を長春に集結し、又第二師團多門中將の麾下は長春に師團司令部を置く▲奉天省城並に商埠地に市政施行に決定し、土肥原大佐（現在少將）は市長に就任す

二十一日　吉林軍の交戰準備により長春駐剳軍に命令下り、第二師團司令部もこれに續き裝甲列車を先頭として午前十時三十五分吉林に進撃し、二師團先發部隊は夕刻完全に吉林を占據す▲ハルビンの我が建築物に頻々として爆彈投下され在留邦人は極度に不安に陷る▲朝鮮軍出動す

二十二日　北大營王以哲旅長の手文庫より計畫的滿鐵線破壞を暴露した白軍の秘密指令が發見される▲我が軍鄭家屯、敦化方面を占據す、又秋山少佐の指揮する獨立守備隊は洮南占據の目的を以て午前四時半四平街を出發す▲國際聯盟は日支兩國に停戰要求の通電を發す

二十三日　我が羽山枝隊、完全に通遼を占據す▲ジュネーヴに於て芳澤代表、施支那代表と大いに論爭し、我が權益を强調す▲上海の形勢刻々と惡化し、日本人通學兒童の迫害事件二日間で九十件に及ぶ

二十四日　我が政府は滿洲事變に關し中外に我が方針を聲明し、併せて聯盟理事會に對して施の意思を回答す▲獨立守備隊司令部四平街に移動す▲華興公司農場支那官兵に包圍され堺井滿鐵社員人質となる▲二師團司令部長春に引返す▲【香港】の反日機運激化し邦人多數を虐殺し、ために佐世保より我が軍艦出動す▲奉天兵工廠步哨中の小山一等兵は多數の武裝敗兵に襲はれ、大格闘の後身に十數彈をうけて壯烈な最期を遂ぐ▲アメリカ日支兩國に軍事行動の中止を要望す▲羽山枝隊洮南に入る

今週の歴史

十八日　文壇の耆宿德富蘆花氏逝く（昭和二年）

十九日　正岡子規逝く（明治三十五年）　東京京成電車追突し四十名負傷す（昭和五年）

二十日　漁夫虐待事件を傳へられしエトロウ丸函館に歸る（昭和五年）　明治天皇御誕生遊ばさる（嘉永五年）

廿一日　帝大總長最初の公選（大正九年）　石田三成捕へらる（慶長五年）　佛國共和制を布告す（一七九二年）

廿二日　會津落城（明治元年）　横濱に瓦斯燈成る（明治三年）

廿三日　賴山陽歿す（天保三年）　獨人海王星を發見す（一八四六年）　私に銃砲彈藥の賣買を禁ず（明治五年）

廿四日　秀吉征韓の軍を發す（文祿元年）　西鄉隆盛城山に戰死す（明治十年）　京都列車衝突死傷三百名を出す（昭和五年）

（昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

九月十七日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 關本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

露領に滿洲國領事館 正式開設に決定

謝外交總長宣言發表

滿洲國成立以來ソウエート聯邦は極東平和保持のため滿洲國獨立の必然的なることを認め常に好意を示して來たが日本の承認後滿洲國は直に**露領ブラゴエチエンスクに正式に領事を置くことになり、既にソウエート側の諒解を得た**ので新任實領事以下四名の領事館員はいよいよ十八日新**京を出發**することになつた、これに先立ち謝外交總長は十七日別項の如き**領事館成立宣言を發表し滿洲國の正當なることを主張**し、舊軍閥時代に於ける外交が如何に不信不義極まりなきものであつたか又今後の滿洲國は如何なる希望を有してゐるかを述べた、ブラゴエチエンスク領事館員一行は十八日新京を出發し、ハルビン、浦鹽、ハバロフスクを經て二十六日ブラゴエチエンスクに到着の豫定である同領事館員左の如し【新京電話】

領事　實鴻壎

實領事は浙江省の人、本年四十六歳、民國八年ハバロフスク領事に任命され後中國交涉事宜公署準備委員東鐵理事會主席理事等に歴任す

副領事　吉津清

福岡縣人、日露協會學校出身、本年三十五歳

書記官　鄭毓琪　二十七歳

雇員　野並健二（廿五歳）

同　劉進善（廿七歳）

遠からず各地に開設

謝外交總長の宣言

わが滿洲國地方三千萬民衆は舊軍閥の慘虐を受ける事二十年の久しきに垂んとしその間受けたる苛斂誅求のため財産は剝脫せられ流離其住居を失ひ困苦萬狀にしてその苦痛は筆紙の到底これを名狀し能はざるところなり、しかのみならず國際關係においては何等これに仁義を講ずることなく又役章を顧みざりしため遂に往年の中露衝突及び昨秋九月十八日の事變を醸成せしめたるがこれ等は皆舊軍閥が素りに自ら尊大視し親仁善隣を知らざるにより結果せるものなり現在幸にして隣邦の協助を得て舊軍閥の壓迫より脫離し滿洲新國家を建設せり、新國家は王道を以て政綱となし雜覇欺僞の實をとることなく大道を以て主義としまた種族復觀の心なく政治を革新し實業を振興し利源を開拓し財政を整理し極力國富民安を圖りその土地に居住する者をして等しくその居に安んじその行に樂しませんとす

◇

本年三月執政就任し政府成立して以來既に半歳餘を經たり、この半歳中は諸般草創の秋に當り萬事再興を要し間斷なく建設繁重せるが現在においては大體その緒につき政務また軌道に入れり、斯くて諸政百般の事業日と共に進行し鞏固を加へ今後わが三千萬民衆は過去舊軍閥の一切秕政より脫離し幸福を享受し得るは斷言し得るところなり、また僑民につき速にこれが保護の方法必要を顧念しこれがためソ聯政府と交渉を進め我在留同胞の保障の爲領事派遣につき許諾せるが**今般交涉成立し先づブラゴエチエンスクに領事館を開設することゝなり、その他浦鹽、ハバロフスク、チタ等各地にも遠からず領事館設置することゝなれり、**茲にわが境民に對し宣示せんとす、要諦二つあり、官吏の惡習革除及び領事の職責遂行これにして隨つて總て境民の事業は必ずや充分の保護を與へられ境民の請願もまた必ずや臨時措置せられる一方國交の敦厚友情の融和を圖り極力海外在留同胞をして國內住民と同樣安住樂業の幸を受せしめることゝなるべくこれが新國家が德を以て民を愛し國外に在留せる者にも及ぼさんとする眞意に外ならず、茲に領事館開設の初當に當り宣言を發表す

わが境民は幸にこれを鑒於……

大滿洲國大同元年九月十七日

滿洲國外交部總長謝介石【新京電話】

謝總長の謝電

滿洲國承認に際し當日大連……長より謝滿洲國外交總長あてに發した處十六日謝電があつた

南京政府我國に抗議

聯盟の權威呼ばはり强調

【南京十六日發】日本の滿洲國承認に關する國民政府の抗議は本日の行政院會議で決定し同午後六時發表されたがその內容は大體左の如くである

昨年九月十八日日本が豫定の行動により兵を支那領土に進めてから東三省の事態日に險惡化し支那の主權は蹂躙されて世界の平和は非常な打擊を受けたと冒頭し昨年九月三十日、十二月十日の聯盟決議を引用して日本は完全に聯盟の決議を無視した

さいひ自己一切の不當行爲は皆滿洲國の名義でなし聯盟を瞞着したと毒つき更に本年四月のスチムソン長官の聲明、四月十六日の聯盟理事會決議、三月十一日の總會決議を引用し

日本は友邦の忠言、聯盟の決議を顧ず滿洲國を正式承認し滿洲を保護國の地位に置いた聯盟がリツトン卿の報告を審議せぬ前に承認せるは益々日本の罪害を深からしむると共に聯盟の權威に對して侮辱的挑戰をなすものである

と述べ最後に個條書きとして日本は國際公法の原則及び人道觀念、聯盟規約、不戰條約に違反し且つ日本が嘗に東三省に領土的野心なしと述べた聲明に違反するものだ

と言ひ

滿洲承認により發生せるあらゆる結果につきその責を負ふべきだ

と結んで居る

國際聯盟にも通告

顏惠慶代表に訓電

【南京十六日發】國民政府は在ジュネーヴの顏惠慶に對し政府の名を以て國際聯盟に左の通告をなすべしと訓電した

九ケ國條約の加入國に通牒

議定書の發表と歐米各紙の論評

大體我行動を是認

米紙の論評

英紙の所說

タイムス紙

ドイツの各紙

ルンプル紙

パリの各紙

ジュルナール・デバ紙

支那紙政府攻擊

「最高責任者南京に在らず」完膚なき迄に痛論

東京都制案

山東に兵亂起る

韓復榘系軍と劉珍年軍濰縣北方で遂に衝突

邦人外出遠慮 北平支那側要求

重大任務を果して武藤全權けふ離京

旗の波、萬歳のどよめきに送られ新京發一路奉天へ

列車

軍部

執政主催の午餐會

滿洲國承認祝賀會開催

首相依然靜養

選擧人名簿

軍縮會議とドイツの態度

臺灣同郷會各路聯合會加入

滿蒙の戰慄

直木三十五 作　淺枝次朗 畫

鬪爭（一ノ一）

滿洲事變記念館を宮城に御建立
勇士の靈を慰め賜ふ

【東京十七日發】愈々十八日は意義ある滿洲事變の滿一周年記念日を迎へることになつたが長き邊では特に新興滿洲國の誕生を見る迄に至つた事變の意義深さを永久に記念し併せて護國の鬼と化した皇軍勇士の靈を慰めらるゝ厚き思召により宮城内に名譽の戰死者の寫眞並に事變當時の鹵獲品を留めさせらるべき御内議あり、宮内省にて目下愼重その方法等研究中であるがその保存は日清の役記念の振天府、北清事變の懷遠府、日露役の建安府、日獨の惇明府の例に倣ひ宮城内に同樣の記念館を建立し陛下より親く御命名を仰ぐ筈である

御手づから御包裝 各宮家から下賜品
北滿南支出征將士へ

【東京十七日發】秩父、高松、澄宮始め各宮家、李王家にては北滿南支に於て日夜邦家のために若闘してゐる陸海將兵を御慰問さるゝため外般來御協議中の處滿洲事變一周年記念日を機とし畏くも白地に「至誠」の二字を染め拔いた手拭に丁寧に包んで御菓子を下賜遊ばされたが、御慰問品の包裝に當つて、畏くも各宮殿下妃殿下が御手づから遊ばされたもの、由で陸海當局は御熱情に感泣してゐる

殉職社員の英靈をあす記念日に祀る
滿鐵で追悼會を執行

昨年九月十八日以來、滿鐵社員は軍警と共に第一線に立つてその任務に服した關係上幾多の殉職者を出したが、滿鐵はこの尊き犠牲を永遠に記念するため毎年十月末に擧行してゐた殉職社員追悼會を今年より九月十八日に執行することゝなり、明十八日その第一回を行ふこと、なつた、當日は滿鐵協和會館北側庭内に會場を設け（雨天の際は會館内）午後一時三十分導師讀經に始まつて總裁の追悼辭を八田副總裁代讀、社員會追悼辭は部統事長が讀み、日滿僧侶の讀經あり、終つて遺族、施主たる總裁代理、社員代表係系會社の燒香あり午後二時半終了の豫定である、

なほ今年祭られる殉職者は左のごとく日本人二十四名滿洲人百三十三名計百五十七名であるが、邦人はほとんど全部事件關係者で反對に滿洲人側は撫順炭礦關係者が大部分である、殉職者の氏名左のごとし

一、日本音市▲鐵道部　小池小太郎、三浦義臣、島村久平、伊東萬次、中村與藏、柳田佐市、北村新太郎、諫山準一、中村常吉、中村孝造、小崎博、有馬町治、大石富義、野口幸隆、吉井正喜、大仁田武義▲鞍山製鐵所　村里芳▲哈爾濱事務所　佐藤忠▲（滿洲人）撫順炭礦一一一名、鐵道部一八名、鞍山製鐵所四名

記念式を擧げ感謝狀贈呈
功績顯著な十ケ所に

滿鐵は十八日殉職社員慰靈祭後引續き協和會館で事變記念式を行ひ總裁感謝文を副總裁代讀し更に事變中功績顯著なる左記十箇所に感謝狀を贈つて表彰することゝなつた

▲上海事務所、哈爾濱事務所、鄭家屯、吉林、洮南、齊々哈爾各公所、奉天事務所鐵道課、鐵道部、撫順炭礦、鞍山製鐵所

社員が體驗談

記念式後直に第一線に立つて具に辛苦を嘗めた社員の體驗演説會を開く筈で講演者及び演題左のごとし

一、未定　囑託將校佐伯中佐
二、四洮洮昂線派遣社員の活動狀況　洮昂鐵路派遣員竹村勝清氏
三、拉致されたる社員の遭難談　奉天事務所鐵道課員安藝綾一氏
四、奉山線保線作業班の活動狀況　蘇家屯保線區長梶川康造氏
五、滿洲事變と齊々哈爾公所　齊々哈爾公所田尻末四郎氏
六、新線建設班の活動狀況　鐵道部工務課高山安吉氏
七、襲擊を受けたる驛遭難談　蘇家屯驛助役（前秋木莊驛助役）濱崎茂氏
八、局地的療班の活動狀況其の他　長春醫院長塚本良禎氏

今夜青訓生夜行軍
事變を追憶

常盤大廣場兩青年訓練所は事變一周年に當り事變當夜の皇軍の奮戰を追憶し青年の士氣を鼓舞するため大廣場青訓は古賀、加來指導員に常盤青訓は財滿指導員の指揮により十七日夜九時黑石礁に集結隊伍を整へて旅大道路を旅順へ夜行軍の壯擧に就き十八日午前は飛行隊爆擊演習を見學、午後は戰跡を弔ひ歸連の豫定である

放火された楊柏堡の社宅街

双城縣城の匪賊爆擊
哈市から出動

滿鐵入電によれば双城を襲ふた匪賊は遂に縣城を占領し掠奪を縦にし、電信電話線を切斷したため長哈間の電信不通となつた、十六日同地を通過した旅客機の視察によれば同縣城に通ずる三條の道路上にはそれぐ百五十乃至五百の匪賊團が掠奪品と覺しき車輛および人質を伴れて同一方向に向けて進行してゐたさ、双城縣城は火災を起しつゝあり十七日ハルビンより爆擊機二臺同地に向つたが驛は安全で列車の運轉には支障なし

警官增派
けさ沿線へ

關東廳警務局では撫順の匪賊來襲事件突發と共に對策講究中のところ、目下新京滯在中の森本課長からの急電により十七日朝警官〇〇〇名を奉天、撫順、蘇家屯一帶に急派する事に決した

長春丸の審判

渤陽沖で遭難した大汽長春丸の遭難事故は關東州船舶職員懲戒令第三條に該當するので海務局理事木村正身氏より船長鹿志和兼太郎氏當時ブリッヂにあつた二等運轉士の辻田正人氏に對し海事審判を開くべく局長宛に申請中のところ十七日近く許可すべく決定した

人質の分水驛長大石橋署で奪還
石橋子部落に潛伏中

去る七月十八日突如分水驛を匪賊の一團が襲擊し來り驛長森園光藏及び同地有力者戸田穩苗の兩氏を人質として拉致したる事件は日數の經るに隨つて人に忘れられんとする頃漸く十六日原田大石橋警察隊の決死的奮戰によつて兩氏を奪還した

事件發生以來原田大石橋警察署長は反田司法主任及び阿部老刑事を督勵して極力匪賊の動靜を捜査させてゐたところ最近右匪賊團が分水驛を距る西北方二十支里の石橋子村落に移動し來れるを探知し俄然大石橋署は活氣づき異常な緊張裡に反田司法主任は密偵韓某外二名を人質の家族に變裝せしめ身代金持參の通告をなし一方他山警察官二十五名分水警察官二十名及び自警團百五十名をして十五夜の夜半仲秋の明月を仰ぎつゝ同村周圍高梁畑を四方より包圍し十六日午後二時より身代金引換へ交涉中の頭目占勝以下部下に對し輕機關銃の一齊射擊を浴びせ交戰二時間の後同五時三十分無事人質二名を奪還し凱歌を奏したこの戰闘においてわが方に損害なく匪賊は頭目占勝黑隊を受けたる外損害甚大なる見込み、目下營口水上警察隊飛行機の應援により調査中である【大石橋電話】

竹中理事一行

竹中理事の第三軍役慰問班は十六日東山よりチチハルに歸り、十七日飛行機にて長春に歸還する旨入電があつた

銀行野球聯盟

大連市内銀行團野球聯盟では來る二十三日、二十五日及び來月一日の三日間實業球場に於て左記スケジュールの下に秋季リーグ戰を擧行する

▲二十三日　鮮銀對正金、正隆對滿銀
▲二十五日　正金對正隆、滿銀對鮮銀
▲一日　鮮銀對正隆、正金對滿銀

毒藥だつた
『渡さぬ貰つた』とまた奇怪極る事件

離婚を迫つた妻に眠り藥と偽り毒藥を與へ、自殺を裝はせて殺害しようとした探偵小説的興味ある怪事件を被害者の訴へによつて大連署司法係で取調べてゐる、市内某所の資産家渡瀬義一（三三）は某洋行の匯澤村君子（二二）何れも假名と二年前盛大な結婚式を擧げたが家庭は風波の絶え間なく約一ケ月前君子の實父は渡瀬家に乘り込み、離婚を迫つた結果、強制的に離縁狀に捺印させ、君子は兩親と共に郷里岡山縣へ歸ることゝなり、君子は義一から眠藥といつてハンカチーフに包んだものを渡され、船の中で呑んだところ急に苦悶し初め定期船が門司に入港するや醫師の手當を受け生命を取止めた、君子の實父は非常に憤慨し娘を毒殺しようとしたのは怪しからぬと小野辯護士に依頼し大連署へ訴へ出た同署司法係吉岡刑事は君子を内地から呼び寄せ十七日午前十時ごろ夫婦對決させたところ義一は「そんな藥を渡した覺えはない」といひ、君子は「確かに貰ひました」と頑張り目下のところ謎の事件とされてゐる

寄生虫の夫狂言自殺
妻の家出から

市内磐城町五十八番地無職池上梅濱（四九）は賭博と酒で身を持ち崩し妻きくゑ（三〇）が安界カフエーで女給を働き生計を立てゝゐたが、男の意氣地無さに愛想を盡かしたきくゑは十六日午後七時ごろ離縁話を持ちかけ姿を晦まして終つた悲觀した梅造は翌朝白髮染「るりは」を嚥下して苦悶してゐるを近所の人が發見、直ちに三好醫院に擔ぎ込み更らに大連署中島係官立會のうへ堀江醫院で胃洗滌を行つたところ何ら毒藥を嚥んだ形跡がなくいろく取調べて見ると妻が歸つて來るやうにと口のまはりに「るりは」液をベタく塗りつけ狂言自殺を企てたことが判明した

滿洲事變一周年記念講演と映畫の夕
明夜七時・協和會館

思ひ出深き滿洲事變の一周年を迎ふるにあたり、本社では講演と映畫の夕を開催するが、講演者及び映畫は左の如く決定した外、滿洲事變以來、雄々しくも滿鐵社員が第一線に立ちて殉職した秋木莊驛長故柳田佐市氏の左手首を貫通せる青龍刀或は彈丸命中す氏着用の社服、奉天電氣工長故中村岩藏氏の外套襟章賊彈のほか、大拉子、三游滿の我警察分署を襲擊した賊彈或は記念品をも陳列公開して意義深きこの日を新に顧みることにした、なほ岡田巳三夫氏は昭和元年より同五年末までの張學良の軍事教官で事變の際は北は通遼、ハルビン、三姓等馬占山討伐以外の戰闘には悉く參加して殊勳を奏した飛行隊最古參の空中勤務者である【寫眞は右から岡田少佐、白井課長、太原社長】

プログラム

一、滿洲事變當夜の回顧　元本社奉天支社長　現旅順支社長　太原要氏

二、鐵道現業員の活動狀況　滿鐵鐵道部庶務課長　白井喜一氏

三、滿洲事變と飛行隊の活動を顧みて　飛行第七聯隊附　陸軍航空兵少佐　岡田巳三夫氏

映畫『滿蒙破邪行』全五卷（滿鐵弘報係撮影）

尚ほ前記のほか滿洲事變に關係せるレコード演奏もします

來場歡迎　先着順滿員まで入場隨意

主催　南滿洲鐵道株式會社　滿洲日報社

平泳の覇王を迎へ羅府の戰況を聽く
十九日夜講演會開催

遠く異境の空、羅府オリンピアードの彼方に於いて祖國の名譽にかけて幾多世界の強豪を向ふにまはしてよく健闘、遂に榮ある平泳の世界選手權を再び獲得しスタディアム高く日章旗を揚げ在留邦人は勿論のこと全日本人を歡喜の絶頂に導いた水の覇王鶴田義行選手は明十八日入港のうらる丸で爭霸の征衣を飾つて華々しく歸連することゝなつた、本社では同選手に交渉の結果來る十九日午後七時より協和會館に於て同選手歸還第一聲を放つ講演會を開催するの快諾を得た、なほ大連パテー倶樂部では本社のこの擧に賛同し同倶樂部所有の第十回オリムピック大會の實寫を提供上映するが、同映畫は代表選手出發當時から大會入場式陸上競技において南部選手優勝するまでの實寫十一卷である、入場は無料である

また大連灣内の海水使用を禁止
漁夫の眞性コレラで

去る十二日以來大連港西端りに碇泊中の崖永丸乘組漁夫大連擧實（二五）は十六日發病小崗子署より疑似コレラとして療病院に收容中であつたが十七日午前八時眞性と決定した、從つて同人は數日間大連港假泊中であつたため附近の海水が汚染されてゐるので十七日附を以て大連灣北黄白嘴より北長山に至る線以内の（柳樹屯を除く）漁撈遊泳及び海水の使用を再び禁止した

大東京のビックリ物語

面白くて知識になる大東京三十五區のいろく驚嘆物語。キング十月號にあり、話の種にぜひ御覽！

滿鐵急行は『鳩』
懸賞募集當選

滿鐵々道部で過般懸賞募集した急行列車の名稱については同部において候補名稱を詮衡の上十七日正午ヤマトホテルに於て當地官民有力者並に新聞代表者參集し協議の結果左の如く決定するに至つた

▲一等「鳩」上り第十一列車及び下り第十二列車
▲二等「隼」この分はこの次ぎ名稱決定の際使用すること

旅順競馬延期

旅順競馬第四日目（十七日）は雨天のため中止となり十八、十九兩日午前十時半から開催される

爆擊演習延期

濱松機白銀山爆破演習第二日目は雨天の爲め十七日は中止され、十八日午前七時から行はれる

事變記念法要

大連本派本願寺關東別院にて十八日午後二時より滿洲事變一周年記念法要を執行する、なほ法要後大連在郷軍人會第一分會長協屋次郎氏の記念講演がある

天氣豫報

十八日　西の風　晴一時驟雨

模樣

滿潮（午前―　午後零時）

干潮（午前六時　午後六時五分）

各地氣溫

	十六日午前十一時	昨日最高
旅順	二五、一	二五、四
大連	二三、六	二三、一
營口	二二、七	二六、一
奉天	二〇、二	二七、〇
長春	二一、〇	二五、八

公告

南滿中東連絡運送狀副狀左記明細ノ通リ貳參壹通紛失致候ニ付當今無効トス右此段公告候也

昭和七年九月十六日

國際運輸株式會社

記

荷受人	發地	着地	副狀日付	副狀番號	副狀運數	品名	車數	袋又ハ個數
利豐洋行	八區	大連	九月七日	[illegible]	三	河豆	三	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	七	同	七	[illegible]
同	同	同	九月八日	[illegible]	二	同	二	[illegible]
三井	八區	大連	九月七日	[illegible]	一〇	河豆	一〇	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	五	同	五	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	二〇	同	二〇	[illegible]
同	同	同	九月八日	[illegible]	三	同	三	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	四	同	四	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	七	同	七	[illegible]
三菱	八區	大連	九月七日	[illegible]	六	河豆	六	[illegible]
寶豐洋行	八區	大連	九月八日	[illegible]	五四	河豆	五四	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	五	同	五	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	一五	同	一五	[illegible]
同	同	同	同	[illegible]	三	同	三	[illegible]
同	顯郷屯	同	同	[illegible]	二六	同	二六	[illegible]
同	舊哈爾濱	同	同	[illegible]	五	大豆	五	[illegible]
同	阿什河	同	九月六日	[illegible]	三	同	三	[illegible]
今泉武夫	哈爾濱	大連	九月八日	[illegible]	一	引越荷物	一	[illegible]
鈴木一	同	大連埠頭	同	[illegible]	一	同	一	[illegible]

以上

國難日本刀（97）

高桑義生作　京極佳夕畫

やけ酒（九）

「さうです、あたしはあなたを呪つてゐる……」

とお島が、口をゆがめて答へた時、

憤然、男雛子のやうな勢ひで、橘之進は飛びかゝつた。そしてお島を押し倒して、その口を、熱い手でふさいだ。

「言はして置けばいゝ氣になつて、お島ッ、貴樣はおれの力を知らぬのだな。お前を助けたのもおれの力、斯うしておれが無事でゐられるのも、おれの智慧才覺だ。もし役ばなれをしてゐるか、たとしはまた、お前と駈落でもしてお尋ね者になつてゐたら、今の氣樂な身分は思ひも寄らぬ事だぞ」

「あたしは……あたしは、氣樂な身分になぞなりたくない」

「無茶だ。少しは氣を沈めて、考へろ」

「いゝえ、あたしは……」

「またいふかッ」

「いひます。みんなお上に訴へて、あなたといふ者を破滅させてやる」

「うぬッ」

かッと逆上した橘之進は、お島のか細い頸に手をかけた。

「あッ……」

お島は眼を白黒させて、悶えた。

「どうだ、貴樣を殺すのは造作もない。苦るしかつたらおとなしく、おれのいふ事を聞くがいゝ」

少し手をゆるめる下から、

「殺せッ、殺せッ、あたしは死んだ方がよつぽどいゝ」

「くそッ、殺してやる！」

橘之進は本氣になつた。物凄い形相で、お島の身體に押かぶさつて——。

「あッ……」

お島は苦痛の呻きを洩らして、手足をばたばたさせて、もがいた。

二人のいがみ合ひは、いつもの事だつた。顔を合はせれば、一人が怨みを、そして一人がそれをなだめつ威しつ——やがて醜い爭ひとなるのだつた。が、その果てが、妙に白けた默り合ひ、橘之進が一人手酌で酒を飲みながら、ひとつ二つ口を利き出す、お島の機嫌を取つて、いつの間にか仲直りとなるのである。前世からの仇敵が、不自然にも結び着いて、爭闘と愛慾と、あまりにも醜い人間性をさらけ出すのだ。

だから、二人の奉公人も見て見ないふりをし、聞いて聞かないふりをしてゐるが、今日はその蠻行がたゞならぬ——。

婆やのお杉はたまりかねて、飛んで來た。

「新さん、早く……」

お杉の聲に、新助も驅つけた。

さうして漸く、お島の首にからみついた橘之進の腕をさかせ、二人を引きはなした。

お島は突ッ伏したまゝ泣いてゐる。橘之進は憎悪と、不自然な愛慾を感じながら、かの女の肉體をにらみつめて、

「酒だ、酒はどうした……」

その夜の二人は、どうしても解け合はなかつた。お島は死んだやうに、突ッ伏したまゝ、何としても顔をあげなかつた。

橘之進は一人ぢれて、癇癪を破裂さしてゐたが、つひに盃を投じて、

「お島ッ、おれはどんな事があつても、貴樣を手ばなしはしないぞ。一生涯仇のやうにいがみ合つても、貴樣を側にひきつけて置く。おれは執念ぶかい男だ。いゝか。まあ、勝手に何でもいふがいゝ。貴樣などに何をいひ觸らされたところで、わしの立場はびくともしないのだ。誰が貴樣のいふ事を取上げよう。かへつて貴樣が狂人と思はれるばかりだ。今夜はゆつくり考へて見るがいゝ。わしは久しぶりで、茶屋へ行つて飲み直さう。さうさう、お前に聞かせる事があつた。お前が死ぬほど思ひこがれてゐる十月弓之助、いよいよ死罪ときまつた——それから、お前の親父は、今朝がたさうさう往生したよ」

橘之進は立ちあがつて、昂然として出て行つた。

澤モリノ舞踊 會々券の前賣

澤モリノ舞踊生活二十年記念舞踊大會は既報の如く來る廿二日午後七時から協和會館にて開催、出演者は澤モリノ、澤野雅子、佐藤定夫、根本弘、吉井正子、竹内律子で會券七十錢を山葉洋行賣店、大阪屋號、滿書堂、ドミノ、一木洋行、明菓賣店で五十錢に割引前賣してゐる【寫眞は澤モリノの瀕死の白鳥】

嘩話

映畫館リーグ戰は昨日帝國館と中央映畫館が第二位決定戰をやつたが、二對二でドロンゲーム▲終つて寶館に優勝旗が授與されたが、何事も宣傳と許り町廻りに繰出す計畫が傳へられてゐる▲また引續き十九日から秋のリーグ戰に入ることになり各館ともガッチリした傭兵のメンバーが出來た模樣▲滿洲事變一周年記念日を迎へ寶館は今週特別番外として東活の「奉天城一番乘」を再映▲ゆふべ中央映畫館で「緑の騎手」を試寫、この前の「女優奈々子の裁判」といひ九州から來るプリントは不愉快である

本社特選 新棋戰（其九）

香落先 二段 △橋爪敏太郎
初段 ▲小林金吾

【圖は八四角迄の局面】

△橋爪氏 持駒 桂

△五二成桂　▲同金上
△二一龍　▲三三玉
△三五桂　▲五一歩
△八二龍　▲九三角
△同龍　▲同角
△二五桂

迄百二十四手にて橋爪氏の勝

【土居八段總評】本局は双方陣容整備後小林君の六五歩の開戰で早くも接戰となつた、此の時橋爪君の七四歩は活氣ある攻撃手段なるも些か指過ぎの嫌ひあり因て小林君は一旦八六歩と突き捨て然して攻防共に對策を講ずれば大駒の活用意の如くなり有望であつたのを其の機を逸した爲め却つて敵飛に働かれ指し惡い形勢を招いた。橋爪君が七二歩と打込み攻撃手段を圖つた際小林君は既評の如く飛車の侵入に努むれば尚面白い局面になるを、七六銀の手段を講つた爲め攻撃を採るに難く、其の時橋爪君の攻防手段流石に巧みにして善戰したので小林君は次第に悲境に陷り最後に至り、五一歩打の惡手を演じた爲めそれが敗因となつて駒を投ずるの已むなきに至つた。

【萩原六段解説】橋爪氏の五二成桂は自玉に卽詰めがない故に二枚飛車の威力を以て敵玉に逼つた、續いて三五桂は同歩なら三四桂と打つてよいのであるから小林氏の五一歩は止むを得ない。橋爪氏九三龍と切つて二五桂は敵同歩、二四角、同玉、二二龍で詰みである、順を狙つて九三龍と切つたのである。

滿洲國の發達

★…歷史上に特筆すべき九月十五日、日滿兩國の締盟は完全に達成され、新國滿洲國は華々しく國際場裡に乘り出しました、これによつて我々在留邦人の諸種の權益は確保され我々の第二の故鄕として安心して心のまゝに活躍することが出來るやうになりました

★…滿洲は我々の第二の故鄕です、我々自らを向上せしむると同樣に第二の故鄕滿洲も向上せしめなければなりません、經濟的方面の開發はいふまでもありませんが古い歷史を持つた滿洲の文化を研究しこれを發達せしめることに努めればなりません、これは滿洲國を向上せしむるに是非必要なことであります

★…歷史をひもといて見ますと滿洲と支那本土とが全然別々のものであることを知り得ます、さうして滿洲と支那とが合同して一國家を形成してゐる場合それは何時の時代にも滿洲に起つた强力な人物或ひは民族が支那本土を併呑した場合にのみ起つた現象で支那より滿洲が平定されたことは未だ嘗て殆どありません、この强力な民族を幾度か生み出した滿洲は相當古く又相當强い立派な文化を持つてゐる筈です

★…我々日本人と雖もこの歷史ある滿洲の鄕土文化を研究し鄕土文化の發達をはかることは日滿親善の上に於ても又滿洲に居住する我々自身のためにも是非必要なことです出來得るかぎり鄕土文化の研究に努めたいものです

骨も肉も黑い珍らしい鷄

金州農事試驗場で飼育の絹糸鷄のおはなし

昔から珍しい鳥は妙藥になるといはれて居りますが金州の農事試驗場にはこの珍しい鳥が飼はれてゐます、それは烏骨鷄といふチャボ位の大きさの可愛い鷄です元々支那日本が原產地だと傳へられてゐますが年々少くなつて今では何處にも餘り見受けられないやうです、州內では農事試驗場以外に飼つてあるところはないようです、この鷄の外から見た特長は冠は薔薇冠（普通さくろと言ひます）ですが冠毛がありそのうへ足指が總ての鳥は四本あるのに五本あつてしかも皆完全に發達してゐることです、雄の方は距爪を合せて六本になつてゐます

毛色は白、黑の二色あるそうですがこゝに飼はれてあるのは白色です、そしてその毛が兎の毛の樣になつて居ります、それで一名絹糸鷄ともいはれてゐます、殊に面白いのは骨も肉も身體全體が黑色であることです、鳥の樣に黑い色をしてゐるから斯樣な名をつけたのでせう、昔から黑い鳥は藥になるとよく言ひ傳へられてゐるのはこの鳥であります、生き血は中風症に大へん効果がありまた呼吸器病にも効果があると言はれて居ります、肉や卵もこれを連食すればこれ等の病氣に効目があるそうです、昨年は病氣を癒す爲めにこの

鳥を探し求めてはるばる天津から試驗場に訪れて來たこともあるそうです、實際に効果があるかどうかは實驗の上でなければ判りませぬが若し効果があるものとすれば得難い珍鳥でありませうまた家庭の愛翫用としてもこの上ない可愛い鷄です（寫眞は烏骨鷄）

こ れ か ら 荒 れ 勝 ち な 手 の お 手 入 れ

特に荒れ性の方は秋から 手袋をはめて外出なさい

遠慮なく凋落の秋は訪れて朝夕覺える冷氣は滿洲の酷寒を忍ばせるまでになりました、こうなれば夏季相當脂肪の多い者でも脂肪が減り、殊にお勝手に水仕事をやる主婦の手は荒され勝になります、わけても石炭を一日中焚くために氣の毒なほど手を荒された方を屢々見受けます、女性であれば髮や顏の方には充分手が加へられますが、手先は割合に虐待され勝です、斯うした中に手先に髮、顏の化粧以上に力を入れられた女性を見ればその人の細かい點に心遣ふ奧床しさが偲ばれ嬉しいものです、これから冬にかけて荒され勝の手の手入れ法を東京美容院の德永千代子さんに伺ひました

水質が惡いから手が荒れるのだらうとよく聞きますが大連の水は決して惡い事はありませんこちらは內地と異つて氣候の變化が急であるのを秋風に塵埃が混つてひどく吹くのに加へて秋から冬になれば脂肪も減つて來るといふ色々な條件が加はつてこれからは手も荒されるのです、でこれを豫防するには先づ入浴した時に質が細かくなつた古い輕石かほうの木炭に石鹸をつけて荒れてゐる手先を輕くこすります、すると柔かに綺麗になりますから入浴後脂肪性のコールドクリームか、メンソレータムをつけてよくマッサージして、未だ溫か味がある中に乾いたタオルで暫く包んでおくか、包んだまゝ寢みます、すると翌朝はカサ〳〵の手はどこかへ吹き飛ばした樣に綺麗になります

入浴しない時でも手を荒したまゝで寢みますと一層カサカサにしてしまひますから、寢む前に洗面器に微溫湯を取つて石鹸水を拵へこの湯の中へ手が柔かになるまで浸し前の樣に輕石に石鹸をつけて洗ひます、踵にひゞがきれたり荒れたりした時も同じ方法をとります、輕石やほうの木炭を使用して皮膚を荒す樣な事は決してありません

この反對に脂肪が多くて困る方は、微溫湯に明礬を茶匙一杯ほど入れこれが冷めてから手を浸します、洗ひましたら乾いたタオルでよく拭いてハンドローション（無脂肪）をつけて强く手先より上の方にマッサージして行きます、そして濕になりましたら、上から手先の方に向つてマッサージしてのち手を揉くか手袋をはめて寢みます、手の荒れを防ぐため炊事手袋をはめますが厚くて仕事がうまくはかどらない時は手術用の薄い手袋を用ひられたらよいでせう

然し何といつても手を綺麗に保つに大切な第一條件は水仕事後必ず乾いたタオルで水分を充分拭きとることです、その後にクリームでは色物ですから、ハンドローションか、化粧用の（リスリンが餘り入つてない）ヘチマ水をつけます、冬期は殊にこの手當をして外出されないと手を荒します荒性の方は秋から薄い手袋をはめて外出されたら餘程豫防できます

街頭に立ちて【下】

大連聯合婦人會　石川　忍

献金箱の側を廻りみちして、わざ〳〵遠い方を通つたり、そばに行つて御願みしても、返事もなく橫を向いて、さつさと足ばやに行き過ぎてしまはれる心無い同胞に比べて、常にかうした仕事に、よき訓練を持つてゐる外國人の、いたはりある愉快な態度に感心させられもした。

又かういふ事もあつた。私の子供が、今、馬車から下りようとする支那人の、一家族らしい人々の前に献金の箱を持つて行つた。子供の肩から掛けた白い襷の「ハルピン水害御見舞金募集」とある文字を讀んでゐたらしかつたが、ニコ〳〵して幾何かの志を入れられた。ところが、その樣子を見てゐた馬車夫が、その客に理を聞いたものか、今受取つた馬車賃の內からトンズル三つを箱に入れてくれた。思はず喜びの聲をあげて、丁寧にお禮をする私共を見返り〳〵ニコ〳〵してその馬車は動いて行つた。こんな愉快な出來事もあつて、終日立ち通しの私達は、更に勞れを覺えなかつた。私共の立つた所では意外に滿洲人の献金が多く、五十錢銀貨を入れて何か言つてゐるけれど、よくその言葉の意味を解し兼ねてゐる私の胸を指して「心很好」と簡單明瞭に褒められて赤面した挿話もある。

唯々斯かる動きには一同不馴れのため、色々と申譯ない御迷惑をお懸けした方々もあつたこととお氣の毒に思ふ。「献金された方々に對してマークでも差上げたら……」といふ親切な注意を頂いたことも、今後またかういふ動きを若しする場合のために誠によき參考となつて仕合せである。

兎も角も、二日間の私共の誠心の奉仕が酬いられて、翌三日、各代表幹事立會の上、開かれた献金箱の尊い御喜捨は、合計金一千三百五十圓餘にのぼつた。厚い御同情を頂いた一般市民の方々に深く〳〵感謝申上げたい。私共の思ひ立ちを、かくも意義あらしめ、永になやめるいたましき人々に深き思ひやりを頂いた大連市民各位の御志に對して衷心より感謝を捧げ、御禮申上げる次第である。

家庭顧問

二三町も歩くと腰に熱が出て倒れる

【問】當年四十八歳の男です、腎臟や心臟や脚氣でもありませんが二三町も歩きますと腰の方に熱が出た樣に非常に熱くなり目がまわつて息が苦しくひどく動悸がして時々倒れる事があります、この時腹部に力を入れて吐く息を多くし、帶をといて風を入れますとやがて氣分が快くなります、この發作は兩度の時ほどひどいやうですが何病でせうか？その療法等御教示下さい（歩行難生）

動脈硬化症と思はれますから一應專門醫に

土井三郎

【答】心臟や腎臟は惡くないとのことですが檢尿などなすつたのでせうか、歩行後に發作するとのお話ですが發病時期もよくわかりませんから何病とはつきり申上げられません、お年から考へますと動脈硬化症ではないかと思はれます、成るべく暴飲過食を避け肉食を減じて野菜や果物など植物性の食餌をとり便通をよくし、睡眠を充分になさい。其他平素の生活を力めて規則正しくし、若し酒や煙草を用ひてゐられたら斷然おやめになる事をお勸めします、何れにしろ一應專門醫の確な診察をお受けになる方が安全でせう

もぐらもちのトンネル　(38)

政本いさむ作　太田あつ坊畫

「さあ、動きますよ」もぐらもちが足なみ揃へて動き出しました。二人は何だか氣味が惡いやうでもあり、面白いやうでもありました。

眞暗いトンネルも馴れてしまうとさう暗くはありません。何だか汽車にでも乘つてゐるやうです。トンネルはどこまでもつゞいてゐました。

よくまあこんな立派なトンネルを掘つたものだな、と思ひました。少し行くと廣つぱがありました。そこには池があつてきれいな水が噴水のやうに沸き出てゐました。

どこからとつて來たのか珍しい恰好の石が澤山置いてありました。「きれいだなあ」といふと、「これ、公園です」もぐらもちがいいました。

秋と女　N

障子の張替毎に自身の生活を顧みる

大連市浪速町八四　宮崎文子さん

雨あがりのめつきり肌寒くなつた朝方、今まで何の氣なしにゐた窓の網戸が妙に寒々と氣がゝりになつて、物置の隅に押こんであつた骨ばかりの障子を引つぱり出して見ました、春しまひこんだ時はきれいに洗ひ上げてしまひましたのに、四ケ月足らぬ間にまあ何とひどいほこりだらうとびつくりさせられた事でした、どんなに磨いて見たところでこんな二昔近い障子では綺麗になりつこありませんがそれでもかうして洗ひ上げて新らしい紙に貼替えて見ると又急に若返つたやうで、私の氣持まで明るくなつてまゐります

……◇……

私が嫁いでまゐりました時には木の香のプンとする樣な、その當時は決してそうお粗末でなかつたこの障子が今では「まるで博物館もの」と若い方たちに笑はれるのを見ると、私自身がすでに時代の者が笑えかゝつてゐるのを否みさせられますが、昔のものだけに大がいの亂暴な取扱ひにもちつとも狂ひの來ないこの障子に深い愛着を覺えないでゐられません、そして恰度この障子のやうに、年々安つぽくうすつぺらになつて行くのではないかと思はれるモガとかモボとかいふ人たちを考へますとたよりない氣持がいたします、

……◇……

障子を張りつゝ煤けて眞黑になり乍らガツシリと力づよい障子の骨をながめながら、ついいつも滿洲事變や大連驛頭で送り迎えるあの陽にやけた軍人方を思ひました、あの汗や土にまみれたきたない軍服が私には何時もどれほど尊いものに輝いて見えますことか、この方たちがゐて下さる限り日本の國も先づ安泰だと深い感謝の氣持を抱かずにゐられません

……◇……

障子を張り乍ら、さうしたことをとりとめもなく考へながら、何時とはなしに二枚三枚と張り終つてあちこちの窓に立てかけますと急に部屋の中が明るく目新しくなりました、わづかのことでかうも氣分が新しくなるものかと、毎日々々何の變化もない生活をくりかへしてゐる私自身をもう一度ふりかへつて見ました、そして私も明日は久しぶりに髮を洗つて束髮にして見やうかと思ひました

滿日各地版

保税倉庫設置が奉天發展上緊要
下村三井支店長語る

[illegible]然しこれまで各種の食料品其他の品を是非賣捌いて欲しいさ紹介して來たが、いづれも一度は滿洲商人も仕入はするも、二度目は一寸手を出さない、其れに內地の商人が假りに市場を開拓したいふやうな氣持でゐては大なる錯誤である、商品を徹底的に知らしむるには餘程の努力を要し需要者の嗜好、趣味、値段商標等々に十二分の研究を要する、仲秋後の取引は匪賊さへ終熄すれば奉天省は昨年より大豆の作柄も一割五分見當はよいのであるから貨車の荷繰も順調に進み悲觀するに至らぬ、既に二三十車は出廻り大麻子も出て來たが、匪賊のため農村からの集散が非常に遲れてゐる、雜貨、棉絲布は滿洲商人の手持品が値上りし、銀高のためにいづれも相當の儲けさはなつてゐる、奉天の發展は何んさいつても保税倉庫の設置にある、保倉さへ出來れば他の事は自然に解決し商取引は勿論のこさ工業も勃興するであらうさ

奉天商議の承認祝電

【奉天】滿洲國承認さ共に奉天商工會議所では十五日武藤全權大使及び執政府宛左の如き祝電を送つた

久しく日滿兩國民の待望して止まざりし我國の滿洲國（執政府宛電は貴國）承認は、本日滯り無くその實現を見るに至り眞に慶賀に堪えざるなり、今後日滿兩國は愈よ親善提携を深くし産業經濟の發達に向つて邁進せられんことを切望す、奉天商工會議所を代表し茲に謹しんで御祝ひ申上ぐ

奉天商工會議所會頭　庵谷忱

旅順市長の承認祝電

【旅順】我國の滿洲國正式承認に[illegible]

事變記念行事　奉天に於る

【奉天】滿洲事變一周年記念日である九月十八日には全滿一齊に各種記念催しが擧行されるが、この事變に最もゆかりのある奉天では全市を擧げ慰靈祭、デモンストレイション、旗行列、提灯行列等が盛大に行はれる、尚そのプログラムは左の通り

九月十七日　一、講演會午後七時より於春日小學校記念講演會を開催す

九月十八日　一、報養祭午前九時於奉天神社（約三〇分）一、慰靈祭午前十時於忠靈塔（約一時間）（式次省略）一、旗行列午前十時三〇分より高等女學校、初等學校、普通學校、公學校、生徒左の順序に依り行進す、忠靈塔…千代田通…驛前…浪速通…軍司令部（萬歲）…神社（萬歲解散）一、記念宴午後零時於女學校講堂（約一時間）（式次省略）一、トラック隊デモンストレーション午後一時より在鄕軍人トラック三〇臺、バス十臺に分乘行進す一、傷病兵慰問午後一時より聯合、佛教、篤志各婦人會員並びに總務委員三名傷病兵を慰問す一、劇場活動常設館開放午後一時より午後五時迄奉天劇場、平安座、奉天館、演藝館開放（軍隊は平安座に招待し婦人團之を接待す）一、提灯行列午後六時より各初等學校（五年以上男生徒）各町內會、居留民會、青年訓練所、其他各團體、浪速通より大廣場に亘る所定位置に集合の上午後六時三十分行進を起し最終地點（忠靈塔境內）において萬歲三唱解散す一、默禱汽笛午後十時を期し一齊に運動を停止し三〇秒間默禱す尚同時に汽笛を吹鳴らす一、其の他（イ）國旗掲揚各戶に於て日滿大國旗を交叉掲揚のこさ尚左記十箇所に日滿大國旗を交叉掲揚のこさ千代田通西端、浪速通西端、忠靈塔前、商埠地境、浪速通東端、加茂町北端、若葉町南端、平安廣場、宮島、日吉町境（ロ）煙火打揚晝間、夜間煙火各三〇發宛打揚のこさ（ハ）感謝狀發送のこさ在奉各團體より軍司令官宛感謝狀發送のこさ（ニ）車馬に國旗掲揚午前七時より九時迄午後一時より二時迄車馬に對し國旗交付並ポスター貼布のこさ

本邦品の商標と特許品侵害狀況（上）
奉天商工會議所調査

【奉天】爾來滿洲において本邦商品に對する支那商の模造品多く、これが爲め屢々本邦商人は支那側當局に對して商標權設定を要求してゐたが、過日本部特許局より滿洲における本邦商品の疑似品調査をなしたが、奉天商議では委囑によりこの程左の如く類似商標を調査した

一、本邦商標並特許品の侵害狀況

奉天に於ける商標侵害は全部化粧品類に對して行はれ、その他の商品に對する商標並に一般特許品及意匠登錄品に對する侵害は、滿洲人側の製造工業が幼稚であるため殆ご問題さならない。これを強て求むれば、最近偶々發見された丸善インキの模造品位である、當地に於ける邦商の取扱ひ商品に對し商標侵害が行はれ始めたのは大正五年頃からであつて、當時多くは賣行の良い化粧石鹼等の商標を模造してゐたが、その後漸次侵害の範圍が擴大され、昭和三年頃からは齒磨粉、クリームの僞造並に模造をなすものが現はれるに至つた

本邦商人はこれらの侵害を防止するため日本政府に於ける商標登錄をなす以外、支那側の特許をも受けてゐたのであるが、支那側の取締りが有名無實の狀態であつたのさ、日本側官憲を通じての交涉が遲々さして捗らず、殊に內地の邦商中にも海外に於ける取締緩慢の隙に乘じ、模造品を或は商標模造のレッテル又は僞造容器その他を部分的に支那側商人に賣込むものがあり非常な打擊を受けてゐたが、事變後憲兵隊、警察を通じ直接僞造者に對し嚴談するやうになつてから、滿洲人側の僞造者は漸次跡を絕ちつゝあり、一般邦商は茲に漸く愁眉を開くに至つた。しかしながら今尚僞造品さして指摘し得られ目下當業者に於いて形勢を觀望してゐるものも皆無ではない。最近迄の侵害事實を列記せば左の通りである。

1、九重石鹼（商標侵害）

●侵害者　大正四年頃長春に於いて一日本人の模造者ありたり　大正十年頃營口において一支那人（同昌源の前身）の模造者ありたり　昭和二、三年頃奉天工業區第二九四號滿洲人同昌源、周長餘　昭和四、五年頃奉天小西邊門外北電車通り東側滿洲人振昌公司

●侵害の事實　前記同昌源、振昌公司等においては九重石鹼に對し九童なる商標を使用しその商標全體の構成施色字體及び容器、包裝等に至る迄全然九重石鹼の商標さ同一であつて、童さ重さはその字形において相類似し支那發音亦相近似し、外觀、稱呼觀念何れの點より觀察するも明瞭に模造品さ看做されるものである。尚最近事變前後より奉天小北門裡、新中國公司に於いて國花なる商標を附した化粧石鹼を發賣してゐるが、これは字形發音は異るが意匠外觀は九重石鹼さ全然同一であり取扱ひ商に於いては目下形勢觀望中である

●損害額　九重石鹼に對する商標侵害は最も甚だしく十五、六年前より最近迄數回に亘つて行はれ有形無形の損害は甚大であるが損害額は算出し難い

●訴訟折衝　奉天商工會議所及奉天總領事館を通じ僞造者の處罰並に製造中止方さ支那官憲に對し前後四、五回に亘つて交涉し事變後憲兵隊を通じ直接嚴談せる結果漸く僞造者の跡を絕つに至つた

遼陽の記念會

【遼陽】遼陽における今日の記念會は日本側關屋時局委員長、滿洲國側楊自治執行委員會長兩氏主催で行事實施につき各箇所各戶日滿兩國旗（滿洲國旗準備なき時は自國旗）を掲揚されたしさ

▲記念奉告祭（イ）神社（午前九時三十分）（ロ）納骨祠（旗行列か納骨祠參拜の時概ね午後二時頃）

▲慰靈祭　午前十時三十分から白塔グラウンドに於て滿洲事變犧牲者の慰靈祭を神佛兩式で滿洲國僧侶も參列の上執行

▲旗行列　日滿各學校生徒及各團體一般市民は午後〇時半附屬地日本小學校々庭に集合交付されたる日滿小旗を携へ午後一時小學校々庭出發昭和通を經て郵便局横を左折泉町を經て忠靈碑に到り奉告祭に參列し、更に泉町から朝日通りに出て師團司令部訪問梅園町より再び昭和通りに出て大和通から幸町を經て本町に出て、左折南鐵門から城內に入り縣公署訪問、公安局前を過ぎ大十字街に出て東街東二道街を經て四大廟前廣場に到り滿洲國側は解散、日本側は引續き北鐵門を出て小學校々庭に歸り解散

▲軍事講演　午後四時三十分から公會堂に於て鞍山獨立守備大隊副官峰岸大尉の講演

▲以上の外日滿鮮の公私團體から關東軍司令官に感謝電を發送、ることゝ、ポスター、パンフレット、ビラ等は一兩日前既に各方面に配付されて居るが旗行列の途中も小形ビラ多數を撒布すさ

鞍山の記念日

【鞍山】本月十八日は忘れるこさの出來ない滿洲事變勃發の一周年當日に相當するので、鞍山時局委員會主催の下に午前十時より小學校々庭に於て日滿戰殁者慰靈祭を擧行するが先づ一同着席、日滿兩國旗掲揚式を行ひ萬歲を三唱して祭典に移るが、梶野神職の修祓、招魂、獻饌、神職祭詞奏上、僧侶讀經、道士讀經、小野寺委員長祭詞奏上、玉串奉奠燒香、神職送魂詞奏上して閉式、それより直に富士通に於て在鄕軍人、青年訓練所中學校生徒の閲兵式あり、小學校々庭に於て簡單なる記念宴を催し午後一時より演藝館に於て守備隊の將兵、警察官を招待し活動寫眞を公開するこさに決定したが、當日は各箇所より小學校々庭まで旗行列をなし製鐵所バンド及有志の手踊を以て湯崗子療養所の傷病兵慰問をなして午後十時にはモーターサイレン及製鐵所汽笛を三十秒間吹奏し一般各家庭に於て默禱せられたしさ

鐵嶺の記念日

【鐵嶺】本日の滿洲事變一周年記念日を迎ふるにあたり鐵嶺では日滿官民聯合の下に左の如く盛大な記念行事を催すにつき全鐵嶺日滿市民は此の記念日を有意義ならしむべく擧つて參加されたいさ

奉告祭　午前九時より神社にて

慰靈祭　同九時四十分より忠魂碑前にて

旗行列　同十時半忠魂碑前出發

傷病兵慰問　慰問品贈呈代表者

默禱　午後十時より三十秒

旗行列は十時四十分忠魂碑前より守備隊に到り引返して機關區驛前鮮銀支店、領事館、櫻町、敷島町、柳町、元町、城內、大手町、北五條通、松島町、地方事務所前にて解散の豫定さなつてゐる

今や入學卒業就職も好調
事變前とは全く逆轉した
奉天同文商業學校

【奉天】明治四十三年の創立史をもつてゐる奉天同文商業學校は昨年の滿洲事變來、日語學科の滿洲國人が多くなり校長宮谷長次郎氏は殆ご席の溫まる間のない忙しさである、本年最大限度の新入生七十名を入學せしめたが、事變前の

排日思想

が盛んな時は六十名の入學者すら募集するに困つたのが、現在では募集人員を超過したさいふ逆轉振りを示し毎年一學期の終りには入學者の四割は退ん得ざるものが數名を算した程度である、卒業生の就職率も新國家が生れたので殆ご引つ張り凧さいふ盛況さである、之までは卒業生の就職さ上級學校――日本へ留學する者のために斡旋をして來た宮谷校長もこれでホッさしたらしい

現在は百數十名の晝夜間學生を教育してゐるが、同文學校の方は三ケ年の修了で本校を卒業したものは日本の專門學校に入學し得る素養をつけられ、日本語は完全に會話もできれば文章も綴るこさができる、然し學校は

宮谷氏が

私立校さして滿洲國人の教育に努めつゝあるので經費も少く教員は三學級一週廿七時乃至卅時間の受持である、校長が廿六時間授業時間の責任を分擔してゐる學校は日本廣しさ雖もこの校だけだらうさいふ、新國家にでも宮谷校長が就職するさなれば高等官に等しい簡任待遇を受ける資格は十二分にあるが、滿洲國人の育英を終生の業さしてゐる氏は一切名利に走らず、益々同文學校のためにそして日滿兩國のために人材を養成するこさに覺悟し、決して右顧左眄しない決心であるさ教員も校長の熱心さに敬服してゐる、學校さして

各縣から

入學を希望する者のために財政が許せば寄宿舍を設けたい考へをもつてゐるが滿洲國さしても多少の援助をする意向であるさもいふ

旅順市議選名簿閲覽

【旅順】旅順市會議員選擧人名簿閲覽は愈々來る二十二日より同二十八日迄七日間毎日午前九時より午後四時迄旅順市役所に於て閲覽される事さなつた、本年の選擧人は總計千六百四十三名を算し前回の千五百八十五名より五十八名を增加してゐる

奉天中學校の野外演習終る

【奉天】奉天中學校では四五年生百八十名に對し去る十二日から鐵嶺に於て壯烈な野外演習を擧行したが四、五年生徒は粟屋、鹿野兩教官、楠崎、菅野兩教諭指揮引率の下に十二日午前八時四十五分發列車で鐵嶺に赴き同日は鐵嶺守備隊に入り先づ隊長の挨拶に對し竹本益重君は一同を代表して挨拶後宿營準備をなし龍首山に行軍、そこで粟屋教官より日露戰爭當時の戰況講話あり更に二時間に亘り前哨動務教育をなす、十三日は非常呼集、十四日は午前四時不時呼集、夜間演習さして靜肅行進、接敵運動をなす、續いて四年生は南軍、五年生は北軍さなり三千米の距離から壯烈な遭遇戰を施行し同日無事歸校した尚射擊會の入賞者は左の通りで至極良好であつたさ

▲五年生　一等後藤一秀（卅六點）二等川岸喜夫（同）三等伊藤久米義（同）

▲四年生　一等向坊隆（卅七點）二等宮永圭萬雄（同）三等吉田正男（卅六點）

旅順の仲秋節　華商決濟圓滑

【旅順】旅順に於ける華商側仲秋の決濟は至つて平凡裡に過ごされ[illegible]

松尾監視隊の記念碑を建立

【錦州】本年一月九日付の古賀聯隊長戰死の日さ同じ錦西北方約四邦里大紅螺山下杜屯にて松尾監視隊長以下二十有七名全く孤立無援になり壯烈なる戰死の遂げた事は未だ記憶の生々しき事なるが、之等勇士の壯烈なる戰死を深く悼み英靈を永久になぐさめる可く記念碑を建立する事に成つた、錦西縣長王在邦氏は進んで發起人さ成り尚自治指導部古館氏委員長さ成り同じく浦部氏、關總務局長、孫教育局長、實財務局長等の諸氏も加はり、之の援助をなすさ尚右記念碑は高さ一丈五尺、巾六尺、工費七百餘圓にて其の內二百圓を西〇團長及び元二十師團長室中將にて寄附し、其の他は發起人に於て全部負擔し碑の前面には松尾監視隊戰死之場所さ西〇團長運筆を揮ふ由、後面は王縣長の筆にて英靈に對する賛元を書すさ、竣工は十月初めの見込みにて竣工の曉は錦西縣主催さなり盛大なる除幕式が擧行せらる、筈だが、之れで錦西紅螺山下の英靈もさぞ喜び安らかに眠むる事であらう

開通城附近で交戰三時間

【開通】九月十二日開通西北方に逃亡中なりし遼西義勇軍は午後二時頃再び開通城に向つて襲ひ來つたゝめに、開通駐屯の洮南守備第二中隊は直に之に向つて交戰したるも敵は機關銃、曲射砲等所持し勇敢に攻め來り一時苦戰に陥りたるも交戰三時間にして漸く之を擊退した、此の戰ひに於て我軍の損害死者二名、八名負傷、敵賊は再び襲來の氣配有り形勢不穩なる爲め十三日午前洮南守備隊山砲隊、第二中隊殘部隊及び江橋守備第四中隊の一半は開通方面に出動した、獨三大隊三中隊は原駐地大石橋に歸還したる爲め目下永戶二騎隊の平賀中隊が之に代り洮南の守備に任じて居る

沿線往來

▲二荒伯（日本少年團理事長）一行十五日新京より來奉

▲小川拓務省事務官　十五日安奉線急行にて來奉

▲有賀滿鐵學務課長　十五日過奉歸連

匪賊の歩哨監視姿をパチリ

各地の匪賊は十五日を期して一齊に各地を襲撃せんさ計劃してゐたが、奉天警察署にては遊動隊を編成し〇〇方面に追擊を試みた、其時高粱畑の蔭にかくれてゐる匪賊の步哨、監視姿をカメラにした

銃後の人達の涙ぐましい活躍
事變を追憶して　南里順生

長春が激戰地であつただけ長春在住者の奮鬪努力は恐らく他にその比を見ないものがあつた、この獻身的活躍さ崇高なる奉仕をしてゐる人たちの紹介を是非したいさ心から願つてゐたが、その總ての人は何れも謙遜して語るこさをさけたものである、然し記者の眼に映じた事も少くないが一番凡ての人を感激させたのは長春健兒團の活躍で、寬城子戰では第一線から擔架で運ばれる負傷兵を後方輸送に手傳ひそれが激戰の度を增すごさに負傷兵の數が增加し前進によつて距離が遠くなる、最初ホンの後方だけを手傳つてゐた健兒團（少年團）が鮮血に染まる負傷兵を目のあたりに見るのでたまらなくなり、衛生隊の勞苦よりも負傷兵への同情から第一線近くまで飛んで行つて衛生隊の手から擔架を奪ふように貰ひ受け汗みどろになつて安全地帶へ輸送する勇氣さ健氣さは煙草をふかしながら戰爭を見物してる人達が小面憎くなつたものである

× × ×

これも寬城子戰であつたが長春長友會（日露戰役出征者により組織されてゐる會）の在鄕軍人、何れも老人組さいはれてゐるが昔さつた杵柄、彈丸の一つや二つは喰つた經の者、經驗があるので戰爭さなればジッさしてゐられないだらうが滿鐵の現業服に銃を擔ぎ襷掛りに彈藥帶を占め現役軍人よりも一步先に、この彈喰へさ闘ふその意氣、それは現役軍人の士氣を鼓舞し青い火、赤い火さ酒に女に陶醉する青年たちに如何によき教訓を與へたか、殊に村田、長崎の諸氏等は武勳赫々たるもので長春人及軍部の感謝を降る樣に受けたものであつた

× × ×

長春佛教團が戰死者の野辺送に盡粹したこさも特筆すべきこさである、忌日々々に懇ろに讀經をあげて靈を慰むる佛業は軍部及一般市民に對してどれだけ安心さ喜びを與へたか知れない、殊に北滿及吉長吉敦線方面から輸送される際なご驛頭に讀經をあげ迎へる人たちを泣かせたものである、長春城內居留民會長田中善平氏は東洋病院を經營しその院長さして二十數年長春に居住するが、戰死者の野戰葬に當つて戰死者の遺髮整理は率先して氏一人が之に當り、負傷兵の治療は軍醫の指示を奉じて徹宵これを看護するなごその活躍は實に偉大なものであつた

× × ×

軍隊の驛頭送迎は事變の長びくさ共に漸く市民の一部から閑却されたが、長春商業學校生徒だけは事變當初から今日に至るまでそれこそ雨が降らうさ雪が飛ばうさ、夜中であらうさ、未だ明けきらぬ朝であらうさ勇壯なバンド奏樂裡に熱心に送迎をつゞけてゐる、市內でも商業生徒のバンドが通れば驛に出ればならないさ習慣づけられた程熱心で、滿鐵地方事務所の連中少しは恥ぢる事なきかさ云はれてゐる

× × ×

長春聯合婦人會、在鄕軍人分會の活躍は事變突發最初から銃後の今日まで一は負傷兵の看護慰問、驛における軍隊の歡送迎、出動軍隊への慰問品募集、現在は大連の滿鐵本社に榮轉したが田邊元吉鐵道路技師長夫人の如きは實に熱心なリーダーであつた、他の一は南嶺寬城子戰當日警察さ共に四戶分會長指揮のもさに各自所定の警戒線につき不安にある市民に非常な力を與へ、殊に四戶分會長は軍の增兵及滿洲國の宣傳演說のため內地を再三訪問し雄辯をふるふなご壯者を凌ぐ健鬪であつた

× × ×

昨年九月十八日（長春は十九日）事變突發から今日まで家も身も顧みず只國家のため働いて吳れた尊い人たち、この人たちに指導、鞭撻されたゝめ事變に際してもよき統制がされたこさを記者は長春のため感謝したいさ思つてます

力強い國民の後援に寡よく衆を制す

本庄將軍の追憶談

前關東軍司令官本庄繁中將は九月十八日の満洲の事變一周年記念日を迎ふるに當り左の如く無量なる感懷の一端を述べた

満 洲事變が起つたのは決して偶然の事ではなかつた、卽ち過去數年の間日本は日露戰爭に結果づけられる當然の權利として満洲に平和的正義の進出を志した、之に對し満洲主權者は日露の役を遠ざかるに伴れ日一日と不法なる排日態度を採るやうになり、最近の東北軍憲に至り愈々その傾向は甚だしくなつた、彼は中央政府と聯絡を通じ英米さへ引つ張り出せば日本はどうでも成ると言つたやうな革命的外交をとり無謀なる排日は昂じて侮日となり日本帝國の如何なる友誼的勸告たも耳にしなかつた

正 義の進出と不法なる拒否、當然過ぎる程當然なる兩者の衝突がなければならぬ充分な情勢であつた、之に彼の萬寶山事件が勃發し中村震太郎少佐虐殺事件が續發し兩者の感情は彌が上に尖鋭化されたのである、この事件の時既に満洲は一事件起らねばならなかつた、然し永い間隱忍自重して來た日本帝國は切齒扼腕の裡に忍ぶべからざるを忍んだのである「おのれ今一度やつて見ろ、今度こそは一泡吹かせてやらう」とは內地人もだが在満同胞は三歳の小兒迄悲憤の血を湧かして考へてゐたことろである、斯うした

危 機に直面してゐる去年の八月、私は關東軍司令官として同地に赴任した、越えて翌月の十八日突如として彼の柳條溝事件が起きたのである、排日も我慢しやう侮日も亦忍ぶべし、然し在満同胞の護りである陛下の軍隊が侮りを受ける時に、もう凡ゆる自重は吹つ飛んだ、況して萬寶山事件特に中村少佐慘殺事件以來憤懣に燃えて居る在満同胞であり、軍隊である軍本然の防衛手段として直に對抗した、旣に戰機は開いたもの、私は國民の向背如何を非常に氣に病んだ、處が幸ひにも私の憂ひは杞憂に過ぎず

國 民の輿論は翕然として東北軍憲を膺懲すべしと一致した私は武人としての生涯を通じ此時程嬉しかつた事はなかつた、國民のお聲掛りなら、もう大丈夫である、それからの軍の力といふものは寡兵ではあつたが云ひ知れぬ偉大なる力がグン〳〵と我等の行く手を切り開いて與れた、そうして今日の大勝を得たのである、私は戰爭の最中幾度か熱誠なる內地同胞の後援に淚を流して感謝した、誠に今日あるは、陛下の御稜威の然らしむる處であるは言はずもがな八千萬同胞の一致協力一丸となつた心の塊があつたればこそである、斯うした間にあつて三千萬

決 満洲の住民はどうであつたか、それ以前より永い間軍閥の苛斂誅求にさいなまれ來つた彼等である、軍憲を討ち兵匪を掃ふ日本軍を全く神の降臨の如く歎慕した、そして當初は軍で治安の維持だけをやつて居たが段々満洲首腦相集つて治安維持から自治制に移り遂に今日ある満洲新國家まで漕ぎつけた今や満洲國は三千萬民衆が幾十年の永い間一致相求め來つた欲望の理想國家である、必ずやのびやかに成長し發達し日本と共に

東 洋平和の大事業を完成するであろう、然し之からが最も重大且つ至難である、私は今事變一周年記念日を迎ふるに當り今日上下相一致する國民の對満觀念を益々鞏固にし日清、日露の兩役をして有終の美あらしめよと、八千萬同胞に切に御願ひしてやまない次第である斯くてこそ今日南北満洲の野に相果てた幾多忠勇なる將兵の英靈も亦永遠に瞑し得るであらうるべきことゝを打電した

中央公園満俱球場でけふ満洲事變記念式

兩神社忠靈塔に奉告使參向 慰靈祭を行ひ旗行列

柳條溝の一夜、轟然あがつた正義の狼火は遂に満洲事變の發端となり延いては満洲國の獨立となつて東亞人類の平和を招來した、その一周年を迎へ大連三十萬市民の擧げて祝ふ記念式は十八日當日午前八時半から中央公園満俱グランドに於て擧行、この日參加人員約五萬の豫定、三發の煙火を合圖に開式し岡野總務委員長開會の辭を述べ國歌を合唱、小川會長式辭を朗讀し次いでこの擧式を大連神社、北沙河口神社、忠靈塔に報告すべくそれ〳〵奉告使參向し、一方內閣總理大臣、陸海軍、外務各大臣關東軍司令官、關東長官、満鐵總裁あて感謝電を發送、引き續き満洲事變以來満洲、上海、天津に於ける一ケ年間の軍人軍屬、警察官満鐵社員その他一切の犧牲者に對する慰靈祭を執行し、竹內大連民政署長の發聲で萬歲を三唱の後、旗行列に移る、この行列には各小學校、女學校、實業學校、在郷軍人を始め各團體約三萬名參加、樂隊および騎馬隊を先頭とし忠靈塔前を通り虎溪橋を渡り壹岐町、若狹町、三河町を經て西廣場に出で伊勢町、浪速町、大山通、山縣通紀伊町を過ぎ満鐵本社前を大廣場に出で神明町を通り大連神社に至る行程五千米を蜿々長蛇の列をなして行進し萬歲を三唱し解散する更に午後零時半よりは神明高等女學校雨天體操場に於て記念宴を開き夜は協和會館に於て本社主催の記念講演並に映畫が上映され、事件發生の午後十時には三十秒間船舶、各工場は汽笛、寺院教會は梵鐘を鳴らし車馬、行人は運行を停止し默禱する、なほ中等學校以上の學生は午前三時より聯合記念訓練を行ひ婦人團體聯盟および教化團體聯盟は傷病兵慰問金の街頭募集を行ふ豫定である、また記念式擧行の時刻には會場を中心として記念飛行も行ひビラを撒布し氣勢を添へ九月十八日を有意義に記念することゝなつた

感謝電を發す

撫順炭礦事件に關し満鐵では十六日午後一時半、林總裁の名をもつて守備隊長、警察署長に感謝電を發し、かつ炭礦長に見舞電を發し、殉職者、遺族を弔問かつ供物を供へ又負傷者に紅白葡萄酒を贈

荒れ野と化した燒け跡を往く

殉職社員の無殘な骸

十六日午前六時夜の明くると共に撫順市街を見れば南方楊柏堡採炭所は露天掘事務所全燒せるをはじめ現場事務所、安全燈室瀨戸窯室及び警官派出所等も燒失、社宅は

殘らず破壞

されてゐる、また東岡露天掘事務所全部老虎臺採炭所は現場事務所安全燈室等いづれも見る影もなく燒け落ちて近代鑛山の美觀と偉大を誇つてゐた炭坑も一夜にして荒野と化した、しかもこの間、楊柏堡採炭所長渡邊寛一氏が鈴で滅茶々々に突き刺されて東岡華工社宅の廊下に悲壯なる死を遂げてゐるをはじめ楊柏堡社宅附近には耳を削り落とされて燒死せる満鐵社員平島喜作氏大藤氏

母堂が刺殺

されて……の刺殺死體電氣係日本音二（三）の氏……等が事務所の燒跡から發見され、……等全く目も當てられぬ慘狀を呈してゐる、この外東郷坑土木……氏、加藤作三郎氏、守備隊上等兵……山田上等兵は負傷して入院中である【撫順電話】

満鐵、見舞人急派

殉職者に弔電を發す

満鐵社員會では十六日の撫順炭礦襲撃事件の報に接して撫順炭礦長あて左のごとき弔電および見舞電を發したがさらに十六日夜行で松浦共濟部長、松浦共濟部長の兩氏を急派した、なほ右兩氏は歸途奉天に立寄り某方面と重要懇談を行ふ

……

◇負傷者宛　昨夜匪賊の襲撃に依り東郷採炭所土橋貞敏、加藤作二郎老虎臺採炭所佐藤辨作氏等各位不幸負傷せらる、切角御養生を祈り一日も早く全快せられむことを希望し玆に御見舞申し上ぐ

け多大の被害を蒙りたる由社內上下各位の御心痛並に家族御一同の御心中御察し申上ぐ

其の際渡邊楊柏堡採炭所長東郷採炭所高口、口元吉、不島喜作氏等の各位壯烈悲壯なる最後を遂げ職に殉ぜられ洵に哀悼に堪へず

明治神宮に參拜し同僚の冥福を祈る

撫順の匪害飛報におごろく 満鐵の東京支社員

【東京特電十六日發】撫順東郷坑その他に匪賊襲來、満鐵社員死傷の報に接し、満鐵東京支社に於ては驚愕措く所を知らず、直に見舞電報を發し勤務時間後の午後五時より緊急協議會を開き、大淵支社長、平山庶務、橋本經理兩課長外全支社員集合の上、この際東京並に列車運行に關係ある現業社員に對し、互に薄給を割き第二回慰問金を贈呈し、併せて明十七日朝明治神宮に參拜し同僚社員の健康を祈り護符一千枚を拜受し、これを十八日渡滿の途につく橋本經理課長に攜行せしむることを決議した、尙満鐵支社員が出征、凱旋のわが皇軍を送迎しその戰死者の遺族慰問等を爲すことは寔に隱れたる美談といはれてゐる

損害輕少

撫順事件被害

撫順炭礦事件の被害はその後炭礦事務所よりの電話によれば左のごとくであるが大體古いバラックで損害額は比較的輕いと

一、老虎臺採炭所（現場事務所および安全燈室全燒）
二、東ケ岡坑（坑外設備全部燒出）
三、楊柏堡（露天掘事務所全燒）
四、東郷南坑（現場事務所安全燈室勞務係員室および日本人社宅一棟燒失）

清水課長赴撫

満鐵商事部庶務課長清水豐太郎氏は撫順事件の殉職者遺族並に負傷者を弔慰し葬儀に列するため十七日午前九時大連發列車にて出發した

匪首仆る

奉天で首實見

大孤山にある満洲國軍奉天歩兵第一旅軍は十五日未明襲撃し來れる鄧鐵梅の率ひる匪賊を撃退、激戰の後約五十名を斃し三十名を捕虜としたが右戰死者中に大刀會旅團長月成州の死體を發見した、月は今春來大刀會匪を率ゐ安奉線一帶に擾居し鮮農を虐殺暴行の限りを盡した匪賊でこれを斃した第一旅第一衛の功績は大きい、近々同軍の手より月の首を奉天に持參の筈【奉天電話】

全満各地の催し

全満各地に於て満洲事變記念のため計畫せる記念催し物は左の通りである

旅順　國旗掲揚、白玉山納骨祠前の慰靈祭、旗行列、講演、映畫會、汽笛吹鳴、默禱、感謝電の發送

大石橋　新聞ポスター宣傳、表忠碑參拜及報告祭、慰靈祭、旗行列、模擬演習、記念宴、講話、默禱、傷病兵慰問、感謝

營口　國旗掲揚、神社祭典、忠魂慰靈、記念宴、默禱

瓦房店　三日満國旗掲揚式、默……

鞍山　忠魂碑除幕式、記念式、旗行列、記念宴、映畫、支那芝居、默禱、講演會

遼陽　記念奉告祭、慰靈祭、旗行列、講演、謝電發送、汽笛吹鳴、默禱、撮影記錄

奉天　報祭、慰靈祭、旗行列記念宴、デモンストレーション、傷病兵慰問、劇場、映畫館の開放、提灯行列、記念放送、祝賀會、煙花打揚、記念講演班組織

安東　表忠碑報告祭及慰靈祭、旗行列、記念宴、軍隊に感謝の……

撫順　報告祭、守備隊感謝狀、安表忠碑記念祭、慰靈祭、祝賀宴煙火、相撲

……挨拶、傷病者慰問、戰死殉職者遺族慰問、記念講演會、劇場無料開放、汽笛吹鳴、默禱

鐵嶺　報告祭、慰靈祭、旗行列記念祝宴、默禱、講演と映畫の夕、傷病兵慰問、感謝狀發送

開原　奉告祭、慰靈祭、旗行列講演會、感謝狀發送及代表者派遣、軍人家族慰問、記念祝宴、默禱

公主嶺　國旗掲揚、感謝狀發送、神社奉告祭、旗行列、記念映畫會講演會、慰靈祭、遺家族者慰問、慰靈祭、記念宴

熊岳城　國旗掲揚式、報告祭及慰靈祭、旗行列、酒宴

四平街　軍事講話、報告祭、慰靈祭、旗行列、現役兵慰安映畫會及無料開放、祝賀會、國旗掲揚、謝電發送、汽笛吹鳴、默禱

新京　慰靈祭、旗行列、記念會戰跡訪問マラソン競走、提灯行列、默禱、映畫、國旗掲揚、傷病軍人慰安會、電飾、各戶に提灯

吉林　國旗掲揚、謝狀發送、慰靈祭、默禱、講演會、記念宴、旗行列

ハルビン　慰靈祭、傷病兵慰問、軍事講演會

チチハル　慰靈祭、講演會、記念宴、慰安會、奉納武技、默禱

沿線警備へ

應援警官出發

撫順における匪賊襲擊により關東州より應援警官を出動さす事となり當大連よりも大連沙河口小崗子各署より選拔された約五十名は十六日午後九時半列車で北行したが周水より選拔旅順署應援部隊約二十名、更に普蘭店、瓦房店よりも出動、併せて〇〇〇名が鞍山、奉天の警備に當る事となつた、驛頭には石井大連、三浦沙河口、門脇小崗子、今井消防各署長をはじめ署友家族多數この門出を見送り、壯な萬歲の聲におくられて威風堂々と出發した、なほ大連署よりは澀谷警部補が二十名を鞍山に、松尾部長が十名を鞍山へ、小崗子署は立石部長引率のもとに鞍山へ、沙河口署よりも松田豐嶋兩部長に引率され奉天鞍山に向つた【寫眞は大連驛にて】

ハルビンを非常警戒

共產黨が策動

【ハルビン特電十七日發】九月十八日記念日を期して共產黨満洲小委員會が中心となり市內外呼應してハルビンを擾亂化する計畫あるを探知した當地軍警當局は十六日以來警備打合せをなし十七日夜から十八日にかけて非常警戒をなすこととなり日満軍警は市中及び郊外を江防艦隊はハルビン附近松花江を戰時武裝にて防備することゝなつた

晝食中の匪賊を不意に襲ひ擊滅

興隆店附近の部落で

奉天西方六里奉山線興隆店驛の北方小部落に約一千名の匪賊を率ゐる占東洋が奉天を襲撃する計畫ありとの報に三宅中佐は正木一雄小僕の案內で十六日午前二時荒井討伐隊を晴發に乘じ攻擊東北抗日請勇軍第四旅綠林、林好その他の部下約三五百が晝食中不意を襲ひ交戰約三十分敵匪に大打擊を與へ敵は六十五の死體と多數の武器を遺棄し潰走した、死體中職長吳海峰がゐた鹵獲品中抗日騎兵第四十七旅旗一本と東北民衆救國獨立第二職旗その他小銃彈藥多數、この戰鬪で秋田縣山東郡八森村上等兵初內利雄は輕機關銃手として奮戰三度敵彈を受け胸部貫通銃創を受けたが屆する色なくこれ位のことでは死なぬと銃把を握り射擊し敵陣に多大の損害を與へニツコリ笑つて名譽の戰死をした荒井隊長以下戰友は彼の靈を祭りその勇猛心に驚いた【奉天電話】

展望車

大衆雜誌富士十月號が飛拔けて面白い名篇傑作をよくもこんなに集めたものと到る處大評判で、早く買はぬと買ひつからぬとは時節がら嬉いたもの。

入江丸審判

……船家庄で遂……

……北満の經濟事情視察に赴いてゐた前三井物產大連支店長渡邊久井誠一郎君は、空中から一瞥した北満の農村の有様を……

……

遼海丸歸港

長山列島の海賊討伐のため去る十三日出動した水上署所有遼海丸は十七日午前八時歸港したが海賊は遼海丸の出動と聞いてか風を喰つて逃亡莊河縣より陸地に逃げ込んだらしく遂に目的を果し得なかつた

客を裝ひ盜む

十六日午後二時ころ市內吉野町名古屋館止宿上野義男（二）を大連署河野刑事が引致取調べると去る三日夜市內山縣通三四番地麻雀俱樂部錦龍の帳場へ客を裝ふて侵入し現金二十七圓を窃取した旨白したが餘罪多數の見込みで引續き取調中

金州海水禁止

十四日解禁された金州西海岸海水使用禁止は十六日西海岸龍王廟屯に眞性コレラ一名發生せるため解禁三日にして十七日より再び同海岸一帶の海水漁撈が禁止された【金州電話】

グ機不時着水

【東京十七日發】グロナウ機は今朝九時三十五分霞ケ浦出發名古屋に向つたが、十時五十分鳴海の海岸に濃霧のため不時着水した

神明追悼式

大連神明高等女學校では物故した卒業生、生徒並に職員の追悼式を來る二十日午後一時より同校內において舉行するにつき遺族、舊職員、同窓會員等多數の參拜を希望してゐる

大連刀劍會

十八日午後一時より遼東ホテル樓上に於て第二十二回刀劍研究會を開催する筈であつたが當日は事變一周年記念に相當するので二十五日に延期した

曙の鐘 (410)

倉田潮　河野想多畫

秘密の庫(五)

平津はあけみの持つて來た二つの瓶を凝視した。一つは紅く他は白く、紅い方はアルコールの臭がして、他は無臭であつた。が、中に這入つてゐるものが何であるかは平津には解らなかつた。

「紅い方は父の血ですのよ」とあけみは説明した「白い方はインデアン、ヘンプと云ふ麻痺性の毒藥ですわ。その二つでお夏が父の死に眞の原因を與へたものでないことが解るのですわ」

「お夏は動脈を切つたとあなたは云ひましたね」

と平津は驚きを押し隱して問ひ返した。

「さうです。お夏は父を殺さうとして、その動脈を切つたのです。でも、その時旣に父は何者にか殺されて死んでゐたから、お夏は死體の動脈を切つたと同樣、眞の殺人犯にはなりません。勿論殺意さへあれば其の着手さは罰せられるでせう、

紅い液體の這入つた瓶は父の血液ですが、その中には確にインデアン、ヘンプが這入つてゐますのよ。それにあの夜旣に一人の醫者は父の死因を毒殺だと鑑定したくらゐですし、その後の死體解剖の結果もその事實を證明してゐます。たゞお夏が飛び出してしまつたので、その鑑定が今は誤診のやうに思はれてゐるのですわ」

「たゞそれだけでは誰がその毒藥をお父さんの體內に注射したか、想像はついても證明はつかないではありませんか」

「その證明を最もよくつけることの出來る人は、平津さん、あなたをおいて外にないのですのよ」

さあけみは膝をすゝめた。

「何うしてです」

「何うしてだなぞと私にきくより平津さん、あなた自身がすでに本當の心の底では確にそれさ知つてゐる筈だと思ひますわ。たゞあなたとその女の方と昔許嫁の間であつたので、それが無意識に心に働いて今迄その女を許して訴へなかつたのみか、この私に罪をかづけようとなされてゐたのでせう。もしおりうと芳川が」

と初めてあけみは二人の名を云つた。

「もしおりうと芳川が父を殺した犯人であり、現場に忘れた藥を私にひろはれた當人でないならば、何であなたとよもぎさんを私と壯三と間違へて永質めにして殺さうなど、云ふ飛んでもない計畫をするでせう。さ、平津さん、あなたこそ先づ第一に、より子と芳川を訴へべき人間ではないですか。それをなさらぬ以上、あなたは眞の義人ではないのみか、昔の戀に心をひかれる甘い男です」

さあけみは片頰に眞劍な色を浮べ、片頰に嘲笑を浮べて平津につめよつた。

が、完全な殺人犯にはならないと思ひますわ」

「では、誰か……誰があなたのお父さんを殺したのです」

「そのインデアン、ヘンプと云ふ藥をお夏が動脈を切るより前に父の體に注射した人ですわ。糊膏にもその時犯行に用ひた藥を現場に忘れて行きました。餘程氣がせいた爲めでせう。それを私が、それその白い方の瓶ですが、私がひろつて持つてゐるんですのよ」

「ふーん、その人にあなたを……」

と平津はうなつた。あけみは聲をひそめて

「何です」

「その人にあなたはその犯人から狙はれたこともあるだらうと想像したのですよ」

と平津はかつてよもぎと共に、あけみと壯三と間違へられ、危ふく殺されさうになつた時のことを思び出した「さうだ、彼奴等だ」

「あなたにもその犯人の想像がつきましたか」とあけみは嚴かに言葉をついだ「あなたの聰明をもつてすれば恐らく想像がつくことだらうと思ひます。犯人は男女二人ですわ」

「證據があるのですか」

「勿論、證據はありますわ、その

柳壇

「匪賊」

高橋月南選

善隣店　上地せつ子

匪軍の洗禮受けて列車着き

學良も元を洗へば匪賊の子

匪賊の子坊にもピストル呉れさ泣き

奉天　笠原　青蛙

襲撃を待つ間土嚢で一休み

爆音に高梁畑は波を打ち

大連　桐生　孔二

喰はんため匪賊になつて陽を恐れ

匪賊にも一分の情傘を貸し

掠奪に匪賊勇敢な腕を見せ

大連　中薗　最治

その跡支那街に處女はなし

出世した巡査は匪賊の出たお蔭

大連　高橋　竹雪

人質を逃して匪賊の飯が減り

匪賊閑陸にかくれて紅一點

奉天　高見不二夫

爆彈に木ッ端微塵の匪賊隊

日章旗輝くところ匪賊なし

大連　廣岡　天來

飛行機が飛べば匪賊も旗を振り

にが笑ひする頭目へほくそ笑

雨の日を拗ねて匪賊の驕く銃

大連　高木　滿山

逃げ狂ふ匪賊へ笑ふ月の冴え

討伐に向つて二機の氣は揃ひ

見逃しの出來ぬ匪賊へ裝甲車

山海關　長谷川申治

蟷螂の斧を小癪に匪賊振り

匪賊橫行高梁が伸び切つて

同　松尾　春山

匪賊等は命を的の荒稼ぎ

曠原の淋しき村は皆匪賊

同　杉浦　田甫

張學良元をた丶せば匪賊の子

同　上倉　都一

觀念の匪賊の首に日本刀

天命がつきて匪賊は手を合せ

○選者賞

「一周年」

高橋月南選

安東　岩間　茂義

一周年迎へて學良また怒り

大連　三井ゆき子

恥しき丸髷も馴れ一周年

ヒシカ　小口喜一郎

爆發が新國家となる一周年

大連　遠江　巘江

新國家一周年から一人立ち

鞍山　沼田　大耕

照り降りはあれご王道一周年

旅順　秀島　柳蛙

一周年亡き子を忍ぶ老ひの母

愛の巣を數へて見れば一周年

大連　渡邊　雨明

歸りたい氣もする家出一年目

學良の當てが外れて一周年

撫順　上田　闘朗

新國家淚新らたな一周年

奉天　山元　不動

いさゝかの寸志もそへて一周年

日記帳去年の今日の大理想

生活へ一周年の皿やつれ

大連　厚田　孤舟

一周年濟ました母はよく眠り

自句

大連　三井三千男

匪賊來マッチで地下室一夜明け

歸順した匪賊三度の飯を喰ひ

身代金匪賊仲間にちつさもめ

匪賊の子欠っ張り匪賊になると決め

滿日俳壇 募集規定

次回課題「長き夜」「虫」「栗」

▲句數無制限▲用紙半紙型のもの▲各題別紙▲楷書大字にて明瞭に書くこと▲締切九月二十日▲投句先、封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

第八回 滿日特選碁戰

互先 先番 四段 小杉丁
四段 小島春一

【1】

黒		白	
一	ハの四	二	ニの十六
三	タの三	四	ホの十三
五	タの五	六	ヌの十三
七	タの十七	八	タの十四
九	レの十五	十	タの十五
十一	タの十六	十二	レの十四
十三	ソの十五	十四	レの九
十五	ニの五	十六	ハの十
十七	ハの八	十八	ニの十四
十九	ヌの十七	二十	チの十七

對局者の感想

黒曰く　黒一一では一二に打たうかと思ひましたが其時白一一黒（レの十六）白（ヲの十七）となつて對隅白二との具合がよくなりますのでわかり易く突留りました。

白曰く　白一六は今一路（への九）迄進まうかと思ひました

けふの放送

大連 JQAK　九月十八日

▲午前八時二十分　滿洲事變一周年記念會實況放送（滿倶グラウンドより中繼）

▲午前十一時四十分　滿洲事變一周年記念放送（奉天放送局より中繼）

▲記念放送開始の辭　關東軍司令部附陸軍步兵少佐堤雄平

▲講演「柳條溝の爆破に就て」獨立守備步兵第二大隊第三中隊河本末守

▲講演「柳條溝の爆破鐵路修理實話」滿鐵修理班班長三宅善平

▲講演「獨立守備隊步兵第二大隊第三中隊長として北大營攻擊談」獨立守備步兵第二大隊副官川島正

▲講演「南嶺の攻擊に就て」獨立守備步兵第一大隊第三中隊武田定治

▲講演「滿洲建國に就て」關東軍司令部附陸軍少將板垣征四郎

▲建國頌歌君が代（二唱）奉天市政公所音樂隊

▲ニユース

（大連放送局より）

▲午後三時三十分　ニユース

▲午後六時十分　ニユース

（以下內地中繼六時三十分）

本庄中將歡迎の夕（東京府市商工會議所共同主催）

▲挨拶　東京市長永田秀次郎

▲天皇陛下萬歲　東京府知事香坂昌康

▲帝國陸軍萬歲　商工會議所會頭男爵鄕誠之助

▲挨拶　陸軍中將本庄繁

▲講演「戰歷紹介」

（一）嫩江河畔大興附近の戰鬪に就て　陸軍步兵大佐濱本喜三郎

（二）南嶺激戰の回顧　陸軍步兵中佐小河原浦治

（三）馬占山討伐に於ける騎兵の行動　陸軍少將山內保次

▲吹奏樂（一）行進曲「聯隊」モルネノ作（二）軍歌「北大營」川上淸作詞、戶山學校軍樂隊作曲（三）行進曲「英雄」スザンヌ作（四）軍歌「嗚呼我滿洲」巖谷小波作詞、戶山學校軍樂隊作曲（五）意想曲「攻擊」山本重三郎作（六）「東京市歌」高田耕甫作詞、山田耕作々曲、陸軍戶山學校軍樂隊、指揮樂長伊藤隆一

▲君が代（一同）指揮陸軍戶山學校軍樂隊

▲閉會の辭　東京市教育局長藤井利譽

（以下奉天放送局より）

▲講演「滿洲事變に就ての所感」關東軍司令官武藤信義

▲講演「滿洲事變一周年の所感」奉天市長閻傳紱

（以下大連放送局より）

▲ニユース

▲氣象通報

▲午後九時三十八分（奉天放送局より）

▲講演「獨立守備步兵第二大隊長として北大營の攻擊回顧談」哈爾濱憲兵隊長憲兵大佐島本正一

戰爭童話 三つの星

島田はるを作

九月十八日のま夜中から滿洲で支那の惡い兵隊と日本との大變な戰爭がはじまりました、そして日本の內地からもたくさんな兵隊さんが惡い支那兵と戰爭するために、どんどん滿洲にお船でわたつてきました、みんな重たいてつかぶとをかぶつて、さむくないやうに毛のついたがいとうを着て、支那兵なんか一うちにうち破ると大變な元氣です、吉平さんもてつかぶとと毛のがいとうをきて、なつかしいお母樣のゐるいなかの聯隊から滿洲にわたつてきた兵隊さんでした、いなかを出るとき吉平さんは一等兵でした、ですから吉平さんの肩には黄色い星が二つついてゐました、お母さまにお別れにいつたとき

「お母さま、きつと滿洲で惡い支那兵の首をたくさんとつて、今度歸つてくるときには、星が三つの上等兵となつて歸つてきますよ」

とごあいさつをしました

「ほんとうに立派なはたらきをしておくれ、吉平さん、おまへのお父樣は日露戰爭のとき旅順で大へんなてがらをたて、立派な戰死をなさつたのですよ、お父樣はお星さまが三つ肩についてゐましたよ、吉平さん、お前もお父さまにまけないやうな、立派なてがらをたてておくれ……」

とお母さまは吉平さんをはげましながら、停車場まで吉平さんを送つて下さいました。

吉平さんはほかの兵隊さんと一しよに大連の港についたとき、隊長さんに

「旅順はどちらです」

とたづねました、そうして、おしへられた旅順の方にむいて

「お父さま、私はお父樣にまけないやうな立派なてがらをたてます、そして上等兵になつて、星を三つ肩につけて、お母さまをよろこばせます」

といひました、吉平さん達はすぐ汽車で奉天よりも、長春よりも、もつともつと遠いところへ行き度々支那兵と戰爭をしました、そこは零下三十度もして、身をきるやうな北風がいつもいつも吹いておりました、それでちよつとでも氣をゆるめるとすぐ凍傷になつて手や足や、鼻のさきがまつかになつてやけどをしたやうになつてしまひました、けれどももつと油斷のならないのは、吉平さん達日本の兵隊さんがゐるところの近くには大變強い支那の兵隊がかくれてゐることで、何時ふいうちをしてくるかわからないのです、それで吉平さんたちは、寒い寒いま夜中でもかわるがわるねむらずに番をしなければなりませんでした、或晩、吉平さんは仲間の十五人の兵隊さんと一しよに附近のみまわりに出ることになりました、その晩は又大變寒い晩で、とてもまつすぐに歩けないほど、强い北風が吹き、その上こな雪さへヒユウヒユウと顏にぶつかつて來ました、一時間ほど吉平さん達は歩きまわりました、すると少しはなれた小さな支那村のはづれにチロチロとたき火のあかりが見えました

「あやしいぞツ、敵らしいぞ」

と隊長がいひました、そして

「みんな靜かに、出來るだけそばによつて見ろ」

と命令しました、吉平さん達はこほつたやうになつてゐる地面をはうやうにして、そうつと村に近づいて見ると、やはり隊長がいつたやうにそれは恐ろしい顏をした支那兵が二百人程ゐました、そしてあまり寒いのでねむることが出來ず、たき火をしてゐたのです

「よーし、やつつけてしまへ、一人だけ本隊に連絡に歸れツ、こちらは十五人、敵は二百人、死ぬかくごでやれツ」

と又隊長が命令しました。そして又靜かに敵と近よりました

「機關銃先頭となれツ」

うんと近づいた時——

「うてツ」

命令一下、吉平さん達は一せいに機關銃と鐵砲をうちはじめました不意をうたれた敵はたちまちバタバタと倒れました

「アイヨーアイヨー、日本兵日本兵」

と敵はさわぎ立てました、けれども日本兵が少いと思つた敵は、急にいきほひよく打ちはじめました何といつても敵は二百人です、吉平さんたちも一生けんめいに打ちましたが、なかなか進むことが出來ません。

その時、吉平さんは考へました

「お父さまにまけないやうな、てがらをたてるのは今だ……」

そうして突然雨あられのやうに飛んで來る彈丸の中を、矢のやうに早くはしつて、敵のすぐ目のまへにつみあげてある、こうりやんの山にとび上りました

「進め、まけるなツ」

吉平さんは大きな聲でどなりました、そして鐵砲を高くさしあげました。

「吉平をころすなツ」

日本の兵隊さんたちは口々に叫びながら突撃しました。その時敵の彈丸は、かわいそうに吉平さんの胸をつらぬいてしまひました

「天皇陛下ばんざ——い」

吉平さんは高らかに萬歲を叫んでこうりやんの山の上でとうとう勇敢な戰死をしましたが、日本兵は大勝利をしました。

吉平さんは陸軍歩兵上等兵に進みました、肩のお星が三つになつたのです、吉平さんのお骨がいなかのお母樣のところへ歸つたとき、お母樣は新らしい黄色い星が三つついた肩章をお骨の上にのせて

「吉平さん、お前はお父さまにまけないやうな立派なてがらをしてくれました」

といつて、大變立派なお祭りをしました。

コドモハ正直

はぐ・やすを画

連續漫畫 ボンヤリボン助 セイチャン サイ坊

1 ハヤクオキナイト ガクカウガオクレマスヨ モウ七時半ヨ イツマデネテルノ
ケフハ ニチヨウデヤナイノ? ツマンナイナー
2 オカアチヤン シヤツガキラレナイヨウ
ボウシヲカブッテルカラデスヨ
3 ボン助サン ドウシテオクレタノデスカ イヒワケヲイッテゴランナサイ
エート エー
4 フエー!!
ワカリマシタ モンヲハイルトキ カネガナッチヤッタカラデース

ケフ ノ ヅグワ

ケフ ハ リッパナ イス ノ エ デス ミナサン ノ オモフ ヤウ ニ クレイヨン デ テイネイ ニ ヌッテ クダサイ

子供の喧嘩に 兵隊さん 世界で始めて

運河で有名なスエズのそばのポートサイドの町で最近大へんな爭ひがおこり、町の中でピストルをうちあつたり、刀できりあつたりして大變人が死んだりケガをしたりしました、そしてやつと兵隊がでてきてをさまりましたがこの市街戰のもとは小さな子供二人のけんかなのです、はじめ子供が二人道ばたでけんかをはじめました、そして一人がまけかけたので、その子のお父さんが出てきてあいての子供を泣かせました、そうすると又泣いた子供のお父さんがでてきてお父さんどうしのけんかになりました、そのうちに兩方のお母さんがけんかにくわはり又兩方の町の人が兩方にかせいに出てきて大變なけんかになりました、そのうちにその附近を通行してゐた人々も兩方に分れて助太刀をはじめとうとうピストルがなつたり、刀がふりまはされ出しました、このことを聞いた町のおまわりさん達はさつそくかけつけましたが仲々をさまるどころかだんだんひどくなります、さうしてとうとう兵隊さんまで出ることになり、やつとをさまつたのです「子供のけんかに親が出る」とはよくいひますが「子供のけんかに兵隊さんが出た」のは世界中でこれがはじめてださうです

ロシアに 快速汽車 一時間に百七十マイル走る

ロシアでは最近大へん科學が進んで來ましたが、先ごろ「陸上ツエッペリン」といふ早い汽車がつくられました、この「陸上ツエッペリン」はモスクワとレニングラード間を一時間に百七十五マイルの早さで走る汽車です、考案したのはロシアの技師でグロコフスキーといふ人で、汽車とこの汽車のための特別のレールをつくる費用を全部あはせて二百萬ドルもかゝりました、この汽車は一そう早くはしるために前と後にモーターがついてゐて、モスクワ、レニングラードの間をたつた二時間ではしつてしまふさうです

自轉車で世界一周 インド人が

この間印度人ロンドン健康協會、ニユーヨークオリムピアン協會々員といふ長いかたがきを持つたアリボイ、ラムワラ君といふ人が横濱に到着しました、ラムワラ君のお荷物といへば小さいリユックサックと自轉車が一臺きりでした、あまりお荷物が變なので、横濱港のお役人がしらべて見ますと、ラムワラ君は自轉車で世界一周をしてゐる人で、ちようど日本へたちよつたところでした、ラムワラ君の話によると、三年前の夏英領東アフリカのナイロビといふところを出發地として、今日までに二萬マイルを自轉車でのりきつてきたのださうです、これから日本を矢張り自轉車で縱斷して長崎へ出て、支那にわたる計畫ださうですが、これから又ナイロビに歸るまでには三四年かゝるさうです。

デブのため 命拾ひ

イタリーの首府ローマに住んゐるピエーラといふ人は大變よくこえて、附近の人からデブ先生といはれてゐましたが、或る日、犬をつれて鳥うちに出かけました、ところが木の根にひつかゝつてたほれたひようしに鐵砲から彈丸が飛びだし、ズドンとお腹にあたりました、デブ先生はしばらく倒れたまゝ苦しんでゐましたが、ちやうど通りかゝつた人がデブ先生を見つけてさつそく病院にかつぎこみましたが餘程大へんなきずだと思ひのほか、デブ先生があまりこえてゐたため彈丸は中まで通らず皮から少しばかり入つた脂肪の中で止まつてゐたので、おなかの中のごうぐは少しもいたんでゐませんでした、走つたり、かくれんぼうをする時にデブは非常にそんをしますが、こういふときは反對に大變とくをするものだとイタリーではみんなうわさをしてゐるさうです

こどもの考へもの 第十二回 この人は何をしてゐるのでせうか

皆さん寫眞をごらんなさい、この人はハンドルをにぎつてゐますが何をしてゐるのでせうか、わかつた方はハガキで大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄」係あて、來る二十五日までにお答へ下さい、當つた方二十名にいつもの樣に褒美を差上げます

第十回の答 七人でした

第十回の考へもの——夕すゞみをしてゐる人は七人でした、當つた方も大へん多かつたので籤をひきました結果、左の二十名にご褒美をあげることにしました、大連の方には當籤お知らせのハガキをあげますからそれと引かへに滿日社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りします

× ×

なほご褒美の中には入つてゐる森永のチヨコレートとミルクキヤラメルの空箱はお菓子やさんの店先にある支那事變の「戰傷兵士を勞りませう」と書いた箱の中に是非入れてください

當籤者

▲大連市外周水子小野田梅田スミエ▲旅順市佐倉町岡本文雄▲大石橋石橋大街宮野政子▲撫順東岡宮内久惠▲本溪湖住吉町橋木野實▲撫順縣龍頭西山はな子▲瓦房店南山吉岡裕輔▲蘇家屯小學校內萬波覺▲奉天西塔大同號白雲秀▲大連市北大山通り稲初子▲大連市濱金町杉原繕▲大連市乃木町橋健治▲大連市伏見齋藤森正▲大連市朝日町辻千代子▲大連市乃木町齋藤厚▲大連市若狹町國枝久子▲大連市天神町大河內健▲大連市東公園町國山春樹▲大連市兒玉町蛯原實▲大連市日出町吉留忠男

出動命令下れば……航空軍の活躍目覺し

そらッ戰爭だッ　勇みたつ空の勇士
大和魂にかゝつては敵はない　わが飛行隊のお話

☆★☆★☆★

さあ戰爭だ！　飛行隊に出動命令がくだりました――と假想して敏捷なわが飛行隊はどんな活動をするでせう？　今ちやうど旅順要塞演習のため周水子飛行場にきてゐる濱松飛行聯隊について面白いお話をいたしませう

☆★☆★☆★

出動命令は「爆彈や機關銃彈を幾ら積んでどのコースを通つてどこを爆撃せよ」といふやうに戰鬪の狀況によつて司令部からくわしい命令があります、これは敵の攻撃や防禦區域などいろ／＼なことによつて命令されるのです、今か今かと腕によりをかけて待ちあぐんでゐた勇士たちはソレッとばかり出發準備を整へて直に目的地に向つて飛ぶのです、爆彈の種類は百、二百キログラムの大きなものから五十キロ、二十五キロ位のものなど大中小の三種類にわかれてゐますが、イタリーで最近試驗した八百キロの爆彈は直徑三十メートル、深さ八メートルの池のやうな大穴をあけたといふ物凄さです

大型爆彈は都市や堅固な要塞爆撃に、中型爆彈は鐵道線路や鐵橋破壞等に用ゐられます、小型のものは主として人や馬を殺したり傷けたりするのを目的とするもので二十五キロの小型爆彈一個落すとそこを中心に二十メートルの半徑で圓を描いただけの廣さに效力があつてうまく命中すれば數百の敵が只一彈で全滅してしまひます、機關銃は各國とも双聯式といつて同時に二つの筒から彈丸を發射するやうになつてゐて一分間七百づつ合計千四百發の彈丸が發射されるわけです、これは敵地を攻撃にゆく途中敵の飛行機に出會つたとき壯烈な空中戰をするのを建前としたもので滿洲事變當時よく

わが飛行機が敵の陣地を目がけて機關銃を撃ちましたがこれはほんたうの戰爭じやないから、さうして臆病な支那兵どもを驚かしたに過ぎません、これからの戰爭はどちらも立派な飛行機を持つての戰爭ですから敵地に近づくのはなか／＼容易ではありません、たとひ運よく近づいて爆撃の目的を達したとしても後から速力の早い飛行が追撃してきて花々しい空中戰爭になるのですだから忠君愛國のわが飛行隊の人々は命令をうけて出發するとともに命を投げ出して戰ふのです

日本も世界に劣らぬ立派な國產飛行が出來るやうになりましたが、ほんたうに我空軍の強味は一つにこの大和魂にあるといはねばなりません、思ふ存分攻撃の目的を遂げると今度はウマクいつたかどうかその效果をみとどけたうへ寫眞に撮影して歸つてくるのですが、この寫眞が敵陣の偵察を兼ねて非常に重要な役目の一つとなつてゐます、日本陸軍の軍用飛行機はおよそ八百機あつて戰鬪機、偵察機、輕爆撃機、重爆撃機の四種類に大別することが出來ませう、戰鬪機は敵の飛行機の襲來に備へるもの、輕爆は主として敵の陣地攻撃に、又重爆は敵地の重要都市や堅固な要塞等の爆破にあたりますが、戰鬪機の91式或は92式、偵察機の88式は世界のどの飛行機よりも優秀なものです

令周水子で演習中の重爆撃機三臺はいづれも87式で巾二十六メートル、長さ十八、高さ六メートル、總重五トンの大きなものです、これに五人の戰鬪員と一トンの爆彈と二千リツトルのガソリンを載せて八時間以上飛ぶことが出來ます、發動機は機體の上に四百五十馬力のエンヂンが二個、時速百六十キロ（四十里）の速力を持つてゐますから、大連を中心にしますと北は奉天、長春は勿論京城、北平、青島などの大都市はわけなく爆撃することが出來るわけです、爆彈の投下の命中率も非常によくなつて千メートルの高度からですと目標の周圍四十メートルの範圍には必ず的中する正確さです、爆彈投下には一定の限度があつて高ければ高い程むつかしいやうに低くなつても命中が非常に惡くなります、これなど素人考へでは想像の出來ない面白いことです

しやしんせつめい

（1）出動命令が下りました
（2）さあ！エンジンの檢査です
（3）飛行機にガソリンを積み込む準備
（4）二十五キロの爆彈が機體の下に裝置されました
（5）いよ／＼準備も出來て重爆撃機の勢揃ひ
（6）出發だッ！、爆音勇ましくプロペラーが廻轉しだして、フワリ飛行機が空に浮く、死ぬ覺悟の飛行將校
（7）空から見た大連の中央大廣場です（手前の建物は民政署とヤマトホテル）
（8）爆彈を投げた跡、ドウです物凄いでせう

手工　命令をまもるお人形さん

けふは一つ、みなさんのお家にある、いらなくなつた木の糸卷の芯をつかつて、よく云ふことをきくお人形さんをつくりませう。まづ糸卷芯のなかごろに甲圖のやうに（イ）（ロ）の穴を二つキリであけます、これに（ニ）（ホ）の點線の樣に太い糸を通します、乙圖は甲圖の糸卷の上と下に白い紙を張つて、これに人の顏をかいたのです、さあこれで出來上りました。

今度は使ひかたです、先づ糸の兩端（ニ）と（ホ）とを持つて眞ッすぐに支へます、そうして命令どほりに止まらせるのです、例へば他の一人が「まん中で止まれ」と命じたときは少し糸をゆるめますとお人形がスル／＼とまんなかのところに落ちて來ますから、その時糸を強く上下に引くとソコで止まります、コウしてどこでゞも止めることが出來ますからやつてごらんなさい。

想ひ起す九月十八日
けふ迎ふ滿洲事變一周年

かぐはしき菊の秋――日本帝國は正式に滿洲國を承認した、希望と榮光に輝く滿洲國三千萬の民衆は何れも感激そのもののうちに、今や力强い一歩々々を踏みしめて、建設へ、建設への一路を邁つて進んでゐる

想ひ起す滿一年前の九月十八日夜、東北舊政權の暴虐の手によつて爆破された奉天北郊柳條溝の爆音は、忽ち全滿の天地にとゞろきわたり、奉天始め長春、三間房、ハルビン錦州等、到る處に舊軍閥暴戾の狼火は一時に擧げられ、我が忠勇なる將士もまた帝國生命線擁護のため、正義の神劍を執つて立つことを止むなくされた

或ひは朔風吹き荒ぶ北滿の曠原に、或ひは零下四十度の遼西地方に我が權益の確保、東洋平和の擁護のために、轉戰に轉戰を續けた皇軍の威武は今更言ふまでもないしかも、大君の御稜威をもつて我が將士はひるむところなく前進し遂に帝國の武威を中外に發揚し、更に滿蒙三千萬の民衆を舊政權、塗炭の苦みより救出したのであつた

滿蒙三千萬民衆は自ら舊政權より分立し、溥儀氏を迎へて執政となし、大同元年三月一日即ち我が昭和七年三月一日全民衆歡呼裡に滿洲國の建國を宣した、後半歲九月十五日我が帝國はこれを承認してこゝに善隣の誼みを完全に結ぶに至つた

一年、今こゝに滿一ケ年の記念日を迎へるに當り、滿洲事變を回顧することは意義深いことであらう

武勳輝く聯隊旗　(昨年十一月三日間房にて)

念佛淨瑠璃の終り近く
耳を劈く爆音一發
奉天の回顧　太原要

事變當夜は日露戰の特別任務に服し偉勳のあつた故津久居少佐のお通夜であつたので、奉天ヤマトホテルにおける金丸取信專務の新任披露宴から早めに歸宅し、羽織袴に着換へ、松島町の津久居邸へ急いだ。それは津久居翁が滿鐵病院三階一等室で卒如瞑目する直前まで憂國の前輩として又趣味の友として特別の眷顧を受けた關係上友人總代の一人として犬馬の勞をとつてゐたからだ。御通夜は流石畏き邊より天牌を拜領した程の翁だけに林總領事、石田滿議會頭、木下在郷軍人會長等各方面の人々を網羅してゐた。日露戰志士の靈を祀れる妙心寺法主の讀經、參列者の燒香終り、亡き翁の回顧談が始まつた。そして翁が生前愛吟した清元節は時局に對する鬪々の慨を想すべき唯一の道だつたといふので石田氏等の發議で、翁を顧問として來た清元同好會の面々は、折柄中間の座に在りし喜代見太夫の絃で「田舍源氏」念佛の一曲を語る事となつた。淨瑠璃が進んで金六女將、美聲を張り上げ南無阿彌陀の一節まで來ると俄然一發耳を聾する爆音が戶外に起つた。

★

列座の人々は毎夜の演習に慣れてゐる事とて某豫備中佐が「アリヤ爆藥の試驗だよ」と私語するを其儘受け入れ敢て驚かず、よれや女將、茂木夫人等の嫋々たる哀調が續いた。すると取次の者が入つて來て佛の側近く座してゐた林總領事に向ひ

「只今、奥樣から御電話で、急用が出來ましたからスグ御歸館を願ひますとの事でございます」

と告げる。總領事は「判りました」と答へたきり立たうともせず吾等の念佛淨瑠璃に聽入つてゐる(後から聞いた事だが、それが柴襲より總領事への第一次電話で五分間內に砲擊を中止せれば城內居留邦人の生命財產の安全を保障し難いとの順逆顚倒の抗議を持ち込んで來たのに當るらしい)續いて第二發が轟いた。この時、合唱裡より總領事は「ではお先へ」と坐を離れた。その瞬間第三發が響いた。これは硝子障子を搖はす物凄いものだつた。一同は木下在郷軍會長の「コリヤ實彈だぞ」の一言にスワ一大事出來と佛を未亡人等に託した儘一齊に戶外に飛び出した。

★

私は職業意識の命ずる儘、まづ音のした方向へ洋車を驅らせた。すると二町足らぬ練兵場內の巨砲は火を吐いてゐる。只事ならじと西塔に車を飛ばせ、紡紗廠の高塞に上つて前方を見るに、北大營方面から此方へ向つて放つ銃砲火がありありと目に映つた。この時始めて「やつたナ」と直覺した。

正直のところ、私は問題はこゝまで來まいと思つてゐたのだつた。事前の日支の緊張振りから觀て、それは餘りに鈍感じやないかとのお叱りを蒙るかも知れぬが、それには大に譯があるのだ。

★

當時、張學良一派の侮日態度は日一日深刻となり、全滿的に擴大せる結果は、日支兩國民の神經を極度に尖銳化せしめ、土肥原特務機關長や花谷少佐等も「君もうこうなつちや理窟では治まらぬ。兩國民衆感情の衝突は何時火花を散らすかも判らぬよ」と外交的手腕の發揮すべき餘地なきを慨するを聽いた。又、支那軍警隊殊に王以哲配下の青年將校連の身の程知らぬ自惚が附屬地攻擊想定の威嚇演習を續けつゝあつた事、わが在郷軍人は此爲め萬一に備ふべく非常訓練を行ひ、町內には井戶を掘り、各家庭には蠟燭の用意まで整へられた事、中村事件に對する支那側の繼續的態度は青年將校、殊に同期の人々をして極度に憤慨せしめた事、而も支那側の暴狀愈々つのり事變勃發前夜の如き北大營の兵は十間房まで夜間演習に名を藉り威しに來た事等も承知してゐた。そして吾等の血も沸騰點に達し、押へ難き悲憤は政府當局の軟腰を嘆いたのであつた。

★

話は橫道へ飛んだが、紡紗廠で日支兩國の衝突を知つた私は、次の瞬間に憲兵隊によつてその原因支那兵の吾柳條溝鐵橋爆破に在るを知り、住吉町の支社へ着くなり電話機に飛びつき「大連本社至急報」を叫んだのであつた。本社の四〇七三番が出て來たのは恰度十二時。最初呼出した時から約三十分位經つたと思ふが、でも午前一時既にわが社の號外が旅大市中へ配付されたと聽いた時には嬉しかつた。爾後三晝夜、殆ど電話機の握りづめで何時どうして羽織袴を洋服に着換へたかも判らぬ程の忙しさだつた。後から思ふと前日まで滿鐵病院の佐伯博士の許に日參し斷食同樣であつた身が、よくも續いたものと吾ながら驚いたのであつた。然し、それは事件の進展と共に、わが自衛權の發動により全滿に亘る張家舊政權が一掃しゆく嬉しさに身も心も「積年の希望茲に達せられたり矣」と事件の報道に熱注してゐたからで、別に不思議でもない。

★

斯くて皇軍の武勇と日滿兩國官民の協力は、我等の夢想だもせざりし回天の大業を成就し、滿洲國は溥儀執政を戴いて王道國の建設に精進するに至つた。しかも今や武藤全權以下の本庄前軍司令官以下の將兵の武勳を讃へ新指導者を迎ふ。わが國また滿洲國を承認し東亞の黎明茲に來る。私は今聖地旅順に病を養ひつゝも、事變當夜を回顧する毎に血湧き肉躍るを感ずる。そして次の瞬間には、又、客歲九月十八日を一轉機として忽然出現せし新滿洲國の姿を、まだ夢に夢みつゝあるが如き思ひに、恍惚たる事もある。然し滿洲國の誕生は我等の夢想し得ざりし實在である。どうか、日滿兩國官民の一致協力により畫龍點睛の實を擧げん事茲に千祈萬禱して擱筆する。

英靈永久に眠る

(1)南嶺に建てられた滿洲事變殉國將士の靈位(2)新國六三步兵伍長戰死の地(3)增子正東步兵上等兵戰死の地(4)滿洲事變發端の地戰死者英靈供養塔(以上北大營にて)

當時の主要人物
【寫眞】上から本庄關東軍司令官、三宅同參謀長、金谷參謀總長、幣原外相、若槻首相、南陸相

醉眼大隊長にくだる
南嶺攻擊の命令
大膽不敵!!僅か二百名の仙臺勇士
長春にて　南里順生

「只今奉天で日支軍隊が衝突し激戰中であります」これは長春鐵道事務所宿直社員から我第三旅團長長谷部將軍の官邸に報ぜられた電話の第一聲であつた、恰度十九日の午前零時十九分、十八日の夜は鈴木莊六大將の歡迎會があつて殊に軍關係者たちは二次會、三次會の痛飲、それこそ天下泰平樂であつた、淋しく更けた長春の夜は殊更に平和で、全長春の總ての者は奉天の衝突など夢想だにしなかつた、然し流石に訓練ある我軍隊ではある、醉ひ心地ではあつたらうが長谷部將軍は急報を接受すると同時に軍服と着替へ司令部に登廳し直に在長軍隊全部に非常呼召を發しその一半を提げて奉天出動を決意し驛長に對して即時臨時軍用列車の編成準備を命じた

★

然るに午前三時五分ごろ關東軍司令部より「長谷部少將は步兵第四聯隊、騎兵中隊等を指揮して長春警備に任じ且つ長春附近にある支那軍に對し攻擊を準備すべし」の電報命令に接し、それと相前後して奉天特務機關より奉天附近における戰鬪は我軍に有利に進捗しつゝある快報が這入つた、戰爭は如何なる場合でも必ず勝つといふ强い信念を持つてゐる同將軍は、奉天の戰鬪が長春の日本側に傳はると同時に支那側にも報ぜられるものと豫想し、若し南嶺の砲兵營にある三十六門の野砲を揃へて一齊に我附屬地へ向け先手を打つて火蓋を切つたなら非戰鬪員たる在住邦人に莫大の被害を與へることになる、これは重大問題であるからこの武裝解除が先決問題だとし黑石第二大隊長に南嶺攻略の重大任務を命じたのであつた

★

鈴木大將の歡迎宴から二次會に廻つた黑石少佐醉眼朦朧として、長谷部將軍が「オイ大丈夫か最も重大なる任務だぞ、醉ひは醒めさうか」と怪しむのを「ナニたかゞ支那兵の野郎です、野砲の何百門あらうと必ず朝飯前に落してお目にかけます、デハ黑石南嶺へ行つて參ります」と午前四時半泥醉の足をふらつかせながら、二百人の仙臺勇士を引具し恰も演習へでも行く樣な氣輕さで營門から南嶺へ向け闇を突いて高粱畑中をガサゴソと急いだ、當時南嶺の敵は步兵、砲兵、機關銃隊、迫擊砲隊を合せて三千六百名であつた、この大敵に僅か二百名しかも大隊長は醉眼朦朧たるものである、何んといふ大膽さであらう

★

長谷部將軍が奉天衝突の報と同時に南嶺の砲兵に着眼した、こゝは流石に戰爭上手の名將である、然しいめ停車場に第一大隊を率ゐて待機してゐた大島第四聯隊長は午前三時寬城子攻擊命令を受け足原少尉(現中尉)の捧持する名譽の聯隊旗を先頭に寬城子街道を北進し鹿野大隊長は寬城子驛前から早くも側面攻擊を開始して午前四時半には既に敵將東冠軍を蟄し皇軍の意氣は天を衝くの槪があつた

★

斯くして黑石大隊長は單獨で敵の砲兵營を朝飯前に陷落させ長谷部將軍の命令通り野砲を完全に破壞せしめた、朝飯後公主嶺の獨立守備第一大隊長大瀨原中佐の應援を得步兵營の總攻擊を開始し午後四時半頃流石に堅壘を誇つた南嶺兵營を攻略、敵の砲彈三百發を爆發せしめて凱歌を擧げた、大島聯隊長の寬城子攻擊は午前十一時三百八十六名の捕虜を得て引揚げたゝめ長春全市には戰捷氣分が滿ち滿ちた、然し南嶺の戰鬪における我軍は四聯隊第二大隊戰死五、負傷一六、獨立守備第一大隊戰死三八負傷三九、寬城子戰は四聯隊第一大隊戰死二四、負傷三三で合計戰死六七、負傷八八といふ意外に多數の損害、しかも今次の日支戰鬪で斯くの如き死傷者を出したことは最初であつただけ市民が銃後の奉仕として死傷者の收容、傷病兵の看護等殆ど晝夜兼行で活躍したなど涙の如き美はしい軍民一致の行動は恐らく長春を除いて他に見られなかつたことであらう

★

記者は事變突發の一周年を迎へ、從軍記者として彈丸雨飛の第一線に立つただけその思ひ出では限りなくある、一年後の今日、完全に滿蒙三千萬民衆の主權は滿蒙三千萬民衆の手に歸し同情ある隣邦の承認によつて完全な獨立國となり王道政治の光は首都新京より世界に向つて燦然と輝き渡らんとしてゐる、兵匪の討伐一段落と共に樂土建設へ邁進しその具現化も近き將來であらうが滿洲國にとつては一年前の九月十八日賣られた喧嘩を買つた日支事變は實に有史以來の大事件であり且つ劃期的事業遂行の好機會であつた、顧みれば實に感慨無量である

東北三千萬民衆の敵、當時の東北邊防軍司令長官(上)と滿鐵線爆破の命令を發した王以哲旅長(下)並にその旅司令部(中)

一年を回顧して
關東軍參謀　臼田少佐

今十八日は、滿洲事變勃發の記念日であります。滿洲事變とは何ぞや、私はそれが、東洋民族勃興の第一聲であり、東洋新時代の曉の鐘であるところに、重大なる意義があるのだと思ひます。

滿洲といへば、直に、日本の生命線であるといふ、年々百萬づゝ增加して行く、我人口を消化するところだといふ、次の世界的戰爭に於て、我國防を完うするに必要な地域だといふ、或はさうかも知れませぬ、また事實さうである筈であります、然し之等の議論は、悉く「日本の爲め」といふことで終始して居ります。愛國的であるかも知れませぬが、餘りにケチな愛國であります。滿洲人はこれでは承知致しませぬ、列國もこれでは承服致しませぬ。

國際環視の眞只中に立ち、列國斷然の焦點となりつゝ、日本が今日堂々と進んで來た所以、進んで來ることを得たる所以は、我等の努力が單に日本の爲と云ふのみでなくて、嚴然たる倫理的背景があるからであります。之を行ふて恥ぢざる確信があるからであります。東北軍閥の排擊と、滿洲新國家の建設を通じて、東洋の平和を確保し、東洋民族の復興を招來し人類平等の原則を世界に樹立せんとする、それが我々の理想であつて、我々の努力は實に民族的永年運動に在るのであります。これあるが故に、我々は强いのであります。

日清、日露の兩戰役は明治大帝が、皇道の精神に則らせ給ひ、皇國の理想を擁護せらるゝ爲、敢然として暴を討つことによりて、大義を四海に宣明せんとし給ふたところの正義の戰ひであつたのです而して、この義戰は、當時世界の人々によつて百パーセントの驚異と讚嘆とを以て見られました。日本の正義は、古今を通じて悖らず中外に布して悖らないのでありましたが然しその後歐米人の我を見る眼は變つたのであります。驚異は恐怖に、讚嘆は嫉視に、併し、我々は、飽く迄も正義を貫かんのみであります。正義を貫くこと能はずんば、正義と共に滅びんのみであります。

歐米の諸强國は、世界を何時迄も、彼等白人の支配の下に置き度いのであります。東洋を彼等の不等利得の市場として保存して置き度いのであります。從つて東洋民族が復興することを好まないのであります。從つて世界の現狀維持を以て「正義」なりと主張するのであります。これが果して正義でありませうか。我が國民の道義感、皇道の精神は、斷じて之の邪道を認容することが出來ないのであります。即ち蹶起して歐米人の誤れる正義を是正すべく努力せねばならぬのであります

我關東軍の將兵は茲に滿一年、この國民的大業の先驅を承つて滿洲の野に活躍して參りました。我々はこの御奉公を以て誠に男兒の本懷として一生の光榮と致します如何にも一年の間殆ど不眠不休の狀態を以て軍事工作と政治工作とをやつて居る者の努力は並大抵ではありませぬ。兵匪の討伐と治安の維持に當つてゐる者の勞苦は激し言語に絶するものがあります。

事變後半歲の間、我軍は南北滿洲と蒙古の一部より遼西一帶を驅けめぐつて東北の軍閥を潰滅に歸せしめたのでありますが、當時の兵力は一萬三千であります、日露戰爭に於ける我戰鬪兵力は四十萬その行動區域が滿鐵沿線の一部に限られてゐたことゝ比較せらるゝならば、我軍今次の活動は略々想像せられ得ると思ひます。而して現在の兵力は三萬五千、それで以て廣さ日本の三倍に當る滿洲の建設作業と治安維持とに當つてゐるのであります。我々は功を誇る積りは毛頭ありませんが、內地同胞が唯これをお忘れにならぬ樣に願ひ度いのであります。

聞くところによれば、內地一部の人々は滿洲建設の眞義を忘れて只目前の利益を期待し、滿洲建設の難業たるを忘れて既に倦怠を催し始めてゐると傳へられて居ります。果して眞なるや否や私は存じませぬが、我同胞諸君がこの際滿洲事變の眞義を解し、日本は世界に正義を確立する唯一の國なりとの確信を此際新にせられんことを切望致します。

事變正に一年、日本は滿洲國を承認し、回天の偉業は既に緒につきました。東洋の黎明は將に至らんとしつゝあります。內地には匪賊だとか、大洪水だとか、流行病だとか、とかく騷いことばかりが傳はつてゐるやうでありますが、物事には表もあり裏もあります。殊に建設は大業、一朝一夕には出來ませぬ。我々は忍耐力が必要であります。不撓不屈の精神力、それのみがよく大事を敢行するのであります。祖國同胞諸君が最後迄頑張り通されんことを、我々在滿の同胞は期待して止まぬ次第であります。

講談 甕割り秘譚

昇龍齋貞丈

三代將軍家光公のお手直しの一人、小野治郎右衛門は伊豆の國の生れで、前名を神子上典膳と申し幼少の頃より天晴なる腕前、長ずるに及んでその劍技は益々冴えて如何なる大敵でも唯一刀で、相手を打ち据ゑたと云ふから大したものです。そこで自分の劍法に一刀流と云ふ流名をつけ、自らがその流祖とならんなどと廣言を吐いて居りました。諸國武者修業の序に敦賀の城下端れ、富岡山中に老武藝者を訪れて、一戰いどんだが、赤子の如くひねられた。無念骨髓に徹したが、後年小野派一刀流を名乘つただけに人物の修業も出來てゐる。子弟の誓ひを固めてこの老人に山中で教へを乞ふ事三年。此の老人こそ誰あらう、伊勢の國の伊藤彌五郎友景一刀齋と云ふ劍聖でございました。この老師に就いて一刀流の極意を悉く傳授されました。

恰度其處へ、小野善鬼といふ兄弟子が諸國修業から歸山いたしました。一刀齋はこの善鬼に一刀流の皆傳を授け度いと思つてゐたのだが、典膳と云ふ新弟子が現れ、而もその優劣がつけ難いので、或日兩人を呼んで、兩人に立合はせその勝つた方に一刀流の皆傳をいたさうと申渡された。兩人木刀を以て庭に立出でたが、流石に名人同志、頭の先から足の先まで一點の隙もありません。これを打ちながめてゐた一刀齋先生は

「暫く待て、双方とも待て」

と二人を制して

「其方等の腕前は實に天晴なもの一刀齋よく見屆けたぞ、就いては、最早太刀打にては勝負つきかねるに依り、他の方法にて試みるであらう、暫く待て」

と自分で立上り、一脚の机を庭の眞ん中に持出し、机の上に香爐を置いて香を炊き、一刀流皆傳秘法の一卷を紫の帛紗にのせ、その周圍を六尺の屏風で圍ひました。

「扨て兩人、俺は此の屏風の中にて机に向つて坐り、其方等の來るのを相待つゆゑ、汝等はそれより此の屏風の上を飛び越えて參れ、その飛び込やうの如何によつて、此の卷物を遣はすぞ、宜しいか、遠慮はいらぬ、充分に飛び込め」

「畏まりました」

「支度をいたせ」

と一刀齋先生は屏風の中に入り机の前に端然と坐して兩人の來るのを待つてゐる。此方は典膳、

「先づ兄上からお入り下され」

「心得たり」

と小野善鬼、バラ／＼と屏風の側に立寄るや、何の苦もなくヒラリと身を躍らして、飛鳥の如くに屏風を飛り越しました。續いて典膳、屏風の側まで驅來つたが、何思ひけん、屏風の外で身構へに及び、

「ヤッ!」と一喝して飛び込んだ途端一刀齋先生は屏風の中にて立上り「認めた!」と呼ばはり「善鬼、……さて善鬼、其方は太刀打を以て典膳に優るとも劣らぬ腕前である。然し乍ら心の動き即ち心術に至つては典膳に劣つて居る。依つて氣の毒ながら此の一卷は典膳に遣はす、決して遺恨に思ふなよ」

「恐く」より善鬼は顔色を變へて「これは先生のお言葉とも覺えませぬ、先生には新規入門の典膳を愛し給ひ、兄弟弟子の順序を顚倒し心術などに事を寄せ、かくいふ善鬼をうさんじ給ふとは情なき御仕打、不肖ながら善鬼は未だ典膳如きに劣るやうな者ではござらん左樣な依估の御沙汰に從ふことは出來ませぬ」と血相變へて詰寄つた。

此の時一刀齋先生

「默れ、其方は存外な心得違ひな奴である、成程立合に於ては双方の腕前に上下はなけれども、心術に於ては其方確に典膳に劣つて居る、心術などと申せども、武藝の神髓は心術を以て第一とするものである、この理汝に分らずとあれば申聞かすであらう、謹んで承はれ……。先刻此方屏風の中にあつて、其方等の飛び來る樣子を窺ふに、其方は何の用意もなしに飛び込んだれど、若しその時に此方に害心あれば、其方を只一刀に切つて落さんこといと易し。然るに典膳は氣合をかけて飛び込み來つた、斯くいたせば其方に害心ありても典膳を斬る事は容易であるまい、見よ其方は心術に於て確に典膳に劣つてゐるではないか、此方が丹精を加へて養成したる其方等、愛する念に何等變りはないぞ、依つて一刀流の秘傳は典膳に讓る、決して心得違ひをいたすなよ」

と眞心こめて諭しました、此の時善鬼は無言のまま立上るが早いが、兩人の隙を窺つて、机上の一卷を手に取るが早いか、パラ／＼と表へ驅出した。一刀齋先生は大いに立腹なされて

「ヤア、已秘傳の盗賊、ソレ典膳彼奴を引捕へよ」

「畏まりました……ヤア兄上、心得違ひをなさるな、お據へなされ」

と續いて後を追つかけた。一刀齋先生も己と追つて行かれるを、善鬼は阿修羅王の如き勢ひにて驅人の呼ばはる聲を耳にも入れず富岡山を驅下りて、城下へ出て本町大通りを一生懸命逃げて參つたが、フト見ると横丁へ折れるところに一軒の紺屋があつて、戸外に幾つも大きな甕が並べてある。これぞ屈強の隠れ所と、その一つの甕の中へ逃げ込んでホット一息する間もなく、典膳も跡追つかけて横丁を曲つたが、サア見當らない。ウロ／＼としてゐる。息せき切つて掛けつけた一刀齋先生「善鬼はいづれへ參つた」と油斷なく四邊を見廻しますと、甕の外に袴の裾が少し出てゐるのがチラと目についた。

「典膳あれを見よ」「ハッ、如何いたしませう」「師の訓戒を用ひぬ憎い奴め、構はぬ斬つて了へ」「と申して兄上を……」「構はぬと申すに」

師の命に止み難く、ツカ／＼と甕の前に近づいたる典膳、術とては教はつて居りますが、實地に試すのは今が初めて、若し仕損じなば師に對して面目なし、どうか旨くやり度いものと、心中に弓矢八幡を念じながら、腰を捻つてギラリ抜き放つたるは、美濃國の住人城四郎住國の鍛えたる二尺五寸の名刀、大上段に振冠つて「エイッ!」と云ふ掛聲諸共に斬り下した。流石は一刀齋先生直傳の甕割りの術、美事大甕諸共善鬼の腦天から鼻柱へかけて斬り下げた、善鬼は腰する一刀の柄に手をかけたまゝ、無念と叫んで甕の破れ目から立上つたが、急所の深傷にたまらずその儘ドッと後ろに斃れました。

秘傳の卷はと見れば、善鬼が口に啣へて居ります、典膳がそれを取らうといたしますが、一心が籠つて容易に放さない。一刀齋先生は此の體を見て、善鬼に近づき「コレ善鬼、其方も心得のよくない奴である。自分の心の僻みから斯かる無慘の最後を遂げたといふのも自ら招いた禍ひといふものぢや。塵一點もない我心を見て秘傳の卷を渡せ、その代り他に身寄りのない其方なれば、弟分の典膳を以て汝の養子となし、小野の姓を名乘らすべし、さすれば一刀流の秘傳は其方と云はず典膳と云はず、總て小野家に傳はると云ふものなれば、秘傳の卷を我に返せ、イヤサ弟弟子の典膳に讓り遣はせ」と先生が親く手をかけますと、その精神が通じたものか、秘傳の卷は譯もなく口から離れた。

其處で典膳も師の命に從つて、其日より小野姓を名乘り小野典膳と改め、後年になつて典膳を治郎右衛門と更めました。

これは神子上典膳甕割の一席でございます。

(春八郎筆)

目

ダン・道子

「目は心の鏡なり」心靜かなれば、目元やさしく、心、暴らければ、目じり、つり上りて、一口に泣きては赤く腫上り、怒つてはヒステリーとなん呼ぶなり。裂け、笑へば三角に、驚けば、まるく、見つめれば、いかつく、優しく細く、つぶらな目、嬉しくても涙、悲しくても涙ホロ／＼とこぼるゝ、あな美はしき極はみなり。

長い睫がこつそりと鏡の小箱を抱いてゐる
小箱の中には何がある
きれいな涙がたまつてる
ゝゝゝゝゝゝ

睫、々、世の中のご婦人は洋の東西を問はず睫では苦勞致します泉の樣な澄切つたしろめ、まつ黒い瞳を長い睫が艶々しく、とつくりと抱きかゝへてゐるのは、本當にふるひつきたい程、美しうございますもの

ほんのり焼げた、細いコテで、クルクルと巻いて、デルリオ式、シドニー式、さては年増のところでデイトリッヒ式

生憎く、夏川式や栗島式は今のところまだ聞きませんが、もう直き發案されるでせうが、コテを、あてるのは、少々こわくておすゝめできかねますが、香油を塗るとか、マッサージをする位なら、まれてもわるくはありますまい。

何さやら言ふ方は、一重のまぶたを手術で二重にお直しになつたさうか、その話を伺つてから恐ろしくて、お目にかゝつても、まぞもにお顔がみられません。

話は、細い切れの長い目を、日本では喜びましたが、文明につれて、我々が世界的の生活をする樣になりましてからは、目の好みが變つて來て、まるい、つぶらな目なら他は、少し位まづくとも、となりました。

「目を見れば誰れか能く隱し得ん」と、有りがたい孟子樣は觀相家の一行におつしやいました。

又昔からの俚諺に「目は口程に物を云ひ」とこのごろは、口どころか「全身よりも物を云ひ」になつて來て一目見た時好きになつたのよオよく身の上相談に「目と目でみ交はした時から、どうしても忘れられなくなりました」と出てゐます。

戀は目目、戀に目が眩む、戀路の闇、など此邊から關係してきてゐる言葉にちがひありません。

ながし目、まるでホーキ星のやうに目をスウッーとながしてしまふことが、艶つぽい言葉になつてゐます。

秋波といふのも、秋の波と書いて、どうして色目の意味に使ふのでせうか? 何だか腑にしつくり解せない樣ですけれど、隠蔽に「冴えに、冴えた秋の月が、漣波る水の表面に影を投げた、その風情、正に美人」といふ一節があり、又他の書物に「思ふ方へ、チラと横目の以心傳身が、丁度水波の横流するゝゝゝ」の一句もございますから、一寸苦しいのですが、こじつければ「あゝさうか」とうなづけます。

見た目は、一寸可愛らしい樣に感じますが、三白眼と云ふのは、餘り幸運な目ではないさうで、折角、まとまりかけたお嫁入りの口も、お見合ひをして、オジヤンになつたといふ話をよく聞きます。

三白眼といつたつて、白い所が三つあるわけでなく、まともに見つめた時に、瞳の下から白めがのぞくので、別に惡い事でもなささうなのに、變なものでございます

●眼語る字の通り讀めば「ガンゴ」ですけれど、意味は「めくばせして意を通ず」とございます。めくばせも一寸いゝもので、時々應用すると便利なもので、ハイカラ、モダン語では「ウヰンク」になります。

左の目をチョッとつぶつて、パッと開けて、そしてその意味を相手にさとらせるのですが「陽氣な中尉さん」の中では、お姫樣が、

「そして、その目をぱちつと、つぶつてあけると、どう云ふ意味になるの?」と、御質問遊ばすと、シユバリエの中尉が、御說明申し上げるに、曰く

「その意味は、好きで、好きでたまらなくつて、なほそれ以上になりたい時に「パチッ」と致します」と、申上げたばつかりに、お姫樣は、ダンセン、シユバリエのニッキー中尉に「パチッ」と遊ばしちやつた事になつて、大騷動が始まつたのです。

さあ、かうなると、電車の中などで、ゴミが入つたから「パチパチ」とやつて、向ふ側の人に「何で失禮な」とやられても、仕方がありません。

目に關した熟語は、また澤山あります。(カットはダン道子女史)

今週の献立

	朝	晝	夕
日	トースト(バタ、ジャム) 紅茶、リンゴ	トマト卵燒 里芋の鳥そぼろかけ	味噌汁(豚、大切大根) 煮付(ごぼう) 若芽の酢の物
月	味噌汁(茄子) 燒海苔 胡瓜糠みそ漬	煮付(大根里芋がんもどき)	清汁(椎茸麩) ビフテキ(付合玉葱人參)
火	味噌汁(枝豆) ほ紫蘇佃煮 澤庵	ところ昆布汁 燒茄子 削鰹節	かます鹽燒 うの花煮(鰶、人參、油揚、葱、麻の實、鳥骨、きらず)
水	味噌汁(葱油揚) 半熟卵 茄子みそ漬	煮付(ひじき油揚) 胡瓜の酢の物	ライスカレー(牛肉、ジャガ芋、玉葱、ハム、鳥骨、人參グリンピース) 福神漬、トマト
木	味噌汁(里芋) らつきよう うりの粕漬	鹽鮭 いんげん豆浸し	キヤビタンづけ(鰈、人參、葱) 茄子胡麻みそ丸煮
金	味噌汁(豆腐) 鹽昆布 キヤベツ糠みそ漬	煮附(南瓜) 麩の卵とぢ	清汁(さより團子ささらし葱) コロッケー(牛挽肉じやが芋) 野菜サラダ(ハム、ジャガ芋、人參、玉葱)
土	味噌汁(南瓜) 半熟卵 茄子と胡瓜一夜漬	鰯味淋干 大根卸し うり粕漬	照燒(附合せ枝豆鹽茹) 赤ずゐき胡麻酢和

調理法(大連神明高女五年)

ほ紫蘇佃煮

餘り實の入り過ぎない紫蘇のほたを取り一度湯煮として水を捨て更に新しい水を入れ暫く煮柔かになり水も大分つまり加減の時に醤油を適宜味の素飴を入れて味をとゝのへ煮詰める

茄子と胡瓜一夜漬

茄子は胡瓜を薄切にして茄子は鹽揉みになし胡瓜其まゝ茄子と一緒にして混ぜ一夜輕い押をして置く翌朝水洗ひして醤油味の素を入れて混ぜる

ビフテキ

人參、玉葱を繊切になしバタでいため肉は鹽胡椒して入れ兩面と野菜と共によくいためる

うの花煎り

鰶は三枚に卸し鹽をなし刺身樣に切り酢洗ひをなす(酢につけて魚の白くなつた時に酢よりあげる)人參鹽茹、油揚鳥スープにて少し甘目に味をつけて置く、麻の實は煎る、きらずを胡麻油少々で煎りスープを入れ人參、油揚、葱を入れて煮込む油揚の煮汁も入れ醤油味の素にて加減をなし汁を全く煮詰めて火から下し少し冷た時に麻の實と生の鰶を入れる其時其魚の酢も少し入る方味よし

キヤビタンづけ

鰈は三枚に卸し素揚にして別に人參、繊切、葱は二糎の長さに切り何れも茹で酢味をつけて先の魚の上にかける

茄子胡麻みそ丸煮

茄子は皮を切りはなさないで二糎巾位に剝ぎ茄子の心は切目を縱に入れて胡麻みそをはさみ煮込む胡麻みそは白みそと胡麻と煎りてよくすつた中に入れよくすり混ぜて砂糖少々と入れてよくすりたるもの、鍋に先の茄子と並べしたしたに水を入れ削り節を入れて柔かになる迄煮込む

ずゐき胡麻酢和へ

ずゐきの皮を剝ぎ四糎に折り水に入れてアク抜をなし鍋で柔かになる迄から煎りして少し胡麻を多くした胡麻酢を作りから煎りした時に出來た水分と一緒に鍋に入れて煮る

もう安心
母ア危ないしやないの なんかしてひつくりかへつて 本當にお馬鹿さんネ 足でもひかれたらどうするの……
ボク 足をひかれた もう飛乗りが出來ないから 安心ぢやないの
セイ坊

一年前

十八日 滿洲事變突發す、午後十時半暴戻なる支那官兵は奉天附屬地を距る北方一里の滿鐵線を爆破し、我が守備兵を襲撃す、依つて關東軍司令部では條例に依り直に軍の出動を命じたこの夜奉天駐箚隊兵戸軍曹北大營で一番乘り

十九日 午前二時奉天城を占據、午後五時長春南嶺の武裝解除に向つた公主嶺獨立守備隊は支那兵の白旗戰法に陷り、第一大隊長小河原浦治中佐傷き、同第三中隊長倉本茂大尉壯烈な戰死を遂ぐ

二十日 北滿各地の吉林軍敵對的動員を開始し、我が在留邦人の安否氣遣はれ、ために我が獨立守備隊を長春に集結し、又第二師團多門中將の麾下は長春に師團司令部を置く▲奉天省城並に商埠地に市政施行に決定し、土肥原大佐(當時少將)は市長に就任す

二十一日 吉林軍の交戰準備により長春駐箚軍に命令下り、第二師團司令部もこれに續き裝甲列車を先頭として午前十時三十五分吉林に進擊し、二師團先發部隊は夕刻完全に吉林を占據す▲ハルビンの我が建築物に續々として爆彈投下され在留邦人は極度に不安に陷る▲朝鮮軍出動す

二十二日 北大營王以哲旅長の手文庫より計畫的滿鐵線破壞を暴露した自筆の秘密指令が發見される▲我が軍鄭家屯、敦化方面を占據す、又秋山少佐の指揮する獨立守備隊は洮南占據の目的を以て午前四時半四平街を出發す▲國際聯盟日支兩國に停戰要求の通電を發す

二十三日 我が狩山枝隊、完全に通遼を占據す▲ジュネーヴに於て芳澤代表、施支那代表と大いに論爭し、我が權益を強調す▲上海の形勢刻々と惡化し、日本人通學兒童の迫害事件二日間で九十件に及ぶ

二十四日 我が政府は滿洲事變に關し中外に我が方針を聲明し、併せて聯盟理事會に對しては干涉拒絕の意思を回答す▲獨立守備隊司令部四平街に移動す▲華興公司農場支那官兵に包圍され坪井滿鐵社員人質となる▲二師團司令部長春に引返す▲香港の反日機運激化し邦人多數を虐殺し、ために佐世保より我が軍艦出動す▲奉天兵工廠步哨中の小山一等兵は多數の武裝敗兵に襲はれ、大格鬪の後身に十數彈をうけて壯烈な最期を遂ぐ▲アメリカ日支兩國に軍事行動の中止を要望す▲狩山枝隊洮南に入る

今週の歴史

十八日 文壇の耆宿德富蘆花氏逝く(昭和二年)

十九日 東京京成電車追突し四十名負傷す(昭和五年)
正岡子規逝く(明治三十五年)
澁沢虐殺事件を傳へられしエトロウ丸函館に歸る(昭和五年)

二十日 明治天皇御誕生遊ばさる(嘉永五年)

廿一日 帝大總長最初の公選(大正九年)
石田三成捕へらる(慶長五年)
佛國共和制を布告す(一七九二年)

廿二日 會津落城(明治元年)
横濱に瓦斯燈點る(明治三年)

廿三日 賴山陽歿す(天保三年)
獨人海王星を發見す(一八四六年)

廿四日 秋に銃砲彈藥の賣買を禁ず(明治五年)
秀吉征韓の軍を發す(文祿元年)
西郷隆盛城山に戰死す(明治十年)
豐都列車衝突死傷三百名を出す(昭和五年)